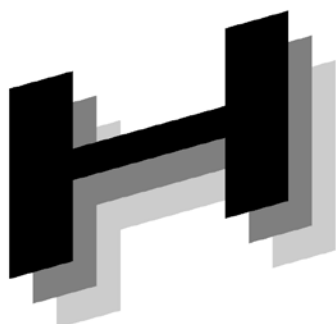




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

JAHIS

処方データ交換規約

Ver. 2.1

2013年5月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 相互運用性委員会

JAHIS 処方データ交換規約 Ver. 2.1

まえがき

従来より HIS(病院情報システム)と病院内部システム間のデータ交換において、メーカー間での統一はもとより、同一メーカーにおいても導入ユーザによってその仕様が異なり、接続する際には多くの手間と時間を要していた。また、地域連携や病診連携等で病院内外でのデータ交換の必要性が求められる中、処方データ交換規約の策定が重要な課題となってきた。そうした状況を踏まえ、保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)では、これまで、2001年9月に「処方データ交換規約 Ver.1.0」、2003年2月に HL7 Ver.2.4 に準拠した「処方データ交換規約 Ver.1.1」、2008年3月に HL7 Ver.2.5 に準拠した「処方データ交換規約 Ver.2.0」を発行してきた。

その後、内服薬処方せんの記載方法に関する課題やその標準化などを目的として、厚生労働省は「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会」を発足し、2010年1月に内服薬処方せんの在るべき姿とそこに至る段階的方策として「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」が公開された。本報告書を受けて、JAHIS では、2011年6月に JAHIS 技術文書として「処方オーダーシステムに関する共通仕様化ガイドライン」を発行した。

また、2012年2月に日本医薬情報学会標準(JAMI 標準)として、処方オーダーリングシステム用標準用法「服用回数、服用タイミングに関する標準用法マスタ」が公開された。さらに、2012年3月に厚生労働省より処方せんに記載する一般名処方の標準的な記載として「一般名処方マスタ」が公開されるなど処方データの標準化に関わる新たな動きがあった。

このような状況を踏まえて、本規約書(Ver.2.1)は、処方オーダーリングシステム用標準用法「服用回数、服用タイミングに関する標準用法マスタ」に対応し、他の JAHIS 標準との整合性を図り、とりまとめたものである。

本規約に基づくインタフェースが多くのシステムに実装され、処方データ交換標準化に貢献できれば幸いである。

2013年5月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 相互運用性委員会

<< 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

Copyright©2013 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

目 次

1. はじめに.....	1
2. HL7 概要.....	2
3. 主な用語.....	3
4. 処方データ交換規約の対象範囲.....	4
5. 関連情報詳細.....	5
5.1 HL7 メッセージについて.....	5
5.2 フィールドについて.....	5
5.2.1 (セグメント内の)位置.....	5
5.2.2 最大長.....	5
5.2.3 データタイプ(データ型).....	6
5.2.4 オプション指定.....	6
5.2.5 反復.....	6
5.2.6 テーブル.....	7
5.2.7 ID 番号.....	7
5.2.8 名称.....	7
5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字.....	8
5.4 Data types データ型.....	10
5.5 HL7 定義以外のテーブル.....	40
6. 処方関連メッセージ構文.....	42
6.1 処方依頼情報通知(RDE/RRE).....	42
6.2 患者情報照会(QBP/RSP).....	44
6.3 処方依頼情報照会(QBP/RSP).....	45
7. 関連セグメント詳細.....	46
7.1 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダセグメント.....	46
7.2 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ肯定応答セグメント.....	52
7.3 ERR - Error Segment エラーセグメント.....	54
7.4 QPD - Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント.....	58
7.5 QAK - query acknowledgment segment 照会認知セグメント.....	60
7.6 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント.....	62
7.7 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント.....	69

7.8 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント.....	76
7.9 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報.....	85
7.10 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント.....	87
7.11 RXE - Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤／処置 コード化したオーダーセグメント	108
7.12 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング/数量セグメント	128
7.13 RXR - Pharmacy/treatment route segment 投薬経路セグメント.....	144
7.14 RCP – response control parameter segment 応答コントロールパラメータセグメント	148
付録―1. メッセージ使用例.....	151
付録―2. 処方区分、用法ごとのフィールドへのセット内容.....	195
付録―3. 薬剤単位コード比較表.....	196
付録―4. 作成者名簿.....	198

1. はじめに

JAHIS 処方データ交換規約 Ver.2.0 作成から 4 年が経ち、JAMI 標準として、処方オーダーリングシステム用標準用法「服用回数、服用タイミングに関する標準用法マスタ」（以下、「JAMI 標準用法マスタ」）が公開されたことを踏まえて、本バージョンでは、以下の点について変更を行った。

- (1) 用法コードおよび部位コードに JAMI 標準用法マスタを採用
- (2) 保険情報の追加（IN1 セグメントを使用）
- (3) 各種 JAHIS データ交換規約との整合
- (4) メッセージ使用例の見直し

規約の策定にあたっては、HL7 Ver.2.5 日本語版より処方関連部分を取りまとめ、不足する項目および日本の実情に合わないテーブルについては、追加・差し替えを行い、解釈が曖昧になりやすい部分については、処方データに限定した注釈を加えている。また、メッセージ使用例については、日本の処方例をもとに作成し、付録として追加した。この JAHIS 標準が活用され、HL7 の普及が促進されることを期待する。本規約の策定にあたって、ご指導ご鞭撻を賜った諸先生方と関係団体の皆様には、心から感謝する。

2. HL7 概要

(HL7 とは)

ヘルスケア関連情報の電子的データ交換のための応用規約であり、また、規約の制定団体の名称でもある。異なるベンダの異なるシステム間のインタフェースとなる標準的書式である。本規約は OSI 手順の第 7 層であるアプリケーション層に由来して HL7 と名付けられたものであり、物理的規約は制定していない。

(なぜ標準化なのか)

基本的目的は増大する医療費の削減と医療の質の向上である。それは医療費の効率化のためコスト計算を明らかにするとともにヘルスケア品質の計測化による質の向上を目指すものである。

1960 年代は単独処理で他との接続は必要なかったが、1970-85 年にかけて部門システムとの接続が始まり、1985 年以降様々なシステム間で接続が要望され、インタフェース標準化の必要性が増大している。

病院単独から病院の統廃合も手伝ってヘルスケア共同体が拡大し、今日のヘルスケアは病院を中心に事務所、製造業、販社、支払者、診療所、政府機関が一体となった情報連携が必要で、かつ患者を取り巻くすべての部門とのトランザクションが通信で出来ることが必要となってきた。

技術の進歩、通信環境の進歩、場所の多様化、システムの巨大化が背景となり標準化されたデータ交換が可能であり不可欠となっている。

(HL7 の歴史)

1987 年 3 月ペンシルバニア大学病院にて初会合、3-4 ヶ月かけ V1.0 のドラフトができた。V1.0 は 1987 年 10 月に発表され全体的なインタフェースと入退院、オーダエントリ、オーダ照会がふくまれる。患者会計の重要性が認識されていたが時間的制約で含まれなかった。以後 1988 年 9 月に V2.0、1990 年に V2.1 が発表された。1991 年には ANSI のメンバとなり、1992 年には ANSI HISPP(Healthcare Informatics Standards Planning Panel)の起草メンバとなった。1994 年には ANSI に認知された標準化組織となった。1994 年末 V2.2 を発表し、最新版は 2001 年の HL7 V2.5 で、ISO 規格にも採用された。

(HL7 の組織)

HL7 は会員制の組織であり会員は意見を反映させることができる。即ち HL7 の情報源は会員の意見である。HL7 の使用は会員であることを問わないが、HL7 からのタイムリーな情報提供はない。理事会と作業グループがあり会員が参加できるし、作業グループに参加しなくても案に対して意見を述べるができる。また医療提供者顧問と工業会顧問のアドバイスを受ける。会員には、医療機関、コンピュータ会社、医療関連会社、コンサルタント会社などがいる。また米国以外の国々の会員もいる。会員数は増加しており現在 1500 を超える会員数である。国際支部も既に 30 カ国以上になり各国での利用が進んできた。

(HL7 プロトコル概要)

HL7 は OSI 第 7 層(アプリケーション層)での規約であり、データの型や要素、要素の構成やグループ、コードや用語、機密保持、管理規約などが定義される。HL7 の包含する対象は V2.1 では入退転院、患者基本情報、オーダ、検査報告、財務的处理、照会などである、さらに V2.2 では、マスタファイル更新、V2.3 では、文書管理、予約、患者紹介、患者看護、HL7 V2.4、V2.5 では自動検査、人事管理、保険請求、材料管理などが追加された。

HL7 の基本的体系は、メッセージタイプ ID 付電文で構成され、複数セグメントで論理的意味をなすメッセージとなる。メッセージ(例えば入退転)は、具体的なきっかけとなる事象(例えば患者入院)により、データ構成要素(例えば患者名)からなるセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。メッセージ交換は会話的にもバッチ処理的にも行われるものである。

(他の標準化組織との関連)

ASTM E1238 検査システム間データ交換をもとに検査関連をまとめているので互換性がある。HL7 を含めた標準化団体の調和を図るため ANSI では、HISPP (現 HISB)部門を設置し、NCPDP(薬剤情報)、ACR/NEMA(画像 DICOM)、IEEE MEDIX(医療情報記述交換)、ASTM(検査関連臨床情報交換)、ASC X12(会計保険情報の電子データ交換)と協調している。また国際的にも CEN-TC251(European Committee for Standardization Technical Committee 251)などと連絡を取り合っている。これら協調は重複の縮小、標準化のスピードアップ、コスト低減、国際関係の促進、政府によらない開発、販売者の共同作業の促進などのため必要なことである。さらに ISO/TC215(Health Informatics)と HL7 は Pilot Project として HL7 規格を ISO 規格にすることが決定されている。

(日本 HL7 協会他国内の標準化組織との関連)

日本 HL7 協会が 1998 年 7 月に設立された。これを受け、JAHIS でも HL7 標準化規約の日本国内における普及を日本 HL7 協会と協力し、進めている。

3. 主な用語

トリガーイベント Trigger Event:

メッセージの交換を始めるきっかけとなる事象をトリガーイベントという。HL7 は、実際のヘルスケア現場でのシステム間データ通信の必要性に応じた事象を受けて書かれている。例えば、「患者が入院」というトリガーイベントは、その患者についての情報を幾つかの他のシステムに伝送する必要を引き起こすであろう。それらメッセージ型とトリガーイベントコードは一对多の関係である。

メッセージ Message:

1 つのメッセージは、システム間で転送されるデータの意味のある最小単位である。これは定義された順序のセグメントの集合からなる。各々のメッセージはその目的を定義するメッセージタイプを持つ。例えば、ADT(入退転)メッセージタイプはあるシステムから別なシステムに患者の入退転データの一部を伝送するために使用される。各々のメッセージに含まれる 3 文字のコードがそのタイプを識別する。

セグメント Segment:

セグメントはメッセージの 1 つの側面について記述するもので、データ要素(フィールド)の論理的集合体である。各々のセグメントはセグメント ID と呼ばれる 3 文字のコードで識別される。メッセージ中のセグメントは必要なものと任意のものとなる。それらはメッセージ中1回だけ出現する場合と繰り返しが許される場合となる。たとえば、単一のオーダ関連情報は OBR セグメントとして送られ、検査関連情報は別の OBX セグメントとして送られることがある。

フィールド Field:

診断名などといったセグメント中の1つの意味付けされた属性であり、フィールドには基本属性をさらに詳細に記したデータ成分の集合を含むことがある。

フィールド成分 Field components:

フィールドへの入力要素として、成分という識別可能な部分を含むことがある。たとえば患者名は、姓、名、ミドルネーム(イニシャル)として記録されるが、それぞれの要素は別個のエンティティであり、成分区切り文字により分離される。成分はさらに副成分で構成される場合もある。

メッセージ区切り文字 Message Delimiters:

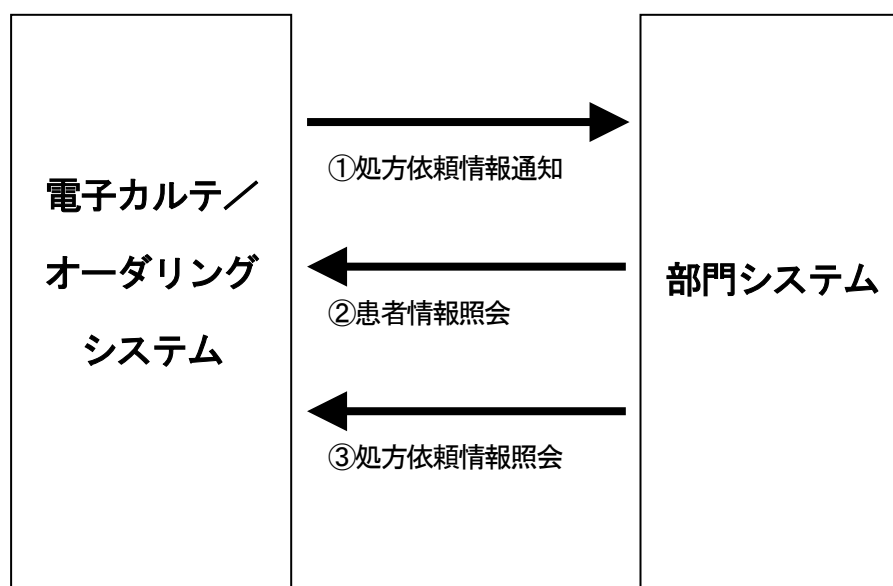
メッセージを構成するにあたっては、定義された文字が使用される。それらは、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、そしてエスケープ文字である。

病院情報システム HIS (Hospital Information System) : 病院の根幹を担う情報システム。例えば、電子カルテシステムやオーダリングシステム。患者情報やオーダ情報などを管理し部門システムに伝達する。

部門システム : 部門業務を担う情報システム。HIS から受け取った患者情報やオーダ情報などを部門業務で活用するとともに部門で発生した情報を HIS などへ伝達する。

4. 処方データ交換規約の対象範囲

処方データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプ及びトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。



システム間情報伝達イメージ

メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	HIS⇄部門	トリガーイベント	イベントタイプ
①処方依頼情報通知	RDE/RRE	RDE→ ←RRE	処方オーダーメッセージ	O11/O12
②患者情報照会	QBP/RSP	←QBP RSP→	患者情報照会メッセージ	Q11/K11
③処方依頼情報照会	QBP/RSP	←QBP RSP→	処方依頼情報照会メッセージ	Q11/K11

メッセージの概要

- ①処方依頼情報通知（RDE/RRE）
処方オーダー情報をRDEメッセージで通知する。それに対する応答をRREメッセージで返す。
- ②患者情報照会（QBP/RSP）
患者情報をQBPメッセージで問い合わせる。それに対する応答をRSPメッセージで返す。
- ③処方依頼情報照会（QBP/RSP）
処方依頼情報をQBPメッセージで問い合わせる。それに対する応答をRSPメッセージで返す。

5. 関連情報詳細

5.1 HL7 メッセージについて

メッセージ(例えば放射線検査依頼)は具体的な事象トリガイベント(例えばオーダ)により発生し、メッセージヘッダーセグメント(MSH)で始まり、データ構成要素フィールド(例えば患者名)からなるデータをもったセグメント(例えば患者属性)の集合として構成される。これらはコード化規則による区切文字で区切られた可読的な可変長メッセージであり、下記のように構成される。

```
メッセージ:      MSH セグメント <CR>
                  xxx セグメント <CR>
                  yyy セグメント <CR>
                  zzz セグメント <CR>
セグメント: セグメント ID | フィールド 1 | フィールド 2 | フィールド 3 | ... <CR>
フィールド: エレメント 1 ^ エレメント 2 ^ エレメント 3 ^ ...
```

5.2 フィールドについて

フィールドは文字列である。

システムが実際にアプリケーション内でどのようにデータを保管するかについて、HL7 は関与しない。特に注記しないかぎり、HL7 データフィールドは **null** 値を採ることがある。 **null** 値を送ること、つまり 2 個の二重引用符(“”)として送ることと、オプションのデータフィールドを省略することとは異なる。メッセージ内容が新規レコードを作成するためでなくデータベース内のレコードを更新するために使われるとき、その相違は出てくる。値を送信しない(すなわち省略する)場合、古い値はそのままである。 **null** 値を送る場合は、古い値は **null** 値に変更されるべきである。

本規格のさまざまな章にセグメント属性テーブルが含まれている。これらのテーブルは、そのセグメント内のデータフィールドとその使用上の特徴を一覧・記述している。セグメントを定義する際、以下の情報が各フィールドについて述べられている。

5.2.1 (セグメント内の)位置

セグメント内のデータフィールドの順序位置。セグメント属性テーブルでは、この情報は **SEQ** というコラムにある。この番号は、セグメント定義テーブルに続くテキストコメントで示されるデータフィールドの説明を参照するために使われる。

5.2.2 最大長

1つのデータフィールドの1反復が占めることができる文字の最大数。セグメント属性テーブルでは、この情報は **LEN** というコラムにある。

フィールドの長さは標準であるが、施設独自の根拠で変更することができる。後に定義する成分セパレータと副成分セパレータは文字数として計算される。最大長は 1 つの発生の長さなので、反復セパレータは、最大長を計算するときに含めない(章 5.2.5 反復 を参照)。複合データタイプは最も大きな成分データタイプの最大長より短い最大長を持つてはならない。

最大長が非常に大きな数の意向を伝える必要があるときは、ユーザに警告すべく値 **65536** で表す。この規定は **64K** と略記した HL7 バージョン 2.4 以前の慣例に代わる。

5.2.3 データタイプ(データ型)

データフィールドの内容に対する制限。セグメント属性テーブルでは、この情報はDTというコラムにある。もしフィールドのデータタイプが不定なときは、"varies"が注記される。

HL7 によって定義された多くのデータタイプがある。これらについては「5.4 Data types データ型」で説明する。

JAHIS 仕様の本規約書では「データ型」とも呼んでいる。

5.2.4 オプション指定

セグメント内のデータフィールドが、必須なのか、オプションなのかまたは条件付きなのかを示す。セグメント属性テーブルでは、この情報はOPTというコラムにある。

HL7 での指定は以下のとおりである。

- R — 必須。
- O — オプション。
- C — トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
- X — 対象のトリガーイベントでは使用されない。
- B — HL7 の前のバージョンへの下位互換性のために残した。セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。

注:バージョン 2.3 以上のために:各セグメント定義テーブルに続くセグメントフィールド定義中でフィールドの選択性を明示的に文書化するのがよい;セグメント内のフィールドの選択性がトリガーイベントに依存して変わる場合、その選択性も明示的に文書化するのがよい。

注:多数の成分あるいは副成分を含んでいる、HL7 データタイプによって定義されたフィールドについては、正式のセグメント属性テーブルに続く詳細なフィールド定義(説明)中で与えられた成分あるいは副成分の選択性を指定しなければならない(さらに「5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字」「5.4 Data types データ型」を参照すること)。

JAHIS 仕様(本規約書)での取り扱いは以下のとおりである。(R~B は HL7 に同じ。)

セグメント属性テーブルでは、この情報は Japan というコラムにある。

- R — 必須。
- O — オプション。
- C — トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による。
セグメント属性表に続くフィールド定義(説明)では、このフィールドの条件を定義するアルゴリズムを指定すべきである。
- X — 対象のトリガーイベントでは使用されない。
- B — HL7 の前のバージョンへの下位互換性のために残した。セグメント属性テーブルに続くフィールド定義(説明)では、先のバージョンのため選択フィールドであると表示すべきである。
- N — 通常、使用しない。施設内でのみ使用する。

5.2.5 反復

そのフィールドが反復されるかどうかを示す。セグメント属性テーブルでは、この情報は RP/#というコラムにある。

指定は以下のとおりである。

- N または空白 — 反復なし。
- Y — 無限回または現場で決定した回数だけフィールドが繰り返される。

(整数) — フィールドは、整数で指定された最大回数まで繰り返す。
 繰り返しのそれぞれが、そのフィールドの最大長で指定した文字数を含めることができる(「5.2.2 最大長」を参照)。
 使用上の注意: 空白をそのフィールドが任意に反復してよいと解釈してはならない。

5.2.6 テーブル

データフィールド定義で説明されているテーブルの表題中の番号(4桁)は、そのコード化値セットのHL7識別子を意味する。

HL7 はテーブルを 3 つの方法、つまり、使用者、HL7、外部により定義している。

使用者定義表(User-defined Tables):

ユーザまたは施設で定義された値を持つテーブルである。これは PV1-3-Assigned patient location のように確実なフィールドを与え、施設ごとに異なる値を持つ。このようなテーブルは規格では定義していないが、実現を容易にするために使用者定義テーブル番号が割り当てられる。HL7 はしばしば施設が皮切りとして使えるような推奨値を発行している(例えば表 0001 性別)。IS データタイプは、このようなテーブルで使う値をコード化することによく使われる。このようなテーブルのなかには、共通のマスタファイルを参照するテーブルもあるということに注意されたい(例えばテーブル 0302 Point of cure)。

JAHIS 仕様の本規約書では「使用者定義テーブル nnnn」と表現している。

HL7 テーブル(HL7 Tables):

HL7 テーブルはHL7によって定義/発行された値の集合である。これらはそのテーブルを含むメッセージの解釈に影響を及ぼすので HL7 規格に含まれる。これらの値は現場で再定義してはならないが、現場で定義した値を含めるためにテーブル自身を拡張することができる。特にこのことは、HL7 テーブル 0003 – イベント型 のケースに適用されている。ID データタイプは、HL7 テーブルで使う値をコード化するのに最もよく使われる。

JAHIS 仕様の本規約書では「HL7 表 nnnn」と表現している。

外部テーブル(External Tables):

外部テーブルは他の標準または組織によって定義/発行されたものである。例えば LOINC コードを使って検査結果を符号化する。フィールドで記述するには CE (下位互換性確保のため) CF、CNE、CWE 型で使われる。

9000 とそれ以上のテーブル番号は HL7 が発行する外部定義テーブルのために予約している。そのようなテーブルは、外部の機関が制定する概念やコードを、HL7 と他の標準化機関との間で規格化要求し合意を得た場合に発生する。これらはHL7が他の機関に代わってHL7規約と共に発行される。しかし、これらはHL7規約より頻繁に改訂されるかもしれない。

はい／いいえ標識テーブル(Yes/no indicator table)

はい／いいえ(Yes/No)の実際の使用は、説明内容に敏感である。各々の章ではそれぞれの文脈での意味で詳述される。

HL7表 0136 – Yes/no indicator はい／いいえ標識

Value	Description
Y	Yes はい
N	No いいえ

5.2.7 ID 番号

規格の全体にわたるデータフィールドを一意的に識別する小さな整数。セグメント定義では、この情報は ITEM# というコラムにある。

5.2.8 名称

フィールドの記述的な名前。セグメント属性テーブルでは、この情報は ELEMENT NAME というコラムにある。

同じ名前が複数のセグメント中で使用される場合、それは同じデータタイプおよび意味を同じ ID 番号と同様に各セグメントが持っていなければならない。この慣行から発生する曖昧さを扱うため、フィールドがここで引用される場合は、セグメント名および位置が常に含まなければならない。

5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字

メッセージを構成するときに、セグメントターミネータ、フィールドセパレータ、成分セパレータ、副成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字の特殊文字が使われる。セグメントターミネータは必ずキャリッジ・リターン(16 進 0D)である。その他の区切り文字は MSH セグメントで定義される。つまり、フィールド区切り文字は 4 番目の文字位置で定義され、それ以外の区切り文字は、フィールド区切り文字に続くフィールドであるコード化文字フィールドで定義される。MSH セグメントで定義される区切り文字は、メッセージ全体に適用される。特に理由がなければ、下表の区切り文字を推奨する。

Delimiter values 区切り文字の値

文字位置	区切り文字	推奨値	用法
-	Segment Terminator セグメントターミネータ	<cr> hex 0D	セグメントレコードを終了する。 この値は、導入者によって変えることができない。
-	Field Separator フィールドセパレータ または フィールド区切り文字		セグメント内で2個の隣接データフィールドを分離する。 それはまたセグメント内の冒頭のデータフィールドとセグメントIDを分離する。
1	Component Separator 成分セパレータ	^	データフィールド内の隣接成分を分離する。 成分の使用法は、関連するデータフィールドの記述に述べられている。
2	Repetition Separator 反復セパレータ	~	反復の認められたデータフィールドにおいて、複数のデータを分離する。
3	Escape Character エスケープ文字	¥ (¥)	テキストフィールド(ST,TX,FTタイプまたはEDタイプの第4成分)では、エスケープ文字が使用できる。これを表す単一の文字は、MSHセグメントのコード化文字フィールドで指定する。このフィールドはオプションであり、エスケープ文字を使わないメッセージではこの文字は省略できる。しかし、副成分セパレータがメッセージの中で使われるならば、この指定は存在せねばならない。
4	Subcomponent Separator 副成分セパレータ	&	データフィールド内の使用が認められた隣接副成分を分離する。 副成分が無いときは、省略できる。

文字位置1～4は、各セパレータを表現するキャラクタを定義する(MSH セグメントの)コード化文字フィールド内の指定位置である。

注: 区切り文字で囲まれる文字列中で ASCII 以外の文字セットを使用した場合(escape,invoke)、区切り文字に先立ち ASCII 文字セットにもどすこと。もし区切り文字が検出された場合は、文字セットは ASCII ヘリセットしたものとみなす。

テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用

TX, FT, ST または CF 型等のフィールドを符号化する場合、エスケープ文字を使用してテキストフィールドの特殊処理部を伝えることができる。エスケープ文字は、任意の表示可能な ASCII 文字であって、MSH-2-コード化文字のエスケープ文字要素に指定されたものである。本節の説明のためには、文字¥を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。エスケープシーケンスは、エスケープ文字とそれに続く1文字のエスケープ・コードID、0個以上のデータ文字、それにもう1つのエスケープ文字から構成される。エスケープシーケンスの中の入子エスケープシーケンスは禁止する。

詳細は、HL7 節 2.7、「テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用」を参照。

特殊文字: フィールド区切り、成分区切り、副成分区切り、反復区切り、およびエスケープ文字をテキストフィールド内に表現するために、以下のエスケープシーケンスが定義されている:

¥F¥	フィールド区切り (フィールドセパレータ)
¥S¥	成分区切り (成分セパレータ)
¥T¥	副成分区切り (副成分セパレータ)
¥R¥	反復区切り (反復セパレータ)

¥E¥ エスケープ文字

例: MSH-2で | ^~¥& | の時、¥9, 800 は次の様に記述する。

¥E¥9, 800

推奨しない規格外のエスケープシーケンス: HL7 では下記のエスケープシーケンスが定義されているが、本規約ではその使用を推奨しない。利用する場合は、適用施設/アプリケーション間の取り決めが必要である。尚、これらのエスケープシーケンスを受信したことで本来実行すべき処理を中断することがないように配慮すべきである。

FT、ST および XT データ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープシーケンス

¥Cxy¥ ¥Mxyzz¥

本規約では MSH-18 で ~ISO IR87 を指定するので、文字セットのエスケープシーケンスを必要としない。

強調表示

¥H¥ ¥N¥

表示等の表現は受信側アプリケーションで扱うこととする。

16 進法

¥Xdd...dd¥

このデータの扱い/解釈は HL7 規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

フォーマット化テキスト

¥.sp<数>¥ ¥.br¥ ¥.fi¥ ¥.nf¥
¥.in<数>¥ ¥.ti<数>¥ ¥.sk<数>¥ ¥.ce¥

(報告書等の) 書式制御は受信側アプリケーションで扱うこととする。

ローカル

¥Zdd...dd¥

このデータの扱い/解釈は HL7 規格の範囲外であり、本規約でも規定できない。

エスケープ文字の例外的解釈

エスケープ文字は他の表示可能な文字、区切り文字と違って、その一文字だけでは意味を成さない。エスケープシーケンスは一对のエスケープ文字を使い、前項に示す記述以外の使い方をしない。しかし、下記に示すケースが想定され、本節ではその場合の解釈を示す。説明では、文字 ¥ を使用して、メッセージに指定するエスケープ文字とする。

一对のエスケープ文字の間にエスケープ・コード ID、データ文字がない場合:

表示可能な文字 ¥ と見なす。つまり、¥E¥ を記述したのと同じとする。

記述例	解釈
¥¥	¥ (エスケープ文字)
¥E¥¥¥¥	¥¥¥ (エスケープ文字が3個)

エスケープ文字の後のエスケープ・コード ID が前項以外である場合:

一对のエスケープ文字の間を無視する。つまり、そのエスケープシーケンスを無視する。

受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
¥ABC¥	省略または null (受信アプリケーションに害のない処理)

エスケープ文字が対を成さない場合:

フィールドの終わりでそのエスケープシーケンスが完結したと見なす。

但し、受信アプリケーションは警告を発するべきである。

記述例	解釈
...¥X0506X ¥	...16 進数の 05,06 (最後の XY は 16 進数のデータの筈だが誤りである。その処置は本規約では規定外。)
...¥S	...^ (¥S¥ と見なされる。)
...¥	... (最後の ¥ のみは無視する。)

5.4 Data types データ型

HL7表 0440 - データ型

データ型	データ型名称	長さ	コメント
英数			
ST	文字列	199	
TX	テキストデータ	65536	
FT	フォーマットされたテキスト	65536	
SRT	ソート順	15	
数値			
CQ	単位付き複合数量	500	CQ は他のデータ型に埋め込まれた場合正式には表現できない。よってこれの使用はセグメントフィールドに限られる。
MO	金額	20	
NM	数値	16	
SI	シーケンス ID	4	
SN	構造化数値	36	
識別子			
ID	HL7 表用の符号化値	Variable	
IS	使用者定義表用の符号化値	20	
VID	バージョン識別子	973	
HD	階層指定	227	
EI	エンティティ識別子	427	
RP	参照ポインタ	273	
PL	個人の位置	1230	
PT	処理型	3	
日付/時間			
DT	日付	8	
TM	時間	16	
TS	タイムスタンプ	26	
コード値			
CE	符号化要素	483	HL7 v 2.3.1 時で CNE と CWE と取り替えられた。HL7 v 2.5 時では下位互換性のみのた

データ型	データ型名称	長さ	コメント
			めに保持された。
CNE	例外無し符号化	705	
CNN	拡張複合 ID と名前	406	
CWE	例外有り符号化	705	
CF	フォーマットされた値付きの符号化要素	65536	
CK	チェックディジット付き複合 ID		削除
CN	複合化 ID 番号と名前		削除。v 2.3 で XCN に変更
CX	チェックディジット付き拡張複合 ID	1913	
XCN	拡張された複合 ID 番号と名称	3002	v 2.3 で CN から変更
一般			
CM	複合		削除。HL7 V2.5 ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。 ここでは、本書で使用するデータ型のみ記載した。
DLD	退院の場所と日付	47	
EIP	エンティティ識別子のペア	855	
ELD	エラー場所および説明	493	
ERL	エラー場所	18	
MOC	金額およびチャージコード	504	
MSG	メッセージ型	15	
NDL	場所と日付を備えた名称	835	
PRL	親結果リンク	755	
SPS	標本のソース	4436	
患者属性			
AD	住所	415	v 2.3 で XAD に変更
FN	姓	194	PN もしくは PN を含むデータ型 (PPN, XCN, XPN) 中にのみ出現
PN	個人名		削除
SAD	住所 (町名)	184	XAD データ型中にのみ出現
TN	電話番号	199	削除 内向的

データ型	データ型名称	長さ	コメント
XAD	拡張住所	631	v 2.3 で AD から変更
XPB	拡張された個人名	1103	v 2.3 で PN から変更
XON	機関に関する拡張された複合名称と ID 番号	567	
XTN	拡張された通信番号	850	v 2.3 で TN から変更
波形			
CD	チャネル定義	581	波形データ用のみ。
MA	多重化された配列	65536	波形データ用のみ。
NA	数値配列	65536	波形データ用のみ。
ED	カプセル化されたデータ	65536	バイナリデータの ASCII MIME-エンコーディングをサポート
価格データ			
CP	複合価格	543	.
患者管理/財政情報			
FC	保険種別	47	
拡張照会			
QSC	照会选择の基準	219	
QIP	照会入力変数リスト	212	
RCD	行列定義	19	
DLN	運転免許証番号	66	
JCC	職種コード/クラス	292	
VH	来院時間	41	
カルテ/情報管理			
PPN	実施者のタイムスタンプ	2993	TS を結合した XCN と等価
時系列			
DR	日付/時間の範囲	53	
RI	反復間隔	206	
RPT	繰り返しパターン	984	
SCV	スケジューリング種類と値の対	41	スケジューリングデータ用のみ。第 10 章参照
TQ	タイミング/量	1209	HL7 V2.5 では、下位互換性のためにのみ保

データ型	データ型名称	長さ	コメント
			持される。
GTS	汎用タイミング指定	199	

Data types データ型解説

ST 文字列データ

文字列データは、左詰めにされこれに空白がうしろに続いてよい。任意の表示可能な(印刷可能な)ASCII文字(20から7Eまでの16進値)である。例: |almost any data at all|

TX テキストデータ

文字列データは、使用者に対しターミナルまたはプリンターによって表示するためにある。文字列に先行空白を挿入した方が使用者に見やすいということもあるので、文字列は必ずしも左詰めにするわけではない。この種のデータは表示することが目的なので、表示装置を制御するためのエスケープ文字シーケンスを含むことがある。先行空白文字を挿入し、後書き空白を取り除くとい。例: |leading spaces are allowed.|

TXデータは表示するためあるので、反復区切文字をTXデータフィールドで使うと、それは一連の反復行がプリンターまたはターミナル上に表示されることを意味する。したがって反復区切文字は、パラグラフ・ターミネータまたはハード・キャリッジ・リターンとみなされる。(そのテキスト内にCR/LFが挿入されたように表示される)。

受信システムでは、任意の大きさの表示ウィンドウに合わせるためテキストを繰り返し区切り文字間でワードラップするが、反復区切文字で始まる行はすべて新たな行になる。

FT 書式付テキストデータ

このデータ型は、書式を埋め込み追加することで文字列データ型を拡張したものである。これらの書式は固有であり、フィールドの使用環境から独立している。文字列データ(ST)フィールドとFTフィールドとの違いは、長さが任意(64kまで)であることと、エスケープ文字で囲まれた書式を含むことである。例: |¥.sp¥(skip one vertical line)|

SRT ソート依頼

Components: <sort-by field ソート・フィールド(ST)> ^ <sequencing 配列(ID)>

ソートされるレスポンスとソート方法をこのパラメータで指定する。

第1成分はソートされるレスポンスのフィールドを識別する。よいレスポンスでは、これはソートされるべきカラム名になる。セグメントパターンや表示応答ではソートされるべきセグメントフィールド名になる。(セグメントフィールド名定義については QIP データタイプの「セグメントフィールド名(ST)」を参照。)。

第2成分はフィールドかパラメータにより識別しソートする。HL7 テーブル 0397 を参照する。

テーブル0397－汎用IDタイプ

Value	Description
A	Asending 昇順
AN	Asending, case Insensitive 大小文字区別無し昇順
D	Desending 降順
DN	Desending, case Insensitive 大小文字区別無し降順
N	None

CQ 単位付き合成量

Components: <数量(NM)> ^ <単位(CWE)>

第1成分は数量である。第2成分はその数量の単位である。デフォルトの単位で検査を測定した場合、その単位は送信する必要ない。その単位がISO+単位であるなら小文字の省略形を使用するとい。

その単位がANSIまたはローカル定義のものならその単位と出典を記録しなければならない。

例:

|123.7^kg| kilograms is an ISO unit

|150^lb&&ANSI+| weight in pounds is a customary US unit defined within ANSI+.

MO 金額

Components: <quantity (NM)> ^ <denomination (ID)>

第1成分は数量で金額を表わし、第2成分はその数量を表す際の貨幣単位である。貨幣単位成分の値はISO-4217に指定されている。貨幣単位を指定しない場合、MSH-17国コードを使用しデフォルトを決定する。例:|99.50^USD|ここでUSDは、米国ドルを表すISO 4217コードである。

NM 数字

ASCII数字列として表記される数字は、オプションの先行符号(+または-)、数字、そしてオプションの小数点から構成される。符号がない場合、その数値は正数であると仮定される。小数点がない場合、その数値は整数であると仮定される。例:|999| |-123.792|

先行ゼロまたは小数点の後の後書きゼロは無意味である。01.20と1.2という2つの数値は同一である。オプションの先行符号(+または-)およびオプションの小数点(.)を除いては、数字以外のASCII文字は許されない。したがって、値“<12”は、文字列データ型としてコード化しなければならない。

SI シーケンス ID

NMフィールド形式の正整数。このフィールドの使用方法は、それが現われるセグメントとメッセージを定義している章で定義する。

SN 構造化数値

Components: <comparator比較演算子 (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffixセパレータ/サフィックス (ST)> ^ <num2 (NM)>

構造化した数値データタイプは、条件を伴った数値の臨床検査結果を表現するため使用される。これによって受信システムは成分を別々に格納することができ、数値のデータベース照会の使用が容易になる。比較演算子は、超「>」、未満「<」、以上「>=」、以下「<=」、等しい「=」、等しくない「<>」、デフォルトは等しい「=」である。

<num1>および<num2>が値を持つ場合、セパレータ/サフィックスは必須である。セパレータが「-」である場合、その範囲は両端を含む。例えば、<num1> - <num2>は、<num1> <= x <= <num2>であるような一連の数値Xを示す。

num1 は数値。num2 は数値またはヌルであり測定によって異なる。

セパレータ/サフィックスは、「-」、「+」、「/」、「.」、「:」。

例: |>^100| (greater than 100)、|^100^-^200| (equal to range of 100 through 200)

|^1^:^228| (ratio of 1 to 128, e.g., the results of a serological test)

|^2^+| (categorical response, e.g., occult blood positivity)

ID HL7 定義コード化値

この種のフィールドで使う値は、正当な表の値から引用される以外はSTフィールドで使う書式規則に従う。IDフィールドの例として性別などがある。

IS 使用者定義コード化値

このフィールドの値は、使用者定義テーブルから引用され、STフィールドの書式規則に従う。ISデータ型に関連したHL7テーブル番号があるものとする。例えば事象理由コードである。

VID バージョン識別子

Components: <version ID (ID)> ^ <internationalization code(CWE)> ^ <international version ID (CWE)>

第1要素はHL7バージョンを表記するために使用。取りうる値はHL7テーブル0104を参照。

第2要素はISO3166国コードで国際支部の国を表記する。ISO3166テーブルに従い、3文字のコードを国コードと扱う。

第3要素に各国支部がUSのバージョンに対し支部バージョンを持つ場合そのバージョン番号を表記

する。

HD 階層的デジグネータ

Components: <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

HDデータタイプは他のデータタイプ構成要素の一部として用いられる。それは、ローカルで定義されたアプリケーション識別子や公に割り当てられたUIDのいずれかとして使用される。

HDは、HL7の初期の版でISデータ型を使用したフィールドの中で使用される。その場合、第1成分のみである。HDデータ型の第1の成分が存在する場合、第2と第3の成分はオプションである。第3成分が存在する場合、第2成分も存在せねばならない。

HDの第2の成分、汎用ID(UID)は、第3の成分、汎用IDタイプ(UIDタイプ)によって定義される書式の文字列である。UIDはUIDタイプ内で時間が経過しても一意的になるよう定義されている。UIDタイプによって定義された各UIDは、UIDを構築する特に列挙された計画のうちの1つに属さなければならない。UID(第2の成分)は、第3の成分によって定義された汎用ID構文規則に従わなければならない。

テーブル0301－汎用IDタイプ

Value	Description
DNS	インターネットで指定された名前。ASCII文字あるいは整数値のいずれか。
GUID	UUIDと同じ。
HCD	CENヘルスケアコード体系デジグネータ(DICOMで使用する識別子はこの割当計画に従う)。
HL7	将来のHL7登録計画のためにリザーブ。
ISO	国際標準化機構オブジェクト識別子
L、M、N	ローカルで定義されたコード体系のためにリザーブ。
ランダム	一般的にランダムビットのbase64コード化文字列。一意性は、ビットの長さに依存する。メール・システムは、ランダムビットおよびシステム名の組合せから、ASCII文字列の「一意的な名」を生成することが多い。明らかに、そのような識別子はbase64文字集合によって束縛されない。
UUID	DCE 汎用一意性ID
x400	X400 MHS書式ID
x500	X500 ディレクトリ名

例:

1.2.34.4.1.5.1.5.1,1.13143143.131.3131.1^ISO

14344.14144321.4122344.14434.654^GUID
falcon.iupui.edu^DNS

40C983F09183B0295822009258A3290582^RANDOM

LAB1 Local use only: an HD that looks like an IS data type.

PathLab^UCF.UC^L A locally defined HD in which the middle component is itself structured.
This can be considered the combination of 'PathLab' with the locally defined UID system "L".

LAB1^1.2.3.3.4.6.7^ISO An HD with an ISO "Object Identifier" as a suffix, and a locally defined system name.

^1.2.344.24.1.1.3^ISO An HD consisting only of an ISO UID.

EI エンティティ識別名

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

エンティティ識別名は、識別子の指定されたシリーズ内の与えられたエンティティを定義する。

指定されたシリーズ、すなわち割り当て権限は、成分2～4によって定義される。割り当て権限は階層的指名者データ型(HD)である。しかし、それは3つの個別の成分としてEIデータ型の中で定義され、これは通常単一の成分として定義されるのとは異なる。これはいくつかの既存のデータ分野の成分としてのEIの使用と下位互換性を維持するためである。そうでなければ、成分2～4は「HD 階層的デジグネータ」の中で定義される。階層的指名者は、与えられたHL7導入を通じて一意的である。第1成分、エンティティ識別名は、識別子のシリーズ内で一意的であるよう定義され、割り当て権限によって作成され、これは階層的指名者によって定義され成分2～4で表わされる。

RP 参照ポインタ

Components: <pointerポインタ (ST)> ^ < application IDアプリケーションID (HD)> ^ <type of dataデータの型 (ID)> ^ <subtypeサブタイプ (ID)>

このデータ型は、別のシステムに保存されているデータの情報を伝送する。このデータ型には、そのシステムに保存されているデータを一意に識別する参照ポインタ、そのシステムの識別、およびデータの型が含まれる。

ポインタ: データを保存するシステムが割り当てる一意なキー。そのキーはSTデータ型であり、データを識別しそのデータにアクセスするのに使う。

アプリケーションID: HDデータ型でありデータを保存するシステムの一意な名前。依頼者(または実施者)アプリケーションIDに同じ。アプリケーションIDは扱うHL7メッセージシステムを通じて一意でなければならない。

参照されるデータのタイプはHL7テーブル0191に示される。

テーブル 0191 - 参照されるデータのタイプ

Value	Description
AP	Other application data, typically uninterpreted binary data (HL7 V2.3 and later)
AU	Audio data (HL7 V2.3 and later)
FT	Formatted text (HL7 V2.2 only)
IM	Image data (HL7 V2.3 and later)
Multipart	MIME multipart package
NS	Non-scanned image (HL7 V2.2 only)
SD	Scanned document (HL7 V2.2 only)
SI	Scanned image (HL7 V2.2 only)
TEXT	Machine readable text document (HL7 V2.3.1 and later)
TX	Machine readable text document (HL7 V2.2 only)

サブタイプは、参照されるデータのタイプのための書式を宣言するので、HL7テーブル0291－参照されるデータのサブタイプを参照すること。

テーブル 0291 - Subtype of referenced data

Value	Description
BASIC	ISDN PCM audio data
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine
FAX	Facsimile data
GIF	Graphics Interchange Format
HTML	Hypertext Markup Language
JOT	Electronic ink data (Jot 1.0 standard)
JPEG	Joint Photographic Experts Group
Octet-stream	Uninterpreted binary data
PICT	PICT format image data
PostScript	PostScript program
RTF	Rich Text Format
SGML	Standard Generalized Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)
TIFF	TIFF image data
x-hl7-cda-level-one	HL7 Clinical Document Architecture Level One document
XML	Extensible Markup Language (HL7 V2.3.1 and later)

PL 患者所在

Components: <point of care看護単位 (IS)> ^ <room病室 (IS)> ^ <bedベッド (IS)> ^ <facility施設 (HD)> ^ <location status場所の状態 (IS)> ^ <person location type所在場所タイプ (IS)> ^ <building建物 (IS)> ^ <floor階 (IS)> ^ <location description場所の詳細 (ST)>

このデータ型は医療施設内の個人の所在場所を特定するため使用される。どのコンポーネントに値を付けるかはサイトの必要性によって異なる。それは患者の所在場所を特定するため使用されることが最も多いが、しかし医療施設内の患者以外の個人を指すことやその場所の状態を表現する場合もある。

看護単位とは診療室や病棟など部門をいう。場所の状態はベッドのあき状況などを表示する。所在場所のタイプをコードで表現する。

注:成分の順序によって、以前のバージョンのHL7と互換性がある。下位互換性の制約がない場合、成分の階層構造オーダは次のようになる:<所在場所タイプ(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <階(IS)> ^ <看護単位(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <ベッド(IS)> ^ <場所の詳細(ST)> ^ <場所の状態(IS)>。

PT 処理タイプ

Components: <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否かを示す。

処理IDで、メッセージが生成、訓練あるいはシステムデバッグかどうか定義する値。有効な値については「HL7テーブル0103—処理ID」を参照すること。処理モードで、メッセージが文書累積の処理あるいはイニシャルロードの一部かどうか定義する。有効な値については「HL7テーブル0207—処理モード」を参照すること。

DT 日付

常に書式YYYY[MM[DD]]で表記、桁数により精度が規定される。 例:|19880704|

TM 時間

Format: HH[MM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ]

以前のHL7バージョンでは、24時間表記法による書式HHMM[SS[.SSSS]] [+/-ZZZZ]を常に使用していた。表記する桁数で精度が規定される。秒指定(SS)はオプションである。存在しない場合、分までの精度と解釈される。小数の秒指定は同様にオプションである。小数の秒は、秒より高い精度の時間を必要とする場合に送信される。分、時間、またはそれ以上の時間単位を小数で表記することはできない。発信者の時間帯は、万国標準時(以前はグリニッジ標準時として知られていた)からのオフセットとしてオプションで送られることがある。発信者の時間帯が特定のTMフィールドに存在しないが、MSHセグメントの日時フィールドの一部として含まれる場合は、MSH値がデフォルトの時間帯として使われる。それ以外の場合、その時間は発信者の現地時間を参照するものと解釈される。真夜中は0000と表記する。

例:

|235959+1130| 1 second before midnight in a time zone eleven and half hours ahead of Universal Coordinated Time (i.e., east of Greenwich).

|0800| Eight AM, local time of the sender.

|093544.2312| 44.2312 seconds after Nine thirty-five AM, local time of sender.

TS タイムスタンプ

Format: YYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]] [+/-ZZZZ] ^ <精度>

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。

YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]] [+/-ZZZZ] ^ <精度>

タイムスタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間帯は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。

HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度は下位互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y = 年、L = 月、D = 日、H = 時間、M = 分、S = 秒)。例:

|17760704010159-0600| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Standard Time zone.

[17760704010159-0500] 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Daylight Saving Time zone.
[198807050000] Midnight of the night extending from July 4 to July 5, 1988 in the local time zone of the sender.

[198807050000^D] Same as prior example, but precision extends only to the day. Could be used for a birthdate.(=[19880705])

HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものととして扱うのがよい。

この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

CE コード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト (ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ST)>

例:[54.21^Laparoscopy^I9^42112^AS4]
[F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN]

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。この型は、次に述べる通り、代替成分を含め6個の成分を持つ:

識別子: 後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。異なるコーディング方式では、異なる要素を持つ。

テキスト: 問題としている項目の名前または記述。たとえば、心筋梗塞とかX線撮影所見など。そのデータ型は文字列(ST)である。

コーディング方式名: コーディング方式には一意な識別子が割り当てられる。この成分は、識別子成分内で使われているコーディング方式を識別するのに役立つ。識別子成分とコーディング方式名成分の組合せは、データに対して一意なコードである。ここに指定されるコーディング方式の例は、ICD-9、ICD-10、SNOMEDなどである。各方式には一意な識別文字列が与えられる。ここにHL7テーブルを使用する場合、HL7テーブル番号をnnnnとしHL7nnnnとして定義する。

代替成分: 3つの代替成分は、上記と同様、代替方式または現地コーディング方式を定義するためにある。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在すると、代替テキストはテキスト成分と同じであると解釈される。代替コーディング方式成分が存在しない場合、それはローカル定義の方式であると解釈される。

注記: このデータ型では2組の等価コードを表現しているが、それはCE型フィールドの反復とは意味が違っている。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード(明瞭な意味を持つコード)を送信するのが普通である。

CNE 例外なしコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (IS)> ^ <coding system version ID コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト(ST)>

第1成分はユニークな文字のつながり(コード)である <テキスト>を参照するための識別項目である。異なるコード化の要素を持つ。

第2成分は問題の項目の名前を記述。例えば心筋梗塞あるいはX線の印象。そのデータタイプは文字列である。これは識別子にコーディング方式によって割り当てられるテキストである。

第3成分のそれぞれのコーディング方式には一意な識別子を割り当てられる。この成分は識別子成

分で使われて符号体系を識別するのに役立つ。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意なコードである。それぞれの方式は一意な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル0396ーコーディング方式(HL7-節7.18.1参照)ーが許されている値を含んでいる。このテーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤ID、健康結果」コーディング方式を含み、HL7-節7.2.5のテーブルで識別される。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合である。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が

HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。同様に、ISO テーブルが ISOnnnn と命名される。そこでは nnnn は ISO テーブル番号である。

第4成分は上の「識別子」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第5成分は上記の「テキスト」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第6成分は上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプCNEの「使用上の注意」を参考。

第7成分は第1成分-第3成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に第1成分-第3成分に属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第8成分は第4成分-第6成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは(データタイプCEの第6成分を参照)概念的に代替りのコンポーネントのグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第9成分は特定のコードの前に自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストは割り当てられた。この部品はオプションである。

使用上の注意:

第1成分-第3成分と第7成分:識別子は必要とされて、そして正当なコードであるに違いない。コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから値を持っていないくはならない、あるいはもし存在していないなら、それはコードが「 HL7 コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル0396ーコーディング方式(HL7-節7.18.1参照)ーが許されている値を含んでいる。もしコーディング方式が「 HL7 コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「 HL7 コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダで HL7 バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である、しかし、それがメッセージを正確度のために、特にインタフェース検査とデバッグの間に再検討することがより容易であるようにするので、その使用は奨励されるべきである。

第9成分:これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。この部品はオプションである。

第4成分-第6成分と第8成分:これらの成分はオプションである。

記述されるように、それらはローカルであるか、あるいはユーザによって見られるコードを表すために使われる。

もし存在しているなら、第4成分-第6成分と第8成分は第1成分-第3成分と第7成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。

もし両方ともが存在しているなら、第4成分と第1成分のアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである、すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

CNE 使用法ノート:必要とされるか、あるいは義務的なコードされたフィールドが必要とされるとき、CNE データタイプは使われるべきである。

使用者定義テーブル0396ーコーディング方式ーが許されている値を含んでいる。

このテーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤、健康結果」コーディング方式を含む。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が

HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。

それらの使用法のガイドラインがHL7-チャプター7、節7.1「序論と概要」で説明される。

例:1. もし OBX セグメントの値タイプ(Value Type)フィールド(2を順番に並べる)が型 CNE であると定義され、de に生ませられた値型が数だったならば、値型フィールドの最短の表現は現在の ID フィールド・シンタックスと同一でしょう:

```
OBX|1|NM|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

テキストを含んでいたのと同じ OBX セグメントのより冗長な表現は、次のとおりでしょう:

```
OBX|1|NM^Numeric|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

テキストとコーディング方式を含む同じ OBX セグメントのさらに冗長な表現は、次のとおりでしょう:

```
OBX|1|NM^Numeric^HL70125|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

データを作成したオリジナルのシステムの中で使用されるコードに関する情報を保持するために、スキーム・データをコード化する選択肢を含んでいることができるかもしれません:

```
OBX|1|NM^Numeric^HL70125^NUM^Number^99LAB|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

上記のものに加えて、人が使用されている語いのバージョンを捕らえ、HL7 バージョンが“2.3.1”およびスキーム・バージョンをコード化する 99LAB だった場合“1.1”だった、フィールド?は次のように現われるでしょう。

```
OBX|1|NM^Numeric^HL70125^NUM^Number^99LAB^2.3.1^1.1|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

更に、もし人が値フォーマットの“user seen”テキストを含みたく、ユーザがデータ・エントリ・スクリーン上のフィールド・タイプとして“Decimal”を見たならば、フィールドは次のように現われるでしょう:

```
OBX|1|NM^Numeric^HL70125^NUM^Number^99LAB^2.3.1^1.1^Decimal|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

最終的に、ユーザは本来の ID の代わりに略記号を使用し、別名の ID として長い書式を使用することができた。

```
OBX|1|NM^^^NUM^Number^99LAB^^1.1^Decimal|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

2. もし値タイプ・フィールドが CNE フィールドとして定義されていたならば、および希望の値タイプが値セットの中になかった場合、有効な OBX インスタンスを作成することができない。例えば、もし検査システムが内部値タイプの“Decimal Range”を持っていれば、HL7 テーブル 0125 に利用可能な対応する値タイプがないので、有効な OBX インスタンスを作成することができない。次の事例は正しくない。CNE フィールドのすべての有効なインスタンス中で、ID フィールドは、指定されたテーブルからの有効な値を持っていないなければならない。

正しくない(有効な ID がない)

```
OBX|1|^ ^ ^DR^Decimal Range^99LAB^^1.1^Decimal Range|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

3. コーディング・スキームが HL7 テーブルの ID 以外である場合、コーディング・スキームは HL7-チャプター 7 の中で指定されたコーディング・スキームから得られる有効なスキームでなければならない。例えば、もし OBX セグメントの検査項目フィールド(OBX-3)が CNE フィールドとしてタイプされ、LOINC バージョン 1.0k が検査項目に対するソースとして使用されていたならば、次の OBX 事例は有効でしょう:

```
OBX|1|NM|718-7^Hemoglobin^LN^^^^1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>
```

しかしながら、コーディング・スキーム指示“LOCAL”が、有効なコーディング・スキームの ID リストに載っておらず、また、それも有効で“local”なコーディング・スキームの ID を作成のために HL7-チャプター7 に記述された規則に順応しないので、次の OBX 事例は正しくないであろう。

正しくない(無効なコーディング・スキーム)

OBX|1|NM|9587-2^Hemoglobin^LOCAL^^^^1.0k||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

ローカルのコーディング・スキーム“99LAB”を使用する有効な OBX インスタンスは、“99LAB”が HL7-チャプター7 に記述されているようにローカルのコーディング・スキームを指定するための規則に適合しているので、許可される。有効な OBX 事例は以下のように表わされる:

OBX|1|NM|9587-2^Hemoglobin^99LAB^^^^6.5||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

コーディング・スキームが HL7 テーブルの ID 以外である場合、最終的には、バージョン番号は存在しなければならない。たとえコーディング・スキーム LN(LOINC)が有効でも、有効なバージョン番号が抜けているので、次の OBX 事例は正しくない:

正しくない(見当たらないバージョン番号)

OBX|1|NM|718-7^Hemoglobin^LN||13.4|GM/DL|14-18|N||S|F<cr>

CNN 拡張複合 ID と名前

Components: <ID number ID 番号 (ST)> ^ <family name 姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字(ST)> ^ <suffix 接尾辞 (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix 接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree 学位 (e.g., MD) (IS)> ^ <source table ソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority-Namespace ID 割当て権限者-ネームスペース ID (IS)> ^ <assigning authority-Universal ID 割当て権限者-ユニバーサル ID (ST)> ^ <assigning authority-Universal ID Type 割当て権限者-ユニバーサル ID 種別 (ID)>

例: j00001^中田^陶

CWE 例外を含むコード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト(ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (ID)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ID)> ^ <coding system version ID コーディング方式バージョンID(ST)> ^ < alternate coding system version ID 代替コーディング方式バージョンID(ST)> ^ <original textオリジナルテキスト(ST)>

第 1 成分: 文字のつながり(コード)それはユニークに < テキスト>によって参照されて項目を識別する。異なったコード化方式がここで異なった要素を持つであろう。

第 2 成分: 問題の項目の名前あるいは記載。例えば、myocardial 梗塞あるいはレントゲン写真印象。

第 3 成分: それぞれのコーディング方式がユニークな識別子を割り当てられる。

このコンポーネントは識別子コンポーネントで使われて符号体系を識別するのに役立つであろう。

識別子成分とコーディング方式名成分の組合せはデータ項目に一意なコードである。それぞれの方式は一意な識別文字列を持っている。

使用者定義テーブル 0396(HL7-節 7.18.1 参照)-コーディング方式-が許されている値を含んでいる。テーブルは「ASTM E1238 -94、診断、処置、検査、薬剤 ID、健康結果」と、ASTM-7.1.4 のテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。必要に応じて、他の方式が追加される。

コード集合を発行するいくつかの機関が1つ以上を著作する。

それから、ユニークであるコーディング方式はコーディング権限機関の名前とそのコードセットあるいはテーブルの名前の結合ある。

HL7 テーブルが CE データタイプのために使われるとき、コーディング方式名成分は nnnn が HL7 テーブル番号である HL7nnnn と定義される。

同様に、ISO テーブルが ISOnnnn と命名されるであろう、そしてそこで nnnn は ISO テーブル番号である。

第 4 成分: 上の「識別子」に類似している。データタイプ CWE の「使用上の注意」を参照。

第 5 成分: 上記の「テキスト」に類似している。データタイプ CWE の「使用上の注意」を参照。

第 6 成分: 上記の「コーディング方式の名前」に類似している。データタイプ CWE の「使用上の注意」を参照。

第 7 成分: これは第 1 成分-第 3 成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。そ

これは概念的に構成する第 1 成分-第 3 成分のグループに帰属して、そして逆方向互換性の理由だけのためにここで現われる。

第 8 成分:これは第 4 成分-第 6 成分によって識別されるコーディング方式のためのバージョンIDである。それは概念的に代わりの成分のグループに帰属する(見なさい、と0が指摘する、上記の「テキスト」に類似している。データタイプ **CWE** の「使用上の注意」を参照。

第 9 成分:特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキスト

使用上の注意:こちらは一般に送られるフィールドがコード、しかしどこにコードが卓越したインスタンスであるいはサイト契約によって除かれるかもしれないか使っている。

使われているコーディング方式がテキストでコンセプトを記述するためにコードを持っていないとき、卓越した事例が起こる。

1) **Coded** :識別子はコーディング方式から正当なコードを含んでいる。

コーディング方式はあるいは存在していて、そして許されたコーディング方式のセットから、あるいはもし存在していないなら値を持っていないなくてはならない、それはコードが「**HL7** コーディング方式」を意味するという状態で、もしそれが高く評価されたならと比べて同じ意味を持つと解釈されるであろう。

使用者定義テーブル **0396**-コーディング方式が許されている値を含んでいる。

テーブルは「**ASTM E1238 –94**, 診断、処置、検査、薬剤 ID、健康結果」と、**ASTM-7.1.4** のテーブルで識別されるように、コードしている「コード化方式」を含む。

もしコーディング方式が「**HL7** コーディング方式」以外のどんな方式でもあるなら、バージョンIDが実際のバージョンIDで高く評価されなくてはならない。

もしコーディング方式が「**HL7** コーディング方式」であるなら、バージョンIDは実効値を持っているかもしれない、あるいは存在しないかもしれない。もしバージョンIDが存在しないなら、それはメッセージヘッダで **HL7** バージョン番号と比べて同じ値を持っていると解釈されるであろう。

テキスト記述は任意である、しかしその使用はテストの間のそしてデバッグするメッセージの判読性で支援に奨励されるべきである。

例 1a : **CWE** 値と値が **SNOMED** ・インターナショナルから取られる(とき・から・につれて・ように)、観測識別子が **LOINC** コードと観測値である **OBX** 部分が送られている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^Type  
O^SNM3^^^3.4|||N||F<cr>
```

例 1b :観測識別子が **LOINC** コードと観測値である **OBX** 部分が **CWE** 値として送られている、そして値は(現在仮説の) **HL7** テーブルから取り出される。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|O^Type O^HL74875^^^2.3.1|||N||F<cr>
```

2) **Uncoded** :テキストが高く評価される、識別子は値を持っていない、そしてコーディング方式とバージョンIDがオプション1のために論じられると比べて同じ規則に従う。

例2:検査結果IDを **LOINC**コードとする **OBX**セグメントと検査結果が **CWE** 値として送られており、そして、正しい臨床結果「**Wesnerian**」が許容値の中に見いだされなかったことのテキストとして送られる。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABO Group^LN|1|^Wesnerian^SNM3^^^3.4|||A||F<cr>
```

3) データ消失:コーディング方式の名前は「**HL7 CE** 状態」である、バージョンIDが1レアルいずれかであるバージョン、あるいはもし存在していないなら、それはメッセージヘッダでバージョンと比べて同じ意味を持っている、そして識別子は許された **CE** フィールド **statuses** の1人からその値を取る。

許された **CE** フィールド **statuses** のコードは下に示されて、そして **HL7** 用語の一部としてテーブルで維持されるであろう。

コードのテキスト記載は任意である。

例3: 検査結果 ID を LOINC コードとする OBX セグメントと検査結果が LCE 値として送られており、この検査がされなかったことから送られることができる値がない。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|NAV^NotAvailable^
HL70353^^^2.3.1|||F<cr>
```

第 9 成分: これは、特定の規約が割り当てられる前に、自動化されたプロセスあるいは人に利用可能であったオリジナルのテキストである。このフィールドは任意である。

第 4 - 6 成分 & 第 8 成分: 成分 4-6 & 8 は任意である。

それらはローカルまたはユーザによって見られたコードを表すために使われる。

もし存在しているなら、第 4 - 6 成分と第 8 成分は (CWE データタイプの) 第 1 - 3 成分と第 7 成分の記述と同じ使用規則と翻訳に従う。

もし両方ともが存在しているなら、第 4 成分と第 1 成分でのアイデンティファイアは正確に同じ意味を持つべきである; すなわち、それらは正確な同義語であるべきである。

例4: 検査結果 ID を LOINC コードとする OBX セグメントと検査結果が CWE 値として送られており、結果は SNOMED インターナショナルから得られる。

ユーザによって見られたフィールドは (99LAB) が送信しているシステムで使ったローカルなコーディング方式を表すために使われている。

```
OBX|1|CWE|883-9^ABOGroup^LN|1|F-D1250^TypeO^SNM3^O^Otype
Blood^99LAB^3.4^|||F<cr>
```

CWE 使用法のサマリの値がない種々の国家のために状態値のテーブルで指摘する: データタイプが (そのために) 使われるべきである CWE は任意である、あるいはもうではなく公認の値セットの一部である項目のためのテキストを送ることは許されるフィールドをコードした。

標準的な状況で、識別子は値セットからコードで高く評価される。

もしフィールドの値が知られているが、値セットの一部ではないなら、テキストと識別子が値を持っていない (とき・から・につれて・ように)、値は送られる。

もしフィールドが未知の状態を持っているなら、フィールドの 3 番目のフォームが (上にデータ消失を見なさい) 使われる、そしてフィールドのための適切な状態は許された statuses のテーブルから選択される。

コードが存在しないとき、HL7 テーブル 0353 を利用する。

テーブル 0353 - CWEステータス

Value	Description
U	Unknown 無し
UASK	Asked but Unknown 返答無し
NAV	Not available 利用可能でない
NA	Not applicable 適用可能でない
NASK	Not asked 問い合わせなし

テキスト変更子がコードに伴うかもしれないところに、HL7 メッセージの「フィールド」はデータタイプ CWE のことであるであろう、そして繰り返すことを許されるであろう。

フィールドの最初のインスタンスは、オプション1に従って、使われるであろう; すなわち識別子は正当なコードを持っているであろう。

繰り返すフィールドの 2 番目のインスタンスは使われるであろう、オプション2に従って、すなわち、テキスト記載は自由なテキスト変更子の値をとるであろう。

CF 書式付コード化値

Components: <identifier識別子 (ID)> ^ <formatted text書式付テキスト (FT)> ^ <name of coding system
コーディング方式名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ID)> ^ <alternate formatted text
代替書式付テキスト (FT)> ^ <name of alternate coding system代替方式名 (IS)>

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連する書式付テキストを送る。このデータ型は、レポートの詰め込みテキスト部に使用する書式付テキスト (たとえば、単純胸部X線について標準的に記述された放射線所見など) を初めて送る場合に使用する。受信システムは、この情報を保存し、次のメッセ

ージではその識別子だけを送信すればよい。このデータ型のもう一つの考えられる使用法は、書式付テキストを含むマスタファイル・レコードを送ることである。主要成分、代替成分とも、第2成分および第5成分が書式付テキストデータ型であるという点を除いて、CEデータ型の場合と全く同様に定義される。

例:

OBX||CF|71020^CXR^CPMC||79989^¥H¥Description:¥N¥¥.sp¥¥ti+4¥Heart is not enlarged.
There is no evidence of pneumonia, effusion, pneumothorax or any masses.
¥.sp+3¥¥H¥Impression:¥N¥¥.sp¥¥ti+4¥Negative chest.^CPMC

CK チェックディジット付き複合 ID

Components: <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者(HD)>

このデータ型は、たとえばPID-3-患者ID(内部ID)など、通常チェックディジットを含むフィールドで使われる。現場で、あるCKフィールドにチェックディジットを使っていない場合、第2、第3成分はNullである。

例: |128952^6^M11^ADT01|

このデータ型のチェックディジットは、メッセージ処理システムが追加生成するわけではない。それは、送信アプリケーション内で使われる識別番号に含まれる。送信アプリケーションが識別番号内にチェックディジットを含まない場合、この成分はnullとすべきである。

チェックディジット方式は、HL7テーブル0061 — チェックディジット方式で定義する。

テーブル0061—チェックディジット方式

Value	Description
NPI	Check digit algorithm in the US National Provider Identifier
ISO	ISO 7064: 1983
M10	Mod 10 アルゴリズム
M11	Mod 11 アルゴリズム

Mod10チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り

あなたが識別子=12345を持つと仮定する。右側から数えて奇数桁、つまり531を考える。この数を2倍して1062を得る。右から数えて偶数桁、すなわち42を取り、これに1062を付けたして421062を得る。この数字の6桁すべてを加算して15を得る。15の次に大きい10の倍数からこの数を減ずる、つまり20-15により5を得る。これがMod10である。401の場合のMod10チェックディジットは0である;9999の場合には4である;99999999の場合には8である。

Mod11チェックディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り。

用語

d = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、...と続く各位の数字

w = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、...と続く各位の重み。Wの値は2、3、4、5、6、7、2、3、4、5、6、7、...と続く(6桁単位で繰り返す)

c = チェックディジット

計算

(ステップ1) m = 1の位から開始し、それぞれの位について計算した(d * w)の合計

d = 1の位から最高桁の位までの各桁の数字

w = 1の位から始まり、6桁単位で繰り返す2から7までの各桁の重み

(ステップ2) c1 = m mod 11

(ステップ3) c1 = 0の場合はc1 = 1に置き換える。

(ステップ4) c = (11 - c1) mod 10

例: if the number is 1234567, then the mod 11 check digit = 4

計算は以下の通り

m = (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2)

= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2

= 106

c1 = 106 mod 11

= 7
 c = (11-c1) mod 10
 = 4 mod 10
 = 4

上記以外のチェックディジットは、現場双方の取り決めにより使うことができる。

CN 複合 ID 番号および名前

Components: <ID number ID番号(ST)> ^ <family name 姓(FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前(ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) サフィックス (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) プレフィックス(ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (IS)> ^ <source table ソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority 割当権限者(HD)>

Subcomponents of family name: <surname (ST)> ^ <own surname prefix (ST)> ^ <own surname (ST)> ^ <surname prefix from partner/spouse (ST)> ^ <surname from partner/spouse (ST)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。特定のフィールドでは、それぞれの現場で ID または名前を省略することができる。

例: |12372^RIGGINS^JOHN^'^'^'^MD^ADT1|
 |12372^'^'^'^ADT1|
 |^RIGGINS^JOHN^'^'^'^MD|

第1成分は第8の成分によって定義された使用者定義テーブルによりコード化された ID。第1の成分が存在する場合、ソーステーブルあるいは割当権限者が評価されねばならない。

第2成分は姓を表す。

第3成分は洗礼名を表す。

第4成分は中間名のイニシャルあるいは名前を表す。

第5成分は名前のサフィックスを指定するため使用される(例えばジュニアあるいは3世)。

第6成分は名前のプレフィックス指定するため使用される(例えば Dr)。

第7成分は学位を指定するため使用される(例えば MD)。推奨値については「使用者定義テーブル 0360 - 学位」を参照すること。

第8成分の推奨値については「使用者定義テーブル 0297—CN・ID ソース」を参照すること。第1の成分を描写するため使用される。

テーブル0297—CN・IDソース

Value	Description
	No suggested values defined 推奨できる値はない

第9成分: このバージョンでは、オプションの9番目の成分、割当権限者を加えた。それはHDデータタイプである。

CX チェックディジット付拡張複合 ID

Components: <ID (ST)> ^ <check digit チェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employed チェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority 割当権限者 (HD) > ^ <identifier type code IDタイプコード (IS)> ^ <assigning facility 割当施設 (HD) > ^ <effective date 有効日付(DT)> ^ <expiration date 満了日付 (DT)>

例: |1234567^4^M11^ADT01^MR^University Hospital|

ID: CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。

チェックディジット: CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。このチェックディジットはメッセージ処理で追加されるものではなく、送信アプリケーションの中で使用される識別番号の一部である。送信アプリケーションが識別番号中にチェックディジットを含んでいない場合、この値はヌルであるのがよい。

識別子タイプコード: IDのタイプに対応するコード。ある場合には、「割当権限」成分への修飾語としてこのコードを使用してもよい。

テーブル0203－識別子タイプ

Value	Description	Value	Description
AM	アメリカン・エクスプレス	MS	マスターカード
AN	勤定番号	NE	米国雇用者ID
BA	銀行勤定番号	NH	米国保健計画ID
BR	出生登録番号	NI	米国個別ID
BRN	品種登録番号	NNxxx	米国個人ID XXX=ISOテーブル3166の3文字(アルファベット)の国コード
DI	ダイナースクラブ・カード	NPI	米国プロバイダーID
DL	運転免許証番号	PEN	年金番号
DN	医師番号	PI	患者内部ID
DR	ドナー登録番号	PN	個人番号
DS	ディスカバー・カード	PRN	プロバイダー番号
EI	従業員番号	PT	患者外部ID
EN	雇用者番号	RR	鉄道退職番号
FI	設備ID	RRI	地方登録ID
GI	保証人内部ID	SL	滞在許可
GN	保証人外部ID	SR	滞在登録ID
HC	保健証番号	SS	社会保障番号
JHN	管轄区域の保健番号(カナダ)	U	無指定
LN	免許番号	UPIN	メディケア/HCFAの汎用医師ID
LR	地方登録ID	VN	訪問回数
MA	メディケイド番号	VS	ビザ
MC	メディケア番号	WC	WIC ID
MCN	マイクロチップ番号	WCN	労働者番号
MR	医療記録番号	XX	組織ID

XCN 拡張複合 ID と名前

Components: <ID number ID番号 (ST)> ^ <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof セカンドネームまたはイニシャルの頭文字 (ST)> ^ <suffix接尾辞 (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (ST)> ^ <source tableソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <name type code名前タイプコード(ID)> ^ <identifier check digitチェックディジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <identifier type code識別タイプコード (IS)> ^ <assigning facility割当て施設 (HD)> ^ <name representation code名前表示コード(ID)> ^ <name context 名前コンテキスト(CWE)> ^ <name validity range名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示 (ID)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。第1成分は、第8の成分で示されるテーブルに従ったIDである。第2成分から第7成分は人物名を表すPNフィールドである。第8成分は、第1成分で使われるソーステーブルを指定する。特定の現場では、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。名前タイプコードについては、XPN－拡張人名を参照。識別タイプコードは「使用者定義テーブル0203－識別子タイプ」を参照すること。第10成分と第15成分は必須である。

例: |^中田^隆^~~~~~L~~~~~|
|^TORANOMON^ICHIRO^~~~~~L~~~~~A~虎ノ門^一郎^~~~~~L~~~~~|

CM 複合フィールド

他の有意データフィールドと組合せるフィールド。それぞれの部分は成分と呼ばれる。CMフィールドの特定成分は、そのフィールド記述の範囲内で定義される。

HL7 V2.5ではいくつかの新しい明瞭なデータ型となった。以下に本書で使用されているデータ項目についての構成を記載している。詳細については、HL7 V2.5の2.Aを参照されたい。

DLD 退院先と日付

Components: <退院先 (IS)> ^ <発行日付 (TS)>

EIP 実体識別子ペア

Components: <依頼者割当識別子 (EI)> ^ <実施者割当識別子 (EI)>

ELD エラー個所および記述

Components: <セグメント ID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <エラーを特定するコード (CWE)>

ERL エラー位置

Components: <セグメント ID (ST)> ^ <セグメント連番 (NM)> ^ <フィールド位置 (NM)> ^ <フィールド繰り返し番号 (NM)> ^ <成分番号(NM)> ^ <副成分番号(NM)>

MOC 金額および請求コード

Components: <金額 (MO)> ^ <請求コード (CWE)>

MSG メッセージタイプ

Components: <メッセージコード (ID)> ^ <トリガーイベント (ID)> ^ <メッセージ構造 (ID)>

NDL 日付と位置を伴う名前

Components: <名前 (CNN)> ^ <開始日付/時間 (TS)> ^ <終了日付/時間 (TS)> ^ <ケアの場所(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <病床(IS)> ^ <施設(HD)> ^ <位置の状態(IS)> ^ <患者位置タイプ(IS)> ^ <建物(IS)> ^ <階(IS)>

PRL 親結果リンク

Components: <親検査識別子 (CWE)> ^ <親検査副識別子 (ST)> ^ <親検査の値の記述 (TX)>

SPS 検体採取場所

Components: <検体採取場所の名前またはコード (CWE)> ^ <添加物 (CWE)> ^ <検体採取方法 (TX)> ^ <部位(CWE)> ^ <部位修飾子(CWE)> ^ <検体採取方法修飾子コード(CWE)> ^ <検体の役割(CWE)>

AD 住所

Components: <street address 行アドレス(ST)> ^ < other designation その他の表示 (ST)> ^ <city 都市 (ST)> ^ <state or province 州あるいはプロビンス(ST)> ^ <zip or postal code ZIP または郵便番号(ST)> ^ <country 国 (ID)> ^ <address type アドレスタイプ(ID)> ^ <other geographic designation 他の地理的な表示(ST)>

例: |10 ASH LN^#3^LIMA^OH^48132|

第 1 成分は個人あるいは施設の道路あるいはメーリングアドレス。施設を参照するとき、この最初のコンポーネントは施設名を指定するために使われる。個人に関連して使われるとき、このコンポーネントはアドレスの最初の行を指定する。

第 2 成分はアドレスの 2 行目。一般に、それはアドレスを修飾する。例:555 号室、あるいは 4 階。施設を参照するとき、このコンポーネントは番地を指定する。

第 3 成分は都市名

第 4 成分は州あるいはプロビンスはその国の公式の郵便コードによって表わすのがよい。

第 5 成分は ZIP または郵便番号はその国の公式のコードによって表わすのがよい。

米国の ZIP の形式は 99999[-9999]の形式であり、カナダの郵便番号の形式は A9A9A9 である。

日本の形式は 999-9999 である。

第 6 成分はアドレスの国を定義する。ISO の 3166 は、使用できる国コードの一覧表を提供し、3 個のパートに分かれている。HL7 は 3 文字の (アルファベット順の) 書式が国コードのために使われることを明示する。

第 7 成分のタイプはオプションであり、HL7 テーブル 0190—アドレスタイプによって定義される。

テーブル0190－アドレスタイプ

Value	Description
BA	Bad address 良くないアドレス
N	Birth (nee) (birth address, not otherwise specified) 出生地(旧姓地)
BDL	Birth delivery location (address where birth occurred) 出身地
F	Country Of Origin 出生国
C	Country Of Temporary 臨時国
B	Firm/Business 会社 / ビジネス(勤務地)
H	Home 自宅
L	Legal Address
M	Mailing 郵便宛先
O	Office 職場(事業所)
P	Permanent
RH	Registry home. Refers to the information system, typically managed by a public health agency, that stores patient information such as immunization histories or cancer data, regardless of where the patient obtains services.
BR	Residence at birth (home address at time of birth) 出生時の住宅(出生の時間におけるホームアドレス)

第8成分は他の地理的な表示は郡、自然生態地域、標準大都市統計圏などを含んでいる。

FN 姓

Components: <surname (ST)> ^ <own surname prefix (ST)> ^ <own surname (ST)> ^ <surname prefix from partner/spouse (ST)> ^ <surname from partner/spouse (ST)>

このデータタイプは人の姓のフルの仕様書を許す。

適切である場合は、それはその人のパートナーあるいは配偶者のそれから、その人の名前がいずれかの名前前から要素を含むかもしれないケースでその人自身の姓を区別する。

更にメッセージでは姓接頭辞(例えば“バン”あるいは“ドウ”)と性ルートを区別することができる。

注意:PN と他の PN を含んでいるデータ型 (PPN、XCN、XPN) にだけ現われる。

第1成分はその人の姓の原子の要素。最も西洋の使用法で、これはその人の姓である。

第2成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。

第3成分は旧姓を現す。

第4成分はゲルマン語のための国際化使用法。この部品はオプションである。

第5成分はその人のパートナーあるいは部分から同じくらい著名な配偶者の姓から得られるその人の姓(たいていの西洋の使用法、姓で)の部分がその人の自身の姓から生じた。この部品はオプションである。もしその人の姓の部分がその人のパートナーあるいは配偶者の姓から得られないなら、このコンポーネントは高く評価されない。さもなければ、もしパートナーあるいは配偶者の姓が合法的にその人の姓に似合って、(あるいは含む)ために変化したなら、これはこのような変更の前にすぐにパートナーあるいは配偶者の姓である。

PN 人名

Components: <family name 姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) サフィックス (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) プレフィックス (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (IS)>

Subcomponents of family name: <surname (ST)> & <own surname prefix (ST)> & <own surname (ST)> & <surname prefix from partner/spouse (ST)> & <surname from partner/spouse (ST)>

名前は複数のフリーテキスト成分から成る。PN フィールドの最大長は、成分セパレータを含めて 48 文字である。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。

例: |SMITH^JOHN^J^III^DR^PHD|

第1成分は姓について記す。

第2成分は洗礼名を表す。

第3成分は中間名のイニシャルあるいは名前を表す。

第4成分はサフィクス(名前接尾語)を指定するため使用される(例えばジュニアあるいは3世)。

第5成分はプレフィックス(名前接頭辞)を指定するため使用される(例えば、Dr.)。

第6成分は学位(例えば、Md.)を指定するため使用される。推奨値については「使用者定義テーブル 0360 - 学位」を参照すること。

国際化の注:一部の国々では、表意文字あるいは表音(音声の)文字セットを使用しているため、アルファベットフォーマットの他にこれらのフォーマットの片方または両方で名前を送信することが、ときどき必要である。異なる文字セット間を切り替えるには、JIS X0202-ISO 2022のような文字セットを使用するが、これは異なる文字セット間および単一バイトとマルチ・バイトの文字表現の間を切り替える。名前フィールドを繰り返す場合、名前の異なる反復はこれらの異なる文字セットによって表わされてもよい。詳細は以下のとおりである。

(さらにHL7節2.10.2、「FT、STおよびXTデータ型のためのマルチ文字セットをサポートするエスケープ」を参照。)

「HL7は、日本の文字のための下記基準をサポートする:

JIS X0201 対象 ISO-IR13(日本の片仮名)
 対象 ISO-IR14(日本のローマ字)

JIS X0208 対象 ISO-IR87(日本の漢字、平仮名および片仮名)

JIS X0212 対象 ISO-IR159(補足的な日本の漢字)

HL7は欧州の文字のための下記基準をサポートする:

ISO-8859(1-9) 対象 ISO-IR100、101、109、110、144、127、126、138 および 148。

文字セットは、HL7の中でASCII、8859/1.8859/2、JAS2020およびJIS X0202として引用されている。DICOMは、形式「ISO-IRxxx」の、ISO 2375の中にレイアウトされたコードを使用する。HL7はこの命名法をサポートするが、それは相互操作性を促進するためである。

HL7は、ISO 646:1990(ISO IR-6)の国際参照バージョンの基本のG0セットを、文字列に対するデフォルト文字レパートリーとして使用する。これは単一のバイト文字セットであり、ASCIIと同一である。

PNあるいはXPNフィールドの各反復はデフォルト文字セットから始まると仮定される。別の文字セットを使用することになっている場合、HL7に定義されたエスケープであって文字セットを宣言するため使用されるものが、反復の初めになければならない。また、HL7に定義されたエスケープであってデフォルト文字セットを始めるため使用されるものが、反復の終わりになければならない。さらに注意すべきことは、いくつかの文字セットを単一の反復内に混ぜ合わせてもよいが、反復がデフォルト文字セットへの復帰で終わることが条件であるということである。

アプリケーションは、その適合文およびフィールド・MSH-18文字セットの中でどの文字セットをアプリケーションがサポートするか明示しなければならない。送信および受信アプリケーションは、をエスケープするために文字セット名(すなわちISO-IRxxx)をマップするか知っていると仮定されている。

例えば、多くの日本語のメッセージでは、ローマ字(すなわちローマ文字)、片仮名(外国の単語の発音表現)、平仮名(日本語の単語の発音表現)および漢字(絵文字)の混合がある。そのようなメッセージは、4つの文字

セットが MSH の中で指定されることを要求する。

名前の国際化のための参考文献

1. "Understanding Japanese Information Processing" by Ken Lunde, O'Reilly Press
2. "DICOM Supplement 9 : Multi-Byte Character Set Support", ACR-NEMA
3. ANSI X3.4:1986 ASCII character set
4. ISO 646:1990 Information Processing - ISO 7-bit coded character set for information interchange
5. ISO/IEC 2022:1994 Information Technology - Character code structure and extension techniques
6. ISO 2375:1986 Data Processing - Procedure for the registration of escape sequences
7. ISO 6429:1990 Information Processing - Control functions for 7-bit and 8-bit coded character sets
8. ISO 8859 (1-9) Information Processing - 8-bit single-byte coded graphic character sets - parts 1-9
9. ENV 41 503:1990 Information systems interconnection - European graphic character repertoires and their coding
10. ENV 41 508:1990 Information systems interconnection - East European graphic character repertoires and their coding
11. JIS X 0201-1976 Code for Information Exchange
12. JIS X 0212-1990 Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange
13. JIS X 0208-1990 Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange
14. RFC 1468 Japanese Character Encoding for Internet Messages

この方法は DICOM と整合している。

DICOM によってサポートされた文字レパートリーは、補遺 9 の第 5 部、節 62E1 の中で定義されている。それによれば、「テキストまたは文字列である値は、図形および制御文字から構成されることができる。図形文字セットは、そのコード化と無関係に、文字レパートリーと呼ばれる。アプリケーションエンティティが DICOM 規格を使用してデータを交換したい元来の文脈に依存して、異なる文字レパートリーが使用されている。DICOM によってサポートされた文字レパートリーは ISO 8859 の中で定義されている。」

さらに、DICOM は、日本語のための次の文字レパートリーをサポートする：

JIS X0201—1976—情報交換のためのコード

JIS X0208—1990—情報交換のための日本の図形文字セットのコード

JIS X0212—1990—情報交換のための補足の日本の図形文字セットのコード

SAD 番地

Components: <street or mailing address (ST)> ^ <street name (ST)> ^ <dwelling number (ST)>

注意: XAD データタイプにだけ現われる。

第 1 成分は個人あるいは施設の道路あるいはメーリングアドレス。施設を参照するとき、この最初のコンポーネントは施設名を指定するために使われる。個人に関連して使われるとき、このコンポーネントはアドレスの

最初の行を指定する。

TN 電話番号

米国とそれに準ずる国で使用する場合、電話番号は常に以下の形式で表示。

Format: [NN] [(999)]999-9999[X99999][B99999][C any text]

オプションの最初の2桁は国コードである。オプションのX部は内線番号である。オプションのB部は呼出番号コードである。オプションのC部は、After 6:00などのようにコメントとして使うことができる。テキストフィールドにはなんの制限もないが、10文字を越える値は受信システムにより切り捨てられることがある。施設の電話システムが変わることを想定して、内線番号と呼出番号の長さは、ローカルの取り決めにより拡張することができる。

例 |(415)925-0121X305|
|234-4532CWEEKENDS|

XAD 拡張住所

Components: <street address町名 (SAD)> ^ <other designation他の表示 (ST)> ^ <city都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス (ST)> ^ <zip or postal code ZIPあるいは郵便番号 (ST)> ^ <country国 (ID)> ^ <address type (ID)> ^ <other geographic designation他の地理的な表示 (ST)> ^ <county/parish code郡/教区コード (IS)> ^ <census tract国勢調査標準地域 (IS)> ^ <address representation code住所表示コード (ID)> ^ <address validity range 住所有効範囲(DR)>

例: |1234, Easy St. Ste. 123 San Francisco CA 95123 USA B SF|

他の表示では町名を修飾する。例: Suite 555あるいは4階など。住所・タイプはオプションであり、HL7テーブル0190—アドレスタイプによって定義される。他の地理的な表示は国、バイオリジョン、SMSAなどを含んでいる。Name/address representation codeはHL7テーブル0465の値を使用。

XPN 拡張人名

Components: <family name姓 (FN)> ^ <given name 洗礼名 (ST)> ^ <second and further given names or initials thereof 中間名のイニシャルあるいは名前 (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) 接尾辞 (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) 接頭辞 (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位 (ST)> ^ <name type code名前タイプコード (ID)> ^ <name representation code名前表示コード (ID)> ^ <name context名前コンテキスト (CWE)> ^ <name validity range 名前有効範囲(DR)> ^ <name assembly order 名前の組み立て指示(ID)>

第7成分と第8成分は必須である。

例: |Smith^John^J^III^DR^PHD^L|
|日本^太郎^~~~~D^I~にほん^たろう^~~~~D^P~ NIHON^Tarou^~~~~D^A|

上にリストしたように、名前は複数のフリーテキスト成分から成る。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。名前タイプコードで法律上の名前や現地名などを示す。取りうる値はHL7テーブル0200 - 名前タイプを参照。一般的に法的な名前は現在の既婚の名前と同じである。

テーブル 0200 - Name type 名前タイプ

Value	Description
A	Alias Name 別名
B	Name at Birth 出生時の名前
C	Adopted Name 養子名
D	Display Name 表示名称
I	Licensing Name 許可された名前
L	Legal Name 法律名前
M	Maiden Name 旧姓
N	Nickname / "Call me" Name/Street Name

Value	Description
P	Name of Partner/Spouse (retained for backward compatibility only)
R	Registered Name (animals only) 動物の登録名
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名性を確保するためのコード化された偽名
T	Indigenous/Tribal/Community Name 現地での/部族での/社会での名前
U	Unspecified 不明

学位は使用者定義テーブル0360の値を使用。

テーブル 0360 - 学位

Value	Description
AAS	Associate of Applied Science 応用科学系準学士
AA	Associate of Arts 文系準学士
ABA	Associate of Business Administration 経営管理学準学士
AE	Associate of Engineering エンジニアリング準学士
AS	Associate of Science 理系準学士
BA	Bachelor of Arts 文学士
BBA	Bachelor of Business Administration 経営管理学士
BE	Bachelor of Engineering エンジニアリング士
BFA	Bachelor of Fine Arts 美術士
BN	Bachelor of Nursing 看護士
BS	Bachelor of Science 理学士
BSL	Bachelor of Science – Law 理学士－法則
BT	Bachelor of Theology 神学士
CER	Certificate 証明書
DIP	Diploma 卒業証書
DBA	Doctor of Business Administration 経営管理学博士
DED	Doctor of Education 教育博士
PharmD	Doctor of Pharmacy 薬学の医者
PHE	Doctor of Engineering エンジニアリング博士
PHD	Doctor of Philosophy 哲学博士
PHS	Doctor of Science 科学博士
MD	Doctor of Medicine 医学博士
DO	Doctor of Osteopathy 骨学博士
HS	High School Graduate 高校卒業者
JD	Juris Doctor 法学博士
MA	Master of Arts 文学修士
MBA	Master of Business Administration 経営学修士
MCE	Master of Civil Engineering 土木工学修士
MDI	Master of Divinity 神学修士
MED	Master of Education 教育修士
MEE	Master of Electrical Engineering 電気工学修士
ME	Master of Engineering エンジニアリング修士
MFA	Master of Fine Arts 美術学修士
MME	Master of Mechanical Engineering 機械工学修士
MS	Master of Science 理学修士
MSL	Master of Science – Law 理学修士－法則
MT	Master of Theology 神学のマスタ
NG	Non-Graduate 非卒業者
SEC	Secretarial Certificate
TS	Trade School Graduate 専門学校卒業者

名前表示コードでは、データ項目によって提供される名前の表現を指示する。この成分は受信者にヒントを提供する。それにより、なにが送られており、なにを表示できるかに関する選択を行うことができる。

テーブル0465 - Name representation 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc) 表音文字(ASCII,仮名)

XON 拡張複合組織 ID と名称

Components: <organization name組織名 (ST)> ^ <organization name type code組織の名前タイプ (IS)> ^ <ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <identifier type code識別子タイプ (IS)> ^ <assigning facility ID 割当て施設ID (HD)> ^ <name representation code 名前表示コード(ID)>

例: |HL7 Health Center^L^6^M11^HCFA|

組織の名前タイプでは、法的な名前、表示する名前などを表わす。

テーブル0204ー組織の名前タイプ

Value	Description
A	別名
L	法的な名前
D	表示する名前
SL	株式取引所に登録する名前

XTN 拡張電話番号

Components: [NNN国番号] [(999地域)]999局番-9999番号 [X999999] [B999999] [C any text] ^ <telecommunication use code通信使用コード (ID)> ^ <telecommunication equipment type 通信機器 (ID)> ^ <email address電子メール (ST)> ^ <country code国番号 (NM)> ^ <area/city code地域市外局番 (NM)> ^ <phone number電話番号 (NM)> ^ <extension内線番号 (NM)> ^ <any text (ST)>

例: (415) 555-3210^ORN^FX^

テーブル0201ー通信使用コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

テーブル0202ー遠隔通信機器タイプ

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス:通信使用コードがNETである場合のみ使用
X.400	X.400電子メールアドレス:通信使用コードがNETである場合のみ使用

注:成分5~9は、定形の形式で第1の成分の基本機能を反復する。そしてローカルおよび世界の電話番号の両方が表現できる。電話番号のための形式は、定形形式を使用することを推奨し、第1の成分は下位互換性のために残される。

CD チャネル定義

Components: <channel identifier (CM)> ^ <waveform source (CM)> ^ <channel sensitivity/units (CM)> ^ <channel calibration parameters (CM)> ^ <sampling frequency (NM)> ^ <minimum/maximum data values (CM)>

デジタル波形データを標識付けするために、このデータ型を使用する。

MA 多重化された配列

Components: <sample 1 from channel 1 (NM)> ^ <sample 1 from channel 2 (NM)> ^ <sample 1 from channel 3 (NM)> ... ^ <sample 2 from channel 1 (NM)> ^ <sample 2 from channel 2 (NM)> ^ <sample 2 from channel 3 (NM)> ... ^

このデータ型はチャンネルマルチプレックスの波形データ(例えばアナログディジタル変換器または他のディジタル信号源からのディジタル化された値)を表現する。

NA 数値の配列

このデータ型は一連(配列)の数値を表わすために使用され、各々はNMデータ型である。

ED カプセル化データ

Components: <source application (HD)> ^ <type of data (ID)> ^ <data subtype (ID)> ^ <encoding (ID)> ^ <data (ST)>

このデータ型は、カプセル化されたデータをソース・システムから目的地システムへ送信する。それは、ソース・システムの識別、データのタイプ、データのコーディング方式およびデータ自身を含んでいる。このデータ型は、RP参照ポインタデータ型に似ているが、このデータ型は一方のシステム上のデータを指すべき代わりに、そのシステムへ送られるべきデータを含んでいる。

ソースアプリケーションはデータのソースであったシステムを識別する一意的な名前である。

データのタイプならびにサブタイプはテーブル0191参照されるデータのタイプ、HL7テーブル0291参照されるデータのサブタイプを参照。

コーディング方式は、それが存在する場合、表示可能なASCII文字として二進法データの連続のオクテットを常に表わす。とりうる値はHL7テーブル0299コーディング方式を参照。

テーブル0299—コーディング方式

Value	Description
A	コーディングはない。データは表示可能なASCII文字である。
Hex	16進法のコーディング。連続するペアの16進数字は連続する単一オクテットを表わす。
Base64	MIME(多目的インターネットメール拡張)標準のRFC1521によって定義されるコーディング。4つの連続するASCII文字が、二進法データの連続する3つのオクテットを表わす。Base64は、米国ASCIIの65文字サブセットを利用し、これを構成するのは大文字および小文字の英字、数字「0」から「9」まで、「+」、「/」および「=」である。

MIMEインターネット標準のRFC1521により、Base64を以下のように定義する。24ビットの入力グループ(3つのオクテット)を横切って左から右に進むので、各6ビットのグループは印刷可能な64文字の配列として使用する。指標によって参照された文字が、コード化された文字列に置かれる。これらの文字は、HL7テーブル0290—MIME base64コード化文字に示され、普遍的に表現可能なように選択される。

24ビット未満がデータの終わりで入力グループにおいて利用可能な場合、特別の処理を実行する。十分なコーディング量はデータの終わりで常に完成される。24入力ビット未満が入力グループにおいて利用可能な場合、6ビット・グループの整数を形成するために、右側にゼロビットを付け加える。入力データのない出力フィールド文字は文字「=」に設定される。コード化された出力はすべてオクテットの整数であるので、次の場合だけが発生する:

- (1)入力の最終量は24ビットの不可欠な倍数である;ここで、コード化された出力の最終単位は「=」のパディングなしの4文字の不可欠な倍数になる、
- (2)入力の最終量はちょうど8ビットである;ここで、コード化された出力の最終単位は2つの「=」パッド文字が後続する2文字になる。あるいは、
- (3)入力の最終量はちょうど16ビットである;ここで、コード化された出力の最終単位は1つの「=」パッド文字が後続する3文字になる。

テーブル 0290 - MIME base64 コード化文字

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
0 A	17 R	34 l	51 z
1 B	18 S	35 j	52 0
2 C	19 T	36 k	53 1
3 D	20 U	37 i	54 2
4 E	21 V	38 m	55 3
5 F	22 W	39 n	56 4
6 G	23 X	40 o	57 5
7 H	24 Y	41 p	58 6
8 I	25 Z	42 q	59 7
9 J	26 a	43 r	60 8
10 K	27 b	44 s	61 9
11 L	28 c	45 t	62 +
12 M	29 d	46 u	63 /
13 N	30 e	47 v	
14 O	31 f	48 w	(pad) =

Value/Code	Value/Code	Value/Code	Value/Code
15 P	32 g	49 x	
16 Q	33 h	50 y	

コード化されたオクテットが、なんらかのコーディング方法によって解釈され、それが暗黙のものかまたは表わされたデータ型で指定されるものを超えるとき(例えば目的地アプリケーション上の、16ビットあるいは32ビット・二進法の語の中のそれらのオーダリング)、それは目的地アプリケーションによって決定され、この規格の範囲外である。

ソースアプリケーションから目的地アプリケーションまで送信されるべきデータを構成する表示可能なASCII文字。もしコード化された二進数であれば、セクション2.8.14.2「データのタイプ」によってコード化される。

CP 複合価格

Components: <price 価格(MO)> ^ <price type価格タイプ (ID)> ^ <from value 始点の値(NM)> ^ <to value 終点の値(NM)> ^ <range units範囲単位(CWE)> ^ <range type 範囲タイプ(ID)>

Subcomponents of price: <quantity (NM)> & <denomination (ID)>

注意:このデータタイプは、与えられたセグメント内の反復フィールドを定義するために頻繁に使用される。

例: |100.00&USD^UP^0^9^min^P~50.00&USD^UP^10^59^min^P~10.00&USD^UP^60^999^P~50.00&USD^AP~200.00&USD^PF~80.00&USD^DC|

第1成分は唯一必須成分;小数点を通常含んでいる。MO・データタイプの各成分がここでは副成分であることに注意すること。

第2成分はコード化された値、データタイプID。有効な値については、「HL7 テーブル 0205—価格タイプ」を参照すること。

テーブル0205—価格タイプ

Value	Description
AP	administrative price or handling fee 管理上の価格あるいは取り扱い料金
DC	direct unit cost 直接の単位原価
IC	indirect unit cost 間接の単位原価
PF	professional fee for performing provider 実行提供者に対する専門の料金
TF	technology fee for use of equipment 機器の使用に対する技術料金
TP	total price 価格の合計
UP	unit price, may be based on length of procedure or service 単価、手続きまたはサービスの長さに基づいてもよい。

各々はNM・データタイプである;一緒になって「範囲」を指定する。範囲を時間あるいは量のいずれかとして定義することができる。例えば、範囲は、手続きの最初の10分が1つの価格を持つことを示すことができる。データタイプの別の反復は、別の価格で手続きの次の10~60分の料金を課すことを明示するために、範囲を使用することができる;手続きの最後の反復は60分からN分までを第3の値に指定することができる。

もし<価格タイプ>成分がTPである場合、両方<始点の値>および<終点の値>の両方がヌル(null)であることに注意すること。

第3成分は上記の始点の値を参照すること。

第4成分は上記の始点の値を参照すること。

第5成分はコード化された値、データタイプCE。時あるいは量のいずれかの単位の標準のテーブルによって定義されたもの。(例えば、HL7-節 7.1.4「コード体系」のテーブルを参照すること)。これは、範囲、例えば秒、分、時間、日、量(例えばカウント)に関連した単位について記述する;それは、<始点の値>および<終点の値>が存在するとき、必要とされる。

Subcomponents of range units: <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (IS)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system(IS)>

第6成分は有効な値については、「HL7 テーブル 0298—CP 範囲タイプ」を参照すること。

テーブル0298－CP範囲タイプ

Value	Description
P	Pro-rate. Apply this price to this interval, pro-rated by whatever portion of the interval has occurred/been consumed 比例配分。この間隔にこの価格を適用する。発生／消費した間隔の部分によって比例配分される。
F	Flat-rate. Apply the entire price to this interval, do not pro-rate the price if the full interval has not occurred/been consumed 定額。この間隔に価格全体を適用する。価格全体が発生／消費しない場合価格の比例配分をしない。

FC 会計クラス

Components: <financial class会計のクラス (IS)> ^ <effective date発効期日 (TS)>

この成分は、人に割り当てられた会計のクラスを含んでいる。

推奨値については「使用者定義テーブル 0064－会計クラス」を参照すること。

使用者定義テーブル0064－会計クラス

Value	Description
	No suggested values defined 推奨できる値はない

この成分は、第1の成分中で指定された会計のクラスへの、人の割当の発効期日／時間を含んでいる。

QSC 問い合わせセレクト条件

Components: <segment field name セグメントフィールド名 (ST)> ^ <relational operator 比較演算子 (ID)> ^ <value 値 (ST)> ^ <relational.conjunction 比較論理積 (ID)>

例: [@PID.5.1^EQ^EVANS]

定義:このフィールドは、問合せ応答で返されるべき行に資格を与える条件を示す。

(このフィールドは問合せの対応するSQL表現中の「WHERE」句と同じ情報を伝えるが、フォーマットのされ方は異なっている。)

第1成分は修飾語として参加しているフィールドの名前(通常「キー」)。フィールドに名前を付ける方法については、データタイプ QIP の第1成分の「セグメントフィールド名(ST)」を参照すること。

第2成分:有効な値については「HL7 テーブル 0209－比較演算子」を参照すること。

テーブル0209－比較演算子

Relational operator	Value
EQ	Equal 等しい
NE	Not Equal 等しくない
LT	Less than より小さい
GT	Greater than より大きい
LE	Less than or equal 以下
GE	Greater than or equal 以上
CT	Contains 含む
GN	Generic 一般

第3成分はフィールドがそれに対して比較される値。

第4成分は「HL7 テーブル 0210－比較論理積」を参照すること。比較論理積は以下のように定義される: 資格を得る行を選択するために複数の比較がされる場合、結合子はこれらの比較文を連結する。

テーブル0210－比較論理積

Relational conjunction	Note
AND	Default
OR	

- ・文字列に適用されたとき、関係オペレータ LT、GT、LE および GE はアルファベットの比較を意味する。
- ・「総括的な」比較は、指定された文字列の初めが選択文字列と一致するレコードを選び応答に含める。
- ・反復フィールドがオペランドとして指定される場合、そのいずれかのフィールド条件が一致すれば、応答メッセージ中に含めるための行に資格を与える。
- ・AND は OR に優先する。より高度で複雑な条件は、埋め込みの問合せ言語メッセージあるいはストアプロシジャ問合せメッセージとして問合せが表現されることを要求する。

QIP 問い合わせ入力パラメータリスト

Components: <segment field name セグメントフィールド名(ST)> ^ <value1 (ST) & value2 (ST) & value3
値1&値2&値3 (ST) ... >

例: |@PID.5.1^EVANS|

定義:このフィールドは、ストアードプロシジャへ渡されるパラメータである名前と値の一覧表を含んでいる。

第1成分はセグメントフィールド名を含んでいる。

フィールド名の命名ルール:フィールドのためのHL7セグメントIDと連結された「@」記号によって、フィールドが指定される。フィールドが成分に分割される場合、名前の後に「.nn」を付けてもよいが、これは特定の成分を識別するためである(「.3」のサフィクスはフィールドの第3成分を示す);そうでなければ、全体のフィールドが仮定される。フィールドがさらに副成分に分割される場合、名前の後に「.nn.mm」を付けるが、それは相対的な位置によって要求された成分および副成分を識別するためである。

施設特定のフィールドを使用してもよいが、それらが文字「Z」から始まることが条件である。この場合、既存のHL7セグメントIDとセグメント番号に矛盾しない施設特定のセグメントIDとセグメント番号が定義されねばならない。

このフィールドに対する値は、この仕様の機能特定の章に定義されている。

注:「@」が、「MSH-2コード化文字」の中で定義された区切記号文字のうちの1つとして使用されている場合、それはエスケープされねばならない。(HL7-節2.10.1「フォーマットコード」を参照)

第2成分はフィールド値を含んでいるか、あるいは「値1&値2&値3...」の形式の値を含んでいる。

単一値パラメータは、第2成分に単一の副成分だけを含んでいる:したがって副成分の区切記号は必要ではない(例えば<フィールド名>^<値>)。値の単純な一覧表(すなわち一次元の配列)を、単一値の代わりに渡してもよいが、各値は区切記号で分離する:「<フィールド名>^<値1&値2&...>」

RCD 行・列定義

Components: <segment field name HL7セグメントフィールド名(ST)> ^ <HL7 data type HLデータタイプ
(ID)> ^ <maximum column width 最大コラム幅(NM)>

例:PID-5の「姓」コンポーネントの値を含んでいる。データが最大幅の20桁

|@PID.5.1^ST^20|

定義:このフィールドの各反復は3つの成分から成る:

第1成分はHL7セグメントフィールド名であって、これはコラムを占めるフィールドを識別する(セグメントフィールド名の付け方については、(データタイプQIP-第1成分を参照)。

第2成分は3文字のHL7データタイプ。HL7テーブル0440に従う有効な値のためのデータ型。

第3成分は最大コラム幅であって、返信システムによって決まるもの(これはHL7定義の最大フィールド長さと異なるかもしれない)。

DLN 運転免許証番号

Components: <license number (ST)> ^ <issuing state,province, country (IS)> ^ <expiration date
(DT)>

運転免許証番号、発行地、有効期限を表す。

JCC 職種コード／種類

Components: <job code (IS)> ^ <job class (IS)>

職種と雇用種別を表す。

VH 来院時間

Components: <start day range 開始曜日 (ID)> ^ <end day range 終了曜日 (ID)> ^ <start hour range 開始時刻 (TM)> ^ <end hour range 終了時刻 (TM)>

定義:このデータタイプは患者の居場所に来院できる時間を含んでいる。最初の2つの成分に対する有効な値については、「HL7 テーブル 0267—曜日」を参照すること。

第1成分は来院時間範囲の開始の曜日。値については、「HL7 テーブル 0267—曜日」を参照すること。

第2成分は来院時間範囲の最後の曜日。来院時間範囲の開始の曜日。値については、「テーブル 0267—曜日」を参照すること。

テーブル0267—曜日

Value	Description
SAT	Saturday 土曜日
SUN	Sunday 日曜日
MON	Monday 月曜日
TUE	Tuesday 火曜日
WED	Wednesday 水曜日
THU	Thursday 木曜日
FRI	Friday 金曜日

第3成分は来院時間範囲の最初の曜日の開始時間(第1の成分の「開始曜日」を参照)。

第4成分は来院時間範囲の最後の曜日の終了時間(第2の成分の「終了曜日」を参照)。

PPN 実行者およびタイムスタンプ

Components: <ID number (ST)> ^ <family name (FN)> ^ <given name (ST)> ^ <second and further given name or initials thereof (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <identifier check digit (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility (HD)> ^ <date/time action performed (TS)> ^ <name representation code (ID)> ^ <name context (CWE)> ^ <name validity range (DR)> ^ <name assembly order (ID)>

このデータ型はTSデータ型につながれたXCNデータ型と等価なものであり、誰がいつアクションを実行したかを記録するために使用する。ヌルでない場合、実行者およびタイムスタンプの両方の値が設定されねばならない。

DR 日付／時間の範囲

Components: <range start date/time 開始日付／時刻(TS)> ^ <range end date/time 終了日付／時刻(TS)>

YYYY[MM[DD[HHMM[SS[.S[S[S[S]]]]]]][+/-ZZZZ] & < 精度 >

第1成分は指定された範囲内での最も早い日付／時間(時刻スタンプ)を含んでいる。

第2成分

は指定された範囲内での最新の日付／時間を含んでいる。

TS(時刻スタンプ)データタイプによって精度の指定ができることに注意すること。

RI 繰り返し間隔

Components: <repeat pattern 繰り返しパターン(IS)> ^ <explicit time interval 明確な時間間隔 (ST)>

定義:このフィールドは、繰り返す予約の間隔を含んでいる。デフォルト設定は、成分の値がない場合、予約がただ一度のみ生じることを示す。このフィールドの定義は、HL7 4章の節 4.4.2「時間間隔成分(CM)」の中で与えられた量／タイミングフィールドの間隔成分の定義と等価である。

第1成分は使用者定義テーブル 0335-繰り返しパターン — によって定義される。

第2成分は第1の副成分中でコードによって参照される実時間を明示的に列挙し、そのフォーマットはHHMM、HHMM、HHMM、....である。実際の管理時間が組織内で変わる場合、第2の副成分が第1の副成分を明確にするために使用される。

RPT 繰り返しパターン

Components: <Repeat Pattern Code 繰り返しパターンコード (CWE)> ^ <Calendar Alignment カレンダー上の位置 (ID)> ^ <Phase Range Begin Value フェーズ範囲開始値(NM)> ^ <Phase Range

End Value フェーズ範囲終了値 (NM)> ^ <Period Quantity 期間数値(NM)> ^ <Period Units 期間単位(IS)> ^ <Institution Specified Time 施設設定の時刻(ID)> ^ <Event イベント(ID)> ^ <Event Offset Quantity イベントオフセット数値(NM)> ^ <Event Offset Units イベントオフセット単位(IS)> ^ <General Timing Specification 汎用タイミング指定(GTS)>

SCV 予約クラスと値

Components: <parameter class パラメータクラス(IS)> ^ <parameter value パラメータ値(ST)>

HL7 予約の章に関してのみ使用される。

定義:このフィールドが使用されるのは、パラメータと優先権を実施者(予約管理)アプリケーションに伝えるためであり、内容は適切な時間予約枠、資源、場所あるいは実施者(予約管理)上書き基準を選択して予約することである。

第1成分は実施者(予約管理)アプリケーションに渡されつつあるパラメータあるいは優先権を識別するコードである。推奨値については「使用者定義テーブル 0294-時間選択基準パラメータ・クラスコード」を参照のこと。

テーブル0294－時間選択基準パラメータ・クラスコード

Parameter	Class Description: Valid Values
Prefstart	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい開始時間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
Prefend	予約要求、サービスあるいは資源のための好ましい終了期間。24時間時計表記法を使用するフォーマットHHMMの中の任意の法的な時間仕様
Mon	月曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
Tue	火曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
Wed	水曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
Thu	木曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
Fri	金曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
Sat	土曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。
Sun	日曜が予約するのに好ましい日かそうでないかを示すもの。OK=好ましい予約日、NO=この曜日は好ましくない。

第2成分はそのパラメータに対する実際のデータ値である。

例えば、実施者(予約管理)アプリケーションが優先権パラメータを渡され、好ましい開始時間、好ましい終了期間、および週の好ましい日を指定して予約することを可能にする場合、それは次のパラメータ・クラス・コードおよび有効なデータセットを定義する。

TQ タイミング数量

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (CM)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ID)> ^ <order sequencing オーダーシーケンス化(CM)> ^ <occurrence duration発生持続(CWE)> ^ <total occurrences 発生からの合計 (NM)>

サービスの実施時期とその頻度を指定する。

Priority component 優先度成分 (ST)

定義: 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである):

S	= 緊急	最も高い優先度で
A	= できるだけ早く	Sオーダーの後
R	= ルーチン	デフォルト
P	= 術前	
C	= 返信	
T	= タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	= As Needed	

値『T』(タイミングクリティカル)の程度は次のように明示できる:

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダから後に続くオーダ全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

GTS 汎用タイミング指定

汎用タイミング指定データタイプは複雑な相互に関連するタイミングの情報を伝達するために用いられる。このようなフィールドの値はSTフィールドの整形規則に従う。その文字列データは「バージョン3 データタイプ 第II部 完全な仕様」で、汎用タイミング指定(GTS)データタイプに対して設定されるであろう規則に従うことになる。

5.5 HL7 定義以外のテーブル

当規約においては、HL7の標準定義表および使用者定義表以外の定義表を使用することができる。HL7で定義された表以外の表を使用する場合、当該テーブルを規定している規約を明らかにする必要がある。要素として <name of coding system> を有するデータタイプにおいては、ここにテーブルを規定した規約をあらわす略号を設定する。

当規約においては、次の略号を使用するものとする。

JAMISDP01 : JAMI標準用法マスタで規定されていることを示す

JHSDxxxx : JAHIS病名情報データ交換規約 で規定されていることを示す

HOT : 医薬品HOTコードマスタ で規定されていることを示す

MR9P : MERIT-9 処方オーダ で規定されていることを示す

HL7や上記規約で存在しない項目については以下のような項目コードを定義して、必要なセグメントに記載することを考える。<name of coding system> には 'JHSPxxxx' を設定する。

JHSP表 0001 依頼者の処方指示

Value	Description
1	緊急
2	保管
3	薬剤情報提供文書発行
4	健康手帳に記載し、かつ薬剤情報提供文書発行

name of coding system には、'JHSP0001'を設定する。(RXE-21で使用)

JHSP表 0002 調剤特別指示

Value	Description
A	別包指示
B	一包化指示
C	混合指示
D	粉碎指示

name of coding system には、'JHSP0002'を設定する。(RXE-21で使用)

JHSP表 0003 用法種別

Value	Description
21	内服薬
22	頓用薬
23	外用薬

name of coding system には、'JHSP0003'を設定する。(RXE-27で使用)

JHSP表 0004 薬剤単位

Value	Description
PART	分
TIME	回
KIND	種
BOX	箱
ROLL	巻
PAIR	組
SET	セット
TEAR	裂
DIR	方向
TROC	トローチ
PILL	丸
BTLB	瓶(袋)
TUBE	管
SYRG	シリンジ
DOSE	回分
TEST	テスト分
GCYL	ガラス筒
RODT	桿錠
TTUN	万単位
FEET	フィート
DROP	滴
KG	Kg
CC	cc
MLV	mLV
CM	cm
CM2	cm2
M	m
MCCI	μCi
MCI	mCi
BKR	管(瓶)
PIPE	筒
GBQ	GBq
MGBQ	MBq
KBQ	KBq
KIT	キット
IUNT	国際単位
PAT	患者当り
ATM	気圧
CAN	缶
OPE	手術当り
VSL	容器
MLG	mL(g)
BLST	プリスター
SHET	シート

name of coding system には、‘JHSP0004’を設定する。(RXE-5、RXE-11、RXE-19で使用)

6. 処方関連メッセージ構文

6.1 処方依頼情報通知(RDE/RRE)

処方指示は、RXEおよびRXRセグメントを詳細セグメントとして備えたRDE／RREメッセージを使用する。

RDE 処方オーダーメッセージ (イベント011)

RDE	Pharmacy/Treatment Encoded Order Message (HIS→部門)
MSH	Message Header
[[SFT]]	Message Acknowledgment
[[NTE]]	Notes and Comments (for Header)
[	
PID	Patient Identification
[PD1]	Additional Demographics
[[NTE]]	Notes and Comments (for Patient ID)
[PV1	Patient Visit
[PV2]]	Patient Visit - Additional Info
[[IN1	Insurance
[IN2]	Insurance Additional Info
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.
]]	
[GT1]	Guarantor
[[AL1]]	Allergy Information
]	
{	
ORC	Common Order
[[	
TQ1	Timing/Quantity
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence
]]	
[	
RXO	Pharmacy/Treatment Order
[[NTE]]	Notes and Comments (for RXO)
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route
[[	
RXC	Pharmacy/Treatment Component
[[NTE]]	Notes and Comments (for RXC)
]]	
]	
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order
[[NTE]]	Notes and Comments (for RXE)
{	
TQ1	Timing/Quantity
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence
}	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route
[[RXC]]	Pharmacy/Treatment Component (for RXE)
[[	
OBX	Observation/Result

{{NTE}}	Notes and Comments (for OBX)
}}	
{{FT1}}	Financial Transaction
[BLG]	Billing Segment
{{CTI}}	Clinical Trial Identification
}	

注： []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- メッセージ構造はRDE_O11を使用する。
- MSHセグメントはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- AL1セグメントはアレルギー情報が無い場合は省略する。
- 指示された薬剤単位でORC～RXRセグメントを繰り返す。
- 漸増(漸減)投与、交互投与の場合は、用法・用量が同一の施用ごとに別のRPとする。

RRE 処方オーダ確認応答メッセージ (イベント012)

	は未使用セグメント
RRE	Pharmacy/Treatment Encoded Order Acknowledgment Message (HIS←部門)
MSH	Message Header
MSA	Message Acknowledgment
[ERR]	Error
{{ SFT }}	Message Acknowledgment
{{ NTE }}	Notes and Comments (for Header)
[	
[PID	Patient Identification
{{NTE}}	Notes and Comments (for Patient ID)
]	
{	
ORC	Common Order
{	
TQ1	Timing/Quantity
{{ TQ2 }}	Timing/Quantity Order Sequence
}	
[	
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order
{{NTE}}	Notes and Comments (for RXE)
{	
TQ1	Timing/Quantity
{{ TQ2 }}	Timing/Quantity Order Sequence
}	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route
{{RXC}}	Pharmacy/Treatment Component
]	
}	
]	

注： []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- メッセージ構造はRRE_O12を使用する。

6.2 患者情報照会(QBP/RSP)

薬剤の配送先照会はパラメータによる参照メッセージ(QBP)を用い、応答はセグメントパターン応答メッセージ(RSP)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

薬剤部門においては、薬剤の配送先確認のため、入院病床を照会する。

QBP 患者情報照会メッセージ (イベントQ11)

QBP	Query By Parameter	 は未使用セグメント (部門→HIS)
MSH	Message Header	
[{SFT}]	Software Segment	
QPD	Query Definition	
RCP	Response Control Parameters	
[DSC]	Continuation Pointer	

RSP 患者情報応答メッセージ (イベントK11)

RSP	Segment Pattern Response	 は未使用セグメント (部門←HIS)
MSH	Message Header	
[{SFT}]	Software Segment	
MSA	Message Acknowledgement	
[{ ERR }]	Error	
QAK	Query Acknowledgement	
QPD	Query Parameter Definition Segment	
[{		
PID	Patient Identification	
[[NK1]]	Next of Kin / Associated Parties	
PV1	Patient Visit	
[[PV2]]	Patient Visit - Additional Info	
[[AL1]]	Allergy Information	
[[OBX]]	Observation/Result	
[[IN1]]	Insurance	
}]		
[DSC]	Continuation Pointer	

注： []は省略可能、{ }は繰り返し可能を示す。

- 照会メッセージのメッセージ構造はQBP_Q11を使用する。
- 応答メッセージのメッセージ構造はRSP_K11を使用する。
- QPD-1については本規約で定義しない。各施設での独自定義とする。
- MSHセグメントはメッセージに一つ必須である。
- ヒットした患者の数だけPID～PV1セグメントを繰り返す。

6.3 処方依頼情報照会(QBP/RSP)

QBP オーダ情報照会メッセージ (イベントQ11)

QBP	Query By Parameter	 は未使用セグメント (部門→HIS)
MSH	Message Header	
[{SFT}]	Software Segment	
QPD	Query Definition	
RCP	Response Control Parameters	
[DSC]	Continuation Pointer	

RSP オーダ情報応答メッセージ (イベントK11)

RSP	Segment Pattern Response	 は未使用セグメント (部門←HIS)
MSH	Message Header	
[{SFT}]	Software Segment	
MSA	Message Acknowledgement	
[{ ERR }]	Error	
QAK	Query Acknowledgement	
QPD	Query Parameter Definition Segment	
{		
PID	Patient Identification	
[PV1]	Patient Visit	
[IN1]	Insurance	
[{AL1}]	Allergy Information	
{		
ORC	Common Order	
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	
{TQ1}	Timing/Quantity	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	
[{OBX}]	Observation/Result	
}		
}		
[DSC]	Continuation Pointer	

注： []は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

- 照会メッセージのメッセージ構造はQBP_Q11を使用する。
- 応答メッセージのメッセージ構造はRSP_K11を使用する。
- QPD-1については本規約で定義しない。各施設での独自定義とする。
- MSHセグメントはメッセージに一つ必須である。
- ヒットした患者の数だけPID～OBXセグメントを繰り返す。
- ORC～OBXセグメントをオーダの数だけ繰り返す。

7. 関連セグメント詳細

7.1 MSH - Message Header Segment メッセージヘッダセグメント

MSH セグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

MSH属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RPI#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ST	R	R			00001	Field Separator フィールド区切文字	
2	4	ST	R	R			00002	Encoding Characters コード化文字	
3	227	HD	O	O		0361	00003	Sending Application 送信アプリケーション	
4	227	HD	O	O		0362	00004	Sending Facility 送信施設	
5	227	HD	O	O		0361	00005	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	227	HD	O	O		0362	00006	Receiving Facility 受信施設	
7	26	TS	O	R			00007	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	
8	40	ST	O	O			00008	Security セキュリティ	
9	15	MSG	R	R			00009	Message Type メッセージ型	
10	20	ST	R	R			00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
11	3	PT	R	R			00011	Processing ID 処理ID	
12	60	VID	R	R			00012	Version ID バージョンID	
13	15	NM	O	O			00013	Sequence Number シーケンス番号	
14	180	ST	O	O			00014	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	2	ID	O	O		0155	00015	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	2	ID	O	O		0155	00016	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	3	ID	O	N		0399	00017	Country Code 国コード	
18	16	ID	O	R	Y	0211	00692	Character Set 文字セット	
19	250	CWE	O	O			00693	Principal Language of Message 主要言語	
20	20	ID	O	C		0356	01317	Alternate Character Set Handling Scheme 文字セット操作法	
21	427	EI	O	O	Y		01598	Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually, use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSH フィールド定義

MSH-1 Field Separator フィールド区切文字 (ST) 00001

定義:セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレータ。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。推奨値は | (ASCII 124) である。

MSH-2 Encoding Characters コード化文字 (ST) 00002

定義: 次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は ^~¥& (ASCII 94,126,92 and 38) である。メッセージ区切文字の解説を参照。

MSH-3 Sending Application 送信アプリケーション (HD) 00003

Components: <Namespace ID(IS)>^<Universal ID(ST)>^<Universal ID Type(ID)>

定義: このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが送信アプリケーションかを一意的に識別する。ネットワーク全体は、企業内のHL7メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全にサイト主義である。HL7表0361-アプリケーションは、第1成分に対する値のユーザ定義表として使用される。

HL7表 0361-Application アプリケーション

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

注: サイトでの合意により、実施者は第1成分用に HL7 テーブル 0300-ネームスペース ID を引き続き使う事が出来る

MSH-4 Sending Facility 送信施設 (HD) 00004

Components: <Namespace ID(IS)>^<Universal ID(ST)>^<Universal ID Type(ID)>

定義: このフィールドは、送信アプリケーション、MSH-3-送信アプリケーションをさらに詳細に記述する。HDデータ型への拡張により、この利用法は送信機能だけでなく、次のような他の組織エンティティが含まれるまで広げられた。a) 送信アプリケーションに責任のある組織エンティティ、b) 責任のあるユニット、c) 製品やベンダの識別子、等。完全にサイト定義である。HL7テーブル0362-施設は、第1成分に対する値のユーザ定義表のためのHL7識別子として使用される。

HL7表 0362-Facility 施設

Value	Description	comment
	推奨値なし	

注: サイトでの合意により、実施者は第1成分用に HL7 テーブル 0300-ネームスペース ID を引き続き使う事が出来る

MSH-5 Receiving Application 受信アプリケーション (HD) 00005

Components: <Namespace ID(IS)>^<Universal ID(ST)>^<Universal ID Type(ID)>

定義: このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが受信アプリケーションかを一意的に識別する。ネットワーク全体は、HL7メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全にサイト定義である。HL7テーブル0361-アプリケーションは、第1成分に対する値のユーザ定義表のためのHL7識別子として使用される。

注: サイトでの合意により、実施者は第1成分用に HL7 テーブル 0300-ネームスペース ID を引き続き使う事が出来る

MSH-6 Receiving Facility 受信施設 (HD) 00006

Components: <Namespace ID(IS)>^<Universal ID(ST)>^<Universal ID Type(ID)>

定義: このフィールドは、異なる組織で動作しているアプリケーションの、多数の同一インスタンスの中で、どれが受信アプリケーションかを識別する。HL7テーブル0362-施設は、第1成分に対する値のユーザ定義表のためのHL7識別子として使用される。完全にサイト定義である。

注: 使用場所での合意により、実施者は HL7 テーブル 0300-ネームスペース ID を第1成分として使いつづけても良い

MSH-7 Date/time Of Message メッセージ日時 (TS) 00007

Components: <Time(DTM)>^<DEPRECATED-Degree of Precision(ID)>

定義: 送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。

MSH-8 Security セキュリティ (ST) 00008

定義: セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。

MSH-9 Message Type メッセージ型 (MSG) 00009

Components: <Message Code (ID)> ^ <Trigger Event (ID)>^<Message Structure(ID)>

定義: 第1成分は、HL7表0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、HL7表0003 - イベント型コードにリストされているトリガーイベントコードである。受信システムはこのフ

フィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。

HL7表 0076 - Message type メッセージ型 (処方データ交換規約関連のみ掲載)

Value	Description
QBP	Query by parameter 変数による照会
RDE	Pharmacy/treatment encoded order message 薬剤/処置の符号化オーダーメッセージ
RRE	Pharmacy/treatment encoded order acknowledgment message 薬剤/処置の符号化オーダー肯定応答メッセージ
RSP	Segment pattern response セグメントパターン応答

HL7表 0003 - Event type イベント型 (処方データ交換規約関連のみ掲載)

Value	Description
K11	RSP - Segment pattern response in response to QBP^Q11 セグメントパターン応答
O11	RDE - Pharmacy/treatment encoded order 薬剤/処置符号化オーダー
O12	RRE - Pharmacy/treatment encoded order acknowledgment 薬剤/処置符号化オーダーの肯定応答
Q11	QBP - Query by parameter requesting an RSP segment pattern response 部類パターン応答を要求するパラメータによる参照

MSH-10 Message control ID メッセージ制御 ID (ST) 00010

定義:メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。受信システムは、メッセージ肯定応答セグメント(MSA)で送信システムへこのIDをエコーバックする。

MSH-11 Processing ID 処理 ID (PT) 00011

Components: <Processing ID (ID)> ^<Processing Mode (ID)>

定義:メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

HL7表 0103 - Processing ID 処理ID

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

HL7表 0207 - Processing mode 処理モード

Value	Description
A	Archive アーカイブ
R	Restore from archive アーカイブからの復元
I	Initial load 初期ロード
T	Current processing, transmitted at intervals(scheduled or on demand) 現在の処理、とびとびに転送される(計画的又は要求に応じて)
not present	Not present (the default, meaning <i>current</i> processing) 存在しない(デフォルト、すなわち現在の処理)

MSH-12 Version ID バージョン ID (VID) 00012

Components: <Version ID (ID)> ^<Internationalization Code (CWE)> ^<International Version ID (CWE)>

Subcomponents for Internationalization Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for International Version ID (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。本規約のバージョンIDは2.5を指定する。

HL7表 0104 - Version ID バージョンID

Value	Description
2.0	Release 2.0 リリース2.0 September 1988 1988年9月
2.0D	Demo 2.0 デモ2.0 October 1988 1988年10月

Value	Description	
2.1	Release 2.1 リリース2.1	March 1990 1990年3月
2.2	Release 2.2 リリース2.2	December 1994 1994年12月
2.3	Release 2.3 リリース2.3	March 1997 1997年3月
2.3.1	Release 2.3.1 リリース2.3.1	May 1999 1999年5月
2.4	Release 2.4 リリース2.4	November 2000 2000年11月
2.5	Release 2.5 リリース2.5	May 2003 2003年5月

MSH-13 Sequence Number シーケンス番号 (NM) 00013

定義: 値がNullでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設毎にシーケンス管理することとし、増分は1とする。

MSH-14 Continuation Pointer 継続ポインタ (ST) 00014

定義: アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。
施設にて定義(但し、推奨しない)。

MSH-15 Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型 (ID) 00015

定義: このメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

MSH-16 Application Acknowledgment Type アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016

定義: このメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をHL7表0155に示す。

HL7表 0155 - Accept/application acknowledgment conditions アプリケーション肯定応答型

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ

注記: MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、オリジナルの肯定応答モード規則が使われる。

MSH-17 Country Code 国コード (ID) 00017

定義: メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

MSH-18 Character Set 文字セット (ID) 00692

定義: メッセージ全体に使用する文字セットコードを定義する。有効な文字セットをHL7表0211に示す。

HL7表 0211 - Character sets 文字セット

Value	Description	Comment
ASCII	The printable 7-bit ASCII character set 印刷可能な7ビットの文字セット	(このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである)
8859/1	The printable characters from the ISO 8859/1 Character set ISO 8859/1の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/2	The printable characters from the ISO 8859/2 Character set ISO 8859/2の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/3	The printable characters from the ISO 8859/3 Character set ISO 8859/3の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/4	The printable characters from the ISO 8859/4 Character set ISO 8859/4の文字セットからの印刷可能な文字	

Value	Description	Comment
8859/5	The printable characters from the ISO 8859/5 Character set ISO 8859／5の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/6	The printable characters from the ISO 8859/6 Character set ISO 8859／6の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/7	The printable characters from the ISO 8859/7 Character set ISO 8859／7の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/8	The printable characters from the ISO 8859/8 Character set ISO 8859／8の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/9	The printable characters from the ISO 8859/9 Character set ISO 8859／9の文字セットからの印刷可能な文字	
ISO IR14	Code for Information Exchange (one byte) (JIS X 0201-1976) 情報交換用コード(1バイト)(JIS X 0201-1976)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR14"
ISO IR87	Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0208-1990) 日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード(JIS X 0208-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR87" 日本ではJIS X 0208はエスケープシーケンスを必要としており、エスケープ技術はISO2022である。標準ASCIIでは、エスケープシーケンス"escape"\$B(16進数、1B 24 42)は以下のバイトは2バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCIIへもどるには1B 28 42である。
ISO IR159	Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0212-1990) 補助的な日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード (JIS X 0212-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち"ISO IR159"
注: 文字セットに関わらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。		

異なる文字セットの反復はデータ型PNとXPNのみに適用される。本フィールドの指定がないもしくは反復の第1成分がNullの場合はsingle-byte character set (ASCII (ISO IR-6))が適用される。本フィールドが出現し第1成分が特定される場合この文字セットがメッセージのデフォルト文字セットとなる。これはシングルスバイト文字セットでなければならない。(例えば ISO-IR 6, ISO-IR 13, ISO-IR 14, ISO-IR 100, etc.) 第2第3成分は代替文字セットが使用できダブルバイト文字セットも含まれる。(例えば ISO IR87) デフォルト文字セットは常にシングルスバイト文字セットであり、ISO-IR 6 (ISO 646) or ISO-IR 14 (JIS X 0201-1976)の G0 域である。

半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ISO IR159とする。

MSH-19 Principal language of message 主要言語 (CWE) 00693

Components: <Identifier (ST)>^<Text (ST)>^<Name of Coding System (ID)>^<Alternate Identifier (ST)>^<Alternate Text (ST)>^<Name of Alternate Coding System (ID)>^<Coding System Version ID (ST)>^<Alternate Coding System Version ID (ST)>^<Original Text(ST)>

定義:メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

MSH-20 Alternate character set handling scheme 文字セット操作法 (ID) 01317

定義: 文字セットを切り替えるためのエスケープシーケンス方式を定義する。ISO 2022-1994を使用する。

MSH-21 Message Profile Identifier メッセージプロファイル識別子 (EI) 01598

Components: <Entity Identifier(ST)>^<Namespace ID(IS)>^<Universal ID(ST)>^<Universal ID Type(ID)>

定義: サイトは、このフィールドを、メッセージプロファイルの準拠を主張するか、もしくは参照する際に使用することができる。メッセージプロファイルは、文法、構文および特定のメッセージやメッセージのセットの詳細化された説明を含む。

このフィールドの反復は、メッセージプロファイルの作成と名前付けに、より柔軟性を持たせる。反復を用いることで、このフィールドは、メッセージが従うメッセージプロファイルのセットを指定できる。

HL7 V2.5において、HL7メッセージプロファイル識別子は適合要求や発行/購読システムに使われて

いるかもしれない。

HL7 V2.5より以前、このフィールドは適合文書IDと呼ばれていた。下位互換性のため、ここでは適合文書IDを使うことができる。

7.2 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ肯定応答セグメント

MSA セグメントは、他のメッセージの肯定応答の特性を定義する。

MSA属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RPI#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00018	Acknowledgment Code 肯定応答コード	
2	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
3	80	ST	B	B		00020	Text Message テキストメッセージ	
4	15	NM	O	O		00021	Expected Sequence Number 予想シーケンス	
5			W	W		00022	Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ	
6	250	CWE	B	B		00023	Error Condition エラー状態	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- W - withdrawn

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually, use only on the site
- W - withdrawn

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSA フィールド定義

MSA-1 Acknowledgment Code 肯定応答コード 00018

定義: このフィールドでは肯定応答コードを含んでおり、メッセージ処理規則に従っている。テーブル00008ー肯定応答コードを参照。

HL7表 0008 - Acknowledgment Code 肯定応答コード

Value	Description
AA	基本モード:アプリケーション受諾 拡張モード:アプリケーション肯定応答:受諾
AE	基本モード:アプリケーションエラー 拡張モード:アプリケーション肯定応答:エラー
AR	基本モード:アプリケーションリジェクト 拡張モード:アプリケーション肯定応答:リジェクト
CA	拡張モード:受諾肯定応答:コミット受諾
CWE	拡張モード:受諾肯定応答:コミットエラー
CR	拡張モード:受諾肯定応答:コミットリジェクト

MSA-2 Message Control ID メッセージ制御 ID (ST) 00010

定義: このフィールドは送信システムから送られてきたメッセージのメッセージ制御IDを含んでいる。
送信システムは、この応答と、それが目的とするメッセージを関連づける。

MSA-3 Text Message テキストメッセージ (ST) 00020

定義: エラー条件をより詳細に記述するオプションのテキストフィールド。このテキストは、エラーログに印刷するか、あるいはエンドユーザに提示することができる。

MSA-4 Expected Sequence Number 予想シーケンス (NM) 00021

定義: シーケンス番号プロトコルで使用するオプションの数値フィールド。

MSA-5 Delayed Acknowledgment Type 遅延肯定応答タイプ (ID) 00022

定義: このフィールドは下位互換性のためのものである。

HL7表 0102 - Delayed acknowledgment type 遅延肯定応答タイプ

Value	Description
D	メッセージが受領され、後の処理に備えて蓄積された
F	処理の後の承認

注意:MSA-5はHL7 v2.2で否定されたので、詳細はHL7 V2.5の規格からは削除されている。

MSA-6 Error Condition エラー条件 (CWE) 00023

Components:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは肯定応答システムがユーザ定義のエラーコードを使用し、ARタイプまたはAEタイプの肯定応答をさらに規定することができる。このフィールドは、MSA-3ーテキストメッセージの代わりに一般に使われる。

※エラーコードに関しては両者間で調整の上用いる。

MSA-6はHL7 V2.4で否定された。エラー内容についてはERRセグメントを参照のこと。ERRセグメントはエラー状況についてより詳細な記述が可能である。

7.3 ERR - Error Segment エラーセグメント

ERR セグメントを使用して、エラーコメントを肯定応答メッセージに加える。

ERR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	493	ELD	B	B	Y	00024	Error Code and Location エラーコードと位置	
2	18	ERL	O	O	Y	01812	Error Location エラー位置	
3	705	CWE	R	R		01813	HL7 Error Code HL7エラーコード	
4	2	ID	R	R		01814	Severity 影響度	
5	705	CWE	O	O		01815	Application Error Code アプリケーションエラーコード	
6	80	ST	O	O	Y/10	01816	Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ	
7	2048	TX	O	O		01817	Diagnostic Information 診断情報	
8	250	TX	O	O		01818	User Message ユーザメッセージ	
9	20	IS	O	O	Y	01819	Inform Person Indicator 人への通知指標	
10	705	CWE	O	O		01820	Override Type 無効型	
11	705	CWE	O	O	Y	01821	Override Reason Code 無効理由コード	
12	652	XTN	O	O	Y	01822	Help Desk Contact Point ヘルプデスクコンタクトポイント	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually, use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ERR フィールド定義

ERR-1 Error Code and Location エラーコードとロケーション (ELD) 00024

Components: <Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Code Identifying Error (CWE)>

Subcomponents for Code Identifying Error (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは別のメッセージ内の誤ったセグメントを識別する。HL7 V2.5 のみにおいて下位互換性のため維持される:ERR-2 と ERR-3 をかわりに参照のこと。

有効な値については HL7 表 0357 メッセージエラー条件コード を参照のこと

ERR-2 Error Location エラー位置 (ERL) 01812

Components: <Segment ID (ST)> ^ <Segment Sequence (NM)> ^ <Field Position (NM)> ^ <Field Repetition (NM)> ^ <Component Number (NM)> ^ <Sub-Component Number (NM)>

定義:識別されたエラー、警告、もしくはメッセージに関係するメッセージ内の位置を識別する。もし複数の反復が存在した場合、エラーは場所を組み合わせた値に起因する。

ERR-3 HL7 Error Code HL7 エラーコード (CWE) 01813

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:HL7(コミュニケーション)エラーコードを識別する。有効な値については HL7 表 0357-メッセージエラー条件コードを参照のこと。

HL7表 0357 – Message Error Condition Codes メッセージエラー条件コード

Value	Description	Comment
0	メッセージ受諾	成功。オプションでは、AA が成功を伝えるだけ。常時状態コードを返す必要があるシステムのために利用される
100	セグメントシーケンスエラー	エラー:メッセージセグメントが適当な順番でないか、要求されたセグメントが失われている
101	要求されたフィールドの消失	エラー:要求されたセグメントが消失している
102	データ型エラー	エラー:フィールドが不正なエラーを含んでいる。例えば NM フィールドが"FOO"を含んでいる
103	表の値が見つからない	エラー: データ型 ID か IS のフィールドが対応する表と比較され、合致するものが無い
200	提供されていないメッセージ型	却下:そのメッセージ型は提供されていない
201	提供されていないイベントコード	却下:そのイベントコードは提供されていない
202	提供されていない処理 ID	却下:その処理 ID は提供されていない
203	提供されていないバージョン ID	却下:そのバージョン ID は提供されていない
204	不明なキー識別子	却下: 患者、オーダ等の ID が見つからない。付加以外ではトランザクションに用いられる。例えば存在しない患者の転送
205	キー識別子の重複	却下:患者やオーダ等の ID が既に存在している。付加トランザクションの応答で用いられる(許可、新オーダ等)
206	アプリケーションレコードがロックされている	トランザクションが、アプリケーション格納レベルで実行することができなかった。例えば、データベースのロック
207	アプリケーション内部エラー	却下: 他のコードで明示的に対象としていない、包括的な内部エラー用

ERR-4 Severity 影響度 (ID) 01814

定義:アプリケーションエラーの影響度を識別する。もし何かがエラーであるとわかると、警告や情報にアプリケーションがそのエラー内容に対処する方法が示される。有効な値は HL7 表 0516-エラー影響度を参照のこと。もし ERR-3 の値が"0"の場合、ERR-4 の値は"1"となる。

例:警告は、注意すべきことがあるが、それは自動的に処理されず、さらに情報が消失してしまったことを示すために使われる。

情報の例:要求を受理した際、受理者は下限値の範囲内であることを示してよい。

HL7表 0516 – Error Severity エラー影響度

Value	Description	Comment
W	警告	トランザクションは成功したが、何か問題がある
I	情報	トランザクションは成功したが、何か情報を含む、例えば、患者へ伝えるべき情報
E	エラー	トランザクションが失敗した。

ERR-5 Application Error Code アプリケーションエラーコード (CWE) 01815

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:発生した特定のエラーを識別するためのアプリケーション特定のコード。推奨される値は HL7 表 0533-アプリケーションエラーコードを参照のこと。

もしコードと関連するメッセージにパラメータがある場合、メッセージはjava.text.MessageFormat approach¹フォーマットで表されることが推奨されている。このスタイルはパラメータ型の情報に数値、データ、時間を供給することができ、それらは言語に合わせて適当にフォーマットされる。

HL7表 0533 – Application Error Code アプリケーションエラーコード

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

ERR-6 Application Error Parameter アプリケーションエラーパラメータ (ST) 01816

定義:特別なエラー条件/警告/その他を理解するために、アプリケーションエラーコードと共に付加される追加情報。このフィールドは最大 10 パラメータまで反復が可能である。

例:ERR-5 で指定されているアプリケーションエラーコードが英語のメッセージ"この患者は、{1,日付,媒体}までの期間、{0,数字,通貨単位}の免責をうけることができる"と一致し、ERR-6 の最初の 2 つの反復が"250"と"20021231"であった場合、アメリカの受信アプリケーションは"この患者は 2002 年 12 月 31 日までの期間、250ドルの免責をうけることができる"というメッセージを表示する。

ERR-7 Diagnostic Information 診断情報 (TX) 01817

定義:ヘルプデスクや、問題を診断するサポート人物によって使われる情報。

ERR-8 User Message ユーザメッセージ (TX) 01818

定義:アプリケーションユーザに対して表示されるテキストメッセージ。

例:

この問題は他のシステムとの通信トラブルです。ヘルプデスクに連絡して下さい。|

これは実際のエラーコードと違い、より詳細な診断情報を提供する。

ERR-9 Inform Person Indicator 人への通知指標 (IS) 01819

定義:誰(だれでも)に対してエラーを知らせるかを示すコード。このフィールドはまた、特定の人物にエラーを知らせてはいけな場合にも使用される(患者に知らせてはいけな場合など)。推奨される値は使用者定義表 0517-情報人物コードを参照のこと。

使用者定義表 0517 – Inform Person Code 情報人物コード

Value	Description	Comment
PAT	患者に知らせる	
NPAT	患者に知らせてはいけな	
USR	ユーザに知らせる	
HD	ヘルプデスクに知らせる	

ERR-10 Override Type 無効型 (CWE) 01820

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:特定のエラーを無効にする際に使われる無効型を識別する。推奨される値は使用者定義表 0518 無効型を参照のこと。

使用者定義表 0518 – Override Type 無効型

Value	Description	Comment
EXTN	拡張無効	命令された期間より長くサービスを実行する際に指定する無効
INLV	間隔無効	命令された間隔よりも早くサービスの反復を実行する際に指定される無効
EQV	等価無効	システムが事前に命令されたサービスと等価であると認識できない命令を実行する際に指定される無効

ERR-11 Override Reason Code 無効理由コード (CWE) 01821

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding

¹ メッセージフォーマットの詳細は下記 URL を参照のこと
<http://docs.oracle.com/javase/jp/6/api/java/text/MessageFormat.html>

System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:エラーを発生させたアプリケーション規則を無効にした際に使われた無効コードのリストを提供する。推奨される値は使用者定義表 0519-無効理由を参照のこと

使用者定義表 0519 – Override Reason 無効理由

Value	Description	Comment
	推奨値なし	

ERR-12 Help Desk Contract Point ヘルプデスクコンタクトポイント (XTN) 01822

Components: <DEPRECATED-Telephone Number(ST)> ^ <Telecommunication Use Code(ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type(ID)> ^ <Email Address(ST)> ^ <Country Code(NM)> ^ <Area/City Code(NM)> ^ <Local Number(NM)> ^ <Extension(NM)> ^ <Any Text(ST)> ^ <Extension Prefix(ST)> ^ <Speed Dial Code(ST)> ^ <Unformatted Telephone Number(ST)>

定義:特定のエラーに関係するヘルプデスクサポートの電話、Eメール、ファックスその他関係のある番号のリスト。

7.4 QPD - Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント

QPD セグメントは照会のパラメータを定義する。

QPD属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RPI#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		01375	Message Query Name メッセージ照会名	
2	32	ST	C	C		00696	Query Tag 照会タグ	
3-n	256	-	-	-		-	User Parameter ユーザ・パラメータ	各照会で定義

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QPD フィールド定義

QPD-1 Message Query Name メッセージ照会名 (CWE)01375

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは照会名を含む。これらの具体的な値は、この機能を使用する各章に指定されている。照会名はコンフォーマンス・ステートメントと一対一であり、その識別子である。各施設でローカル定義した照会名は文字 Z から始める。照会名の定義は使用者定義表 0471-照会名を参照すること。

• 使用者定義表 0471 – Query Name 照会名

Value	Description	Comment
	提案値は定義されていない	

QPD-2 Query Tag 照会タグ (ST)00696

定義:このフィールドは、照会を識別するために照会するシステムによって値が設定され、応答と照会を突合するために使用する。照会時にこのフィールドに値が設定されていれば、応答するシステムは、照会承認セグメント(QAK)の最初のフィールドとして、この値をエコーバックすることが要求される。この値は照会に関係があるそれぞれのメッセージ(すなわちすべての継続メッセージ)で同じ値を設定するため、このフィールドは、MSA-2-メッセージ・コントロール ID と異なる。MSA-2-メッセージ・コントロール ID は、それが全体としての照会ではなく、それぞれの個々のメッセージに関係があるので、それぞれの継続メッセージによって異なる可能性がある。

[実装時の考慮:ソケットの返答メッセージだけが、今送られた照会に対して唯一の応答になる場合には、実装でこのフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他のメッセージを、同一ソケットを利用する「非同期通信」を利用する場合には、サーバがどの照会に答えているかをクライアントが判別できるように、このフィールドに値を入れなければならない。]

QPD-3 User Parameter ユーザ・パラメータ(多様)01435

定義:これ以降のフィールドは、クライアントがサーバに受け渡す値を保持する。各フィールドはコンフォーマンス・ステートメントで定義された1つのパラメータに相当し、名前、タイプ、オプション、および繰り返しそれぞれ

規定される。また、これらのパラメータは一般的には **AND** 結合され、利用者はコンフォーマンス・ステートメントの要求を厳密に検査する必要がある。各パラメーター・フィールドは、**QIP** および **QSC** タイプを含む、あらゆるデータタイプがコンフォーマンス・ステートメントによって指定される。また、パラメーター・フィールドはソート・コントロール(**SRT**)フィールド、あるいはセグメント・グループ(**ID**)フィールドを含んでもよい。**QPD** セグメントのパラメーター・フィールドは、コンフォーマンス・ステートメントのいくつかの指示によって形成される。

7.5 QAK - query acknowledgment segment 照会認知セグメント

QAK セグメントは、照会に対する応答で送られた情報を含んでいる。QAK セグメントは拡張照会に対する応答に必要であるが、いずれのオリジナルモードの照会に対する、いずれの照会応答(メッセージ)中の ERR セグメント(オプション)の後に置かれるオプションセグメントとして現れても良い。

QAK属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	32	ST	C	C		00696	Query Tag 問い合わせタグ	
2	2	ID	O	O		00708	Query Response Status 問い合わせ応答ステータス	
3	250	CWE	O	O		01375	Message Query Name メッセージ問合せ名	
4	10	NM	O	O		01434	Hit Count Total 合計データ総数	
5	10	NM	O	O		01622	This payload この応答中の合致データ数	
6	10	NM	O	O		01623	Hits remaining 残りの合致データ数	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

QAK フィールドの定義

QAK-1 Query Tag 問い合わせタグ (ST) 00696

定義: 問合せを識別するために、問合せ側システムがこのフィールドに値を設定する。このフィールドは問合せメッセージと応答メッセージの組み合わせ照会に用いられる。もしこの値が存在するならば、応答システムは問合せ応答セグメント(QAK)の最初のフィールドとしてこの値を返す必要がある。このフィールドは MSA-2-message control ID とは異なる。その値はある問合せに関係した各メッセージ(すなわち、すべての継続するメッセージ)に対して一定である。一方、MSA-2-message control ID は継続するメッセージで変化するかもしれない。なぜなら、それは問合せ全体としてではなく独立したメッセージに関係するためである。オリジナルモードの照会の時、QAK-1-Query Tag は使用しない。

QAK-2 Query Response Status 問い合わせ応答ステータス (ID) 00708

定義: このフィールドは応答システムが正確な応答ステータスを返すためのものである。このフィールドは、特に問合せパラメータに合致するデータが見つからなかったが、エラーは発生しなかった場合に有効である。値は HL7 表 0208 - Query Response Status にて定義される。

HL7表0208— Query Response Status 照会応答状態

Value	Description	Comment
OK	Data found. No errors(this is the default) データ検出 エラー無し (これはデフォルトである)。	
NF	No data found. No errors データ未検出 エラー無し	
AE	Application error アプリケーションエラー	
AR	Application reject アプリケーション拒絶	

QAK-3 Message Query Name メッセージ問合せ名 (CWE) 01375

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは問合せの名称を含む。これらの名称は、機能ごとの章にて割当てられる。サイト固有の事象の場合、問合せ名は"Z"で始まる。使用者定義表 0471 - Query name を参照。

QAK-4 Hit Count Total 合計データトータル数 (NM) 01434

定義: このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバが検出した問合せに対する合致データのトータル数を含む。表形式の応答(tabular response)では、これは検出した列の数に相当する。その他の応答タイプでは、Conformance Statement にて“合致”の意味を定義する。

QAK-5 This Payload この応答中の合致データ数 (NM) 01622

定義: このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバがカレントの応答の中で送る合致データの数を含む。継続プロトコルが応答伝達に用いられる場合、この数は QAK-4-Hit count total で送られる値とは一致しない。

QAK-6 Hits Remaining 残りの合致データ数 (NM) 01623

定義: このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバがまだ送っていない合致データの数を含む。このフィールドは、サーバが応答を伝達するのに継続プロトコルを用いる場合にのみ意味がある。

7.6 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは患者を永久に識別する情報と調査情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

PID属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RPI#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00104	Set ID - Patient ID セットIDー患者ID	
2	20	CX	B	B		00105	Patient ID 患者ID	
3	250	CX	R	R	Y	00106	Patient Identifier List 患者IDリスト	
4	20	CX	B	B	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	250	XPN	R	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名	
6	250	XPN	O	N	Y	00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	26	TS	O	R		00110	Date/Time of Birth 生年月日年齢	
8	1	IS	O	R		00111	Sex 性別	
9	250	XPN	B	N	Y	00112	Patient Alias 患者別名	
10	250	CWE	O	N	Y	00113	Race 人種	
11	250	XAD	O	O	Y	00114	Patient Address 患者住所	
12	4	IS	B	N		00115	County Code 郡コード	
13	250	XTN	O	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号ー自宅	
14	250	XTN	O	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号ー勤務先	
15	250	CWE	O	N		00118	Primary Language 言語ー患者	
16	250	CWE	O	O		00119	Marital Status 婚姻状況	
17	250	CWE	O	N		00120	Religion 宗教	
18	250	CX	O	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号	
19	16	ST	B	N		00122	SSN Number - Patient SSN番号ー患者	
20	25	DLN	B	N		00123	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号ー患者	
21	250	CX	O	O	Y	00124	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	250	CWE	O	N	Y	00125	Ethnic Group 人種のグループ	
23	250	ST	O	N		00126	Birth Place 誕生場所	
24	1	ID	O	N		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	2	NM	O	N		00128	Birth Order 誕生順序	
26	250	CWE	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権	
27	250	CWE	O	N		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	250	CWE	B	B		00739	Nationality 国籍	
29	26	TS	O	O		00740	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	1	ID	O	O		00741	Patient Death Indicator 患者死亡識別	
31	1	ID	O	O		01535	Identity Unknown Indicator 身元不明識別	
32	20	IS	O	O	Y	01536	Identity Reliability Code 身元信頼度	
33	26	TS	O	O		01537	Last Update Date/Time 最終更新日	
34	241	HD	O	O		01538	Last Update Facility 最終更新施設	
35	250	CWE	C	N		01539	Species Code 種	
36	250	CWE	C	N		01540	Breed Code 品種	
37	80	ST	O	N		01541	Strain 血統	
38	250	CWE	O	N	2	01542	Production Class Code 製品クラスコード	
39	250	CWE	O	N	Y	01840	Tribal Citizenship 所属種族	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
- (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PID フィールド定義

PID-1 Set ID - Patient ID セット ID—患者 ID (SI) 00104

定義:セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

PID-2 Patient ID 患者 ID (CX) 00105

定義:このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。独断的であった用語「外部ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。「PID-3患者IDリスト」における発行機関、保健機関、識別区分コードなどの繰り返しは特長ある識別情報を示すために許されている。このフィールドはシステムにおいては「外部」として取り決められた解釈として残されている。PID-3患者IDリストはすべての患者識別情報として使われることを推奨されている。

過去との互換性を持つことが必要な時、患者が外部の施設、事務所他来た時には、このフィールドは値を持たなければならない。そして、このフィールドでその移動元の施設で使用していた識別子が示されなければならない。この識別子は異なる施設で使用されるものであるかもしれないし、医療機関で共用しているものかもしれない。HL7表0061チェックデジットスキーマを参照のこと。

PID-3 Patient Identifier List 患者 ID リスト (CX) 00106

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:患者を一意的に識別するため施設によって使用されるID(たとえば患者IDやカルテ番号、請求書番号など)。患者IDを設定。

【処方】本規約では以下の形式で利用する。

成分:<患者ID>^^^^PI

患者IDが繰り返された場合は、1件目を患者IDとして解釈する。

PID-4 Alternate Patient ID - PID 代替患者 ID (CX) 00107

定義:このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。すべての患者識別情報は「PID-3患者IDリスト」を使用することを推奨する。もしこのフィールドを旧バージョンのとの互換性のために使う時は、このフィールドには代替え、一時的、もしくは必要な場合には保留中のオプション患者識別情報、または補足的な患者識別情報に使用する。このフィールドはまた複数の患者IDを運ぶことに使うこともできる。その中には来院番号、来院日、社会保険番号も含む。

PID-5 Patient Name 患者氏名 (XPN) 00108

Components: <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義:患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。例えばMSH-18に

ASCII~ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^

タロウ^^^^L^Pとなる。反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。患者の名札やフィルムのラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう、法律上の名前「L」を用いることが望ましく、運用に注意すべきである。

【処方】本規約では以下の形式で利用する。
成分:<姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード>

複数の名前表示形式が存在する場合には、反復セパレータにより複数記述する。また、少なくとも、英数字もしくは表音文字による患者氏名が記述されなければならない。

HL7表 0200 - Name Type 名前タイプコード

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法律上の名前
D	Display Name 表示名
M	Maiden Name 旧姓(婚姻前の名前)
C	Adopted Name 養子による名前

HL7表 0465 - Name Representation Code 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイトの英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字(ASCII, 仮名)

PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109

定義: 母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前タイプは「M」である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-7 Date/Time Of Birth 生年月日 (TS) 年齢 00110

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: 患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。

【処方】本規約では「YYYYMMDD」形式による、患者の生年月日。患者の特定に必要な情報として必須とする。

PID-8 Sex 性別 (IS) 00111

定義: 患者の性別。使用者定義表0001—性別を推奨する。

使用者定義表 0001 - Sex 性別

Value	Description
F	Female女性
M	Male男性
O	Otherその他
U	Unknown未知
A	Ambiguous 両性具有
N	Not applicable 適応外

【処方】本規約では、患者の特定に必要な情報として必須とする。

PID-9 Patient Alias 患者の別名 (XPN) 00112

定義: このフィールドはV2.4から旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。患者の氏名はすべてPID-5患者氏名を使うことを推奨する。このフィールドはある時に判った患者の名前を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-10 Race 人種 (CWE) 00113

定義: 定義: このフィールドは患者の人種を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

定義: このフィールドは患者の現住所を示している。

最初のエレメントは、

<Street Address (SAD)>

であり、これはさらに

<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

に分解されるので、日本の場合は、

虎ノ門 1 - 1 9 - 9 ^ 港区 ^ 東京都 ^ 105-0001 ^ H

のように記述する。ただし、住所を(都道府県や市町村などに)分離して管理していない場合は、第8成分だけを用いて、

^^^^105-0001^H^東京都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9

のように記述することとする。また、第7成分を「B」(=会社/事業所)とすることで、患者の勤務先の郵便番号、住所を表現することもできる。

^^^^100-8916^^B^東京都千代田区霞が関 1 - 2 - 2

PID-12 County Code 郡コード (IS) 00115

定義: 患者の郡コード。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-13 Phone Number - Home 電話番号—自宅 (XTN) 00116

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義: このフィールドでは患者の個人的な電話番号を示す。すべての患者の個人電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われると思われる電話番号(旧バージョンとの互換性のため)である。もし、主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値についてはHL7表0201 電話連絡使用コードとHL7表0202 電話連絡手段区分を参照のこと。

【処方】本規約では、電話番号を成分に分けずに記述する場合、第1成分はHL7 V2.5では非推奨とされているため、以下のように第12成分を使用する。

| ^PRN^PH^^^^^^^^03-3599-9991|

PID-14 Phone Number - Business 電話番号—勤務先 (XTN) 00117

Components: <Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義: このフィールドでは患者の職場の電話番号を示す。すべての職場の電話番号は次の順序で送られる。

最初は主として使われる電話番号(旧バージョンとの互換性のため)である。もし主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復区切り文字を送る必要がある。有効な値については HL7 表 0201 電話連絡使用コードと HL7 表 0202 電話連絡手段区分を参照のこと。

【処方】本規約では、電話番号を成分に分けずに記述する場合、第1成分はHL7 V2.5では非推奨とされているため、以下のように第12成分を使用する。

|^WPN^PH^^^^^^^03-3599-9991|

PID-15 Primary Language 言語—患者 (CWE) 00118

定義:患者の主要な言語。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-16 Marital Status 婚姻状況 (CWE) 00119

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:患者の(社会的)婚姻状況。 使用者定義表0002—婚姻状況を推奨する。

使用者定義表 0002 - Marital Status 婚姻状況

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別
C	Common Law 法的
G	Living together 同居・同棲
P	Domestic partner 配偶者
R	Registered domestic partner 登録された配偶者
E	Legally Separated 法的な別居
N	Annulled 取消
I	Interlocutory 対話者
B	Unmarried 未婚
U	Unknown 不明
O	Other その他
T	Unreported 未報告

PID-17 Religion 宗教 (CWE) 00120

定義:このフィールドでは患者の宗教を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-18 Patient Account Number 患者会計番号 (CX) 00121

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

PID-19 SSN Number - Patient SSN 番号—患者 (ST) 00122

定義:患者の社会保障番号。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-20 Driver's License Number - Patient 患者の運転免許証番号 (DLN) 00123

定義:患者の運転免許証番号。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-21 Mother's Identifier 母親の識別子 (CX) 00124

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。

PID-22 Ethnic Group 人種のグループ (CWE) 00125

定義:患者の民族的起源を定義する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-23 Birth Place 誕生場所 (ST) 00126

定義:患者の誕生の場所を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-24 Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識 (ID) 00127

定義:患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。Y/Nインジケータを使用。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-25 Birth Order 誕生順序 (NM) 00128

定義:患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-26 Citizenship 市民権 (CWE) 00129

定義:患者の市民権の国を示す。推奨値として、使用者定義表0171 (HL7-3章) 一国コード又はISO3166を参照すること。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-27 Veterans Military Status 退役軍人の状況 (CWE) 00130

定義:このフィールドは退役軍人に割り当てられた軍人情報である。推奨値については使用者定義表0172退役軍人情報に示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-28 Nationality 国籍 (CWE) 00739

定義:HL7V2.4以降から、このフィールドは旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

PID-10人種、PID-22民族、PID-26市民権を参照することを推奨する。患者の属する国籍や国グループを示す。

PID-29 Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS) 00740

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義:患者死亡日時、臨床研究や管理用。

PID-30 Patient Death Indicator 患者死亡識別 (ID) 00741

定義:このフィールドは患者が死亡しているか否かを示す。有効な値については HL7表0136-Yes/no indicatorを参照のこと

HL7表 0136 - Yes/no indicator Yes/No標識

Value	Description
Y	患者は死亡している
N	患者は死亡していない

PID-31 Identity unknown indicator 身元不明識別 (ID) 01535

定義:このフィールドは患者確認が行われているかどうかを示す。

参照 HL7 表 0136 - Yes/no indicator

HL7表 0136 - Yes/no indicator Yes/No標識

Value	Description
Y	身元不明
N	身元確認済み

PID-32 Identity reliability code 識別情報の信頼性 (IS) 01536

定義:このフィールドは、トランザクション経由で送られた患者データの信頼性を示す。この値は、患者データの PID の誕生日や社会保障番号が確認されたものかどうかを示す。

参照 使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code

使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code 識別情報の信頼性

Value	Description
US	Unknown/Default Social Security Number 社会保障番号不明
UD	Unknown/Default Date of Birth 誕生日不明
UA	Unknown/Default Address 住所不明
AL	Patient/Person Name is an Alias 患者名不明

PID-33 Last update date/time 最終更新日付 (TS) 01537

Components: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドではPIDセグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、どのようにそのトランザクションをそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システム(例えばエンタープライズマスタ患者インデックス)が、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者／個人基本情報、識別情報を使用しないことと判断する。

PID-34 Last update facility 最終更新施設 (HD) 01538

Components: <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:患者PIDセグメントの最終更新施設。これを元にこの情報を受信したデータを採用するかどうかを判断する。もし、受信したサイトはそのデータが信頼性の高いものであるならばそれを利用することの判断ができる。信頼の置ける施設からの更新情報は病院にとって信頼すべき物として扱われる。

PID-35 Species code 種 (CWE) 01539

定義:生物の種。このフィールドはコーディングシステムを用いて一般名もしくは学術名を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-36 Breed code 品種 (CWE) 01540

定義:特定の動物の繁殖。

【処方】通常、本フィールドは使用しない

PID-37 Strain 血統 (ST) 01541

定義:このフィールドは動物の血統情報を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-38 Production class code 製品クラスコード (CWE) 01542

定義:このフィールドはその生物が主に繁殖されたものか、成長したものかを示すコードもしくはテキストである。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PID-39 Tribal Citizenship 所属種族 (CWE) 01840

定義:このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

7.7 PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

PV1セグメントは、来院に関する情報を通信するために登録/ADTアプリケーションによって使用される。このセグメントは複数の来院統計記録を同じ患者の会計に送るため、又は単一の来院記録を複数の会計に送るために、使用することができる。個々のサイトは必ずこのセグメントを使用しなければならない。

PV1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RPI#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	N		00131	Set ID – PV1 セットID-PV	
2	1	IS	R	R		00132	Patient Class 患者クラス	
3	80	PL	O	O		00133	Assigned Patient Location 患者所在場所	
4	2	IS	O	N		00134	Admission Type 入院タイプ	
5	250	CX	O	N		00135	Preadmit Number 仮入院番号	
6	80	PL	O	N		00136	Prior Patient Location 患者の以前の所在	
7	250	XCN	O	O	Y	00137	Attending Doctor 主治医	
8	250	XCN	O	O	Y	00138	Referring Doctor 紹介医師	
9	250	XCN	B	N	Y	00139	Consulting Doctor コンサルタント医師	
10	3	IS	O	O		00140	Hospital Service 病院サービス	
11	80	PL	O	N		00141	Temporary Location 一時的な所在	
12	2	IS	O	N		00142	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識	
13	2	IS	O	N		00143	Readmission Indicator 再入院標識	
14	6	IS	O	N		00144	Admit Source入院元	
15	2	IS	O	N	Y	00145	Ambulatory Status 外来の状況	
16	2	IS	O	N		00146	VIP Indicator VIP標識	
17	250	XCN	O	N	Y	00147	Admitting Doctor 入院許可医師	
18	2	IS	O	N		00148	Patient Type 患者タイプ	
19	250	CX	O	N		00149	Visit Number 来院回数	
20	50	FC	O	N	Y	00150	Financial Class 財務クラス	
21	2	IS	O	N		00151	Charge Price Indicator 有償価格標識	
22	2	IS	O	N		00152	Courtesy Code 優待コード	
23	2	IS	O	N		00153	Credit Rating 信用格付け	
24	2	IS	O	N	Y	00154	Contract Code 契約コード	
25	8	DT	O	N	Y	00155	Contract Effective Date 契約発効日	
26	12	NM	O	N	Y	00156	Contract Amount 契約金額	
27	3	NM	O	N	Y	00157	Contract Period 契約期間	
28	2	IS	O	N		00158	Interest Code 利息コード	
29	4	IS	O	N		00159	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード	
30	8	DT	O	N		00160	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付	
31	10	IS	O	N		00161	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード	
32	12	NM	O	N		00162	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額	
33	12	NM	O	N		00163	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額	
34	1	IS	O	N		00164	Delete Account Indicator 会計削除標識	
35	8	DT	O	N		00165	Delete Account Date 会計削除日付	
36	3	IS	O	N		00166	Discharge Disposition 退院処置	
37	47	DLD	O	N		00167	Discharged to Location 退院先	
38	250	CWE	O	N		00168	Diet Type 給食タイプ	
39	2	IS	O	N		00169	Servicing Facility サービス施設	
40	1	IS	B	N		00170	Bed Status ベッド状況	
41	2	IS	O	N		00171	Account Status 会計状況	
42	80	PL	O	N		00172	Pending Location 保留所在	
43	80	PL	O	N		00173	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在	
44	26	TS	O	O		00174	Admit Date/Time 入院日付/時刻	
45	26	TS	O	O	Y	00175	Discharge Date/Time 退院日付/時刻	

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
46	12	NM	O	N		00176	Current Patient Balance 患者の差引不足高	
47	12	NM	O	N		00177	Total Charges 合計金額	
48	12	NM	O	N		00178	Total Adjustments 合計調整金額	
49	12	NM	O	N		00179	Total Payments 合計支払金額	
50	250	CX	O	N		00180	Alternate Visit ID 代替来院ID	
51	1	IS	O	N		01226	Visit Indicator 来院識別	
52	250	XCN	B	N	Y	01224	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PV1 フィールド定義

PV1-1 Set ID - PV1 セットIDーPV1 (SI) 00131

定義:トランザクションを一意的に識別する番号。

PV1-2 Patient Class 患者クラス (IS) 00132

定義:サイトにおいて患者を分類するためにシステムで使われる共通のフィールド。入院、外来などの区別を表現する。

使用者定義表 0004 -Patient class 患者クラス

Value	Description
E	Emergency 救急
I	Inpatient 入院患者
O	Outpatient 外来患者
P	Preadmit 予備入院
R	Recurring Patient 再来院患者
B	Obstetrics 産科
C	Commercial Account 商用アカウント
N	Not Applicable 適応無し
U	Unknown 不明

注:「I」「O」以外を使用する場合は両者間にて調整の上、用いる。

PV1-3 Assigned Patient Location 患者所在場所 (PL) 00133

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

Subcomponents for Facility(HD):<Namespace ID(IS)> & <Universal ID(ST)> & <Universal ID Type(ID)>

Subcomponents for Comprehensive Location Identifier(EI):<Entity Identifier(ST)> & <Namespace ID(IS)> & <Universal ID(ST)> & <Universal ID Type(ID)>

Subcomponents for Assigning Authority for Location(HD):<Namespace ID(IS)> & <Universal ID(ST)> & <Universal ID

Type(ID)>

定義: 病院、診療科、病棟、病室、ベッド等を表現する。新規の場所は最初に割り当てた場所、あるいは患者の移動先の場所である。トランザクションの取消しや、退院の場合、現在の部屋番号をこのフィールドで表現する。

注: PLデータ型のフィールドは値の第5の成分(ベッド状況)が存在する場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

患者所在場所のデータ型はPL型なので、

入院の場合、

<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^N

外来の場合

<科コード>^C

と設定することにし、person location type の指定を必須とした。person location type には、C: 診療科、D: 部門、N: 病棟を設定する。

入院患者の場合、日本では診療科と病棟のいずれも重要な情報のため、両者を格納したかったが、PL型の使用方法として、HL7原文の定義に忠実に従うこととした。なお、診療科は入外共にPV1-10やORC-17で表現する。ORC-17は入力者の所属を示すが、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱うことにした。診療科の設定は必須である。

これまで患者所在(場所)と診療科が混在して用いられてきたが、明確に区別する。患者所在はPV1-3やPV1-6で、入力場所はORC-13で示す。

PV1-4 Admission Type 入院タイプ (IS) 00134

定義: 患者が入院していたか入院予定の状況を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-5 Pre-admit Number 仮入院番号 (CX) 00135

定義: 患者の仮入院番号を一意的に識別する。システムでは、仮入院番号を請求番号として患者が入院した後も使用し続けることもできる。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-6 Prior Patient Location 患者の以前の所在 (PL) 00136

定義: 新患であればここはNULLである。患者が転院されていれば、それは以前の患者所在を含んでいる。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-7 Attending Doctor 主治医 (XCN) 00137

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Family Name(FN):<Surname(ST)>^<Own Surname Prefix(ST)>^<Own Surname(ST)>^<Surname Prefix From Partner/Spouse(ST)>^<Surname From Partner/Spouse(ST)>

Subcomponents for Assigning Authority(HD):<Namespace ID(IS)>^<Universal ID(ST)>^<Universal ID Type(ID)>

Subcomponents for Assigning Facility(HD):<Namespace ID(IS)>^<Universal ID(ST)>^<Universal ID Type(ID)>

Subcomponents for Name Context(CWE):<Identifier(ST)>^<Text(ST)>^<Name of Coding System(ID)>^<Alternate Identifier(ST)>^<Alternate Text(ST)>^<Name of Alternate Coding System(ID)>^<Coding System Version ID(ST)>^<Alternate Coding System ID(ST)>^<Original Text(ST)>

Subcomponents for Name Validity Range(DR):<Range Start Date/Time(TS)>^<Range End Date/Time(TS)>

Subcomponents for Range Start Date/Time(TS):<Time(DTM)>^<Degree of Precision(ID)>

Subcomponents for Range End Date/Time(TS):<Time(DTM)>^<Degree of Precision(ID)>

Subcomponents for Effective Date(TS):<Time(DTM)>^<Degree of Precision(ID)>

Subcomponents for Expiration Date(TS):<Time(DTM)>^<Degree of Precision(ID)>

Subcomponents for Assigning Jurisdiction(CWE):<Identifier(ST)>^<Text(ST)>^<Name of Coding System(ID)>^<Alternate Identifier(ST)>^<Alternate Text(ST)>^<Name of Alternate Coding System(ID)>^<Coding System Version ID(ST)>^<Alternate Coding System ID(ST)>^<Original Text(ST)>

Subcomponents for Assigning Agency or Department(CWE):<Identifier(ST)>^<Text(ST)>^<Name of Coding System(ID)>^<Alternate Identifier(ST)>^<Alternate Text(ST)>^<Name of Alternate Coding

System(ID)>&<Coding System Version ID(ST)>&<Alternate Coding System ID(ST)>&<Original Text(ST)>

定義:このフィールドでは主治医の情報を示す。同じ医師に対して名前とIDを複数送ることができる。このフィールドの繰り返しは複数の主治医を示すことには使われない。繰り返しの最初には、法的な名前を送らなければならない。法的な名前を送らない場合は、反復セパレータを最初に送らなければならない。導入施設との合意により、IDと名前のどちらかは空欄とすることができる。

PV1-8 Referring Doctor 紹介医師 (XCN) 00138

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:このフィールドでは紹介医師の情報を示す。同じ医師に対して名前とIDを複数送ることができる。このフィールドの繰り返しは複数の紹介医師を示すことには使われない。繰り返しの最初には、法的な名前を送らなければならない。法的な名前を送らない場合は、反復セパレータを最初に送らなければならない。導入施設との合意により、IDと名前のどちらかは空欄とすることができる。

PV1-9 Consulting Doctor コンサルティング医師 (XCN) 00139

定義:このフィールドは、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。代わりにROLセグメントでコンサルティング医師を示すことを推奨する。このフィールドの繰り返しは複数のコンサルティング医師を示すことに用いられる。導入施設との合意により、IDと名前のどちらかは空欄とすることができる。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-10 Hospital Service 病院サービス (IS) 00140

定義:日本では、診療科コードと扱う。

PV1-11 Temporary Location 一時的な所在 (PL) 00141

定義:割り当てられた所在以外の所在であって、一時的に必要なもの(たとえばOR)。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-12 Pre-admit Test Indicator 仮入院検査標識 (IS) 00142

定義:患者は入院するために仮入院検査を受けねばならないことを示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-13 Re-admission Indicator 再入院標識 (IS) 00143

定義:患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院はR、そうでなければNullである。再発患者の来院も示すことができる。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-14 Admit Source 入院元 (IS) 00144

定義:患者がどこに入院していたかを示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-15 Ambulatory Status 外来の状況 (IS) 00145

定義:恒久的あるいは一時的な障害状況を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-16 VIP Indicator VIP 標識 (IS) 00146

定義:VIPの種類を定義する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-17 Admitting Doctor 入院時医師 (XCN) 00147

定義:入院時の医師の情報、複数の名前やIDのこともある。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-18 Patient Type 患者タイプ (IS) 00148

定義:患者のタイプを示すサイト特定の値。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

- PV1-19 Visit Number 来院回数 (CX) 00149
定義:患者の各来院に割り当てられた一意的な数。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-20 Financial Class 財務クラス (FC) 00150
定義:診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-21 Charge Price Indicator 有償価格標識 (IS) 00151
定義:部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-22 Courtesy Code 優待コード (IS) 00152
定義:患者が特定の優待を受けるかどうか示すコード。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-23 Credit Rating 信用格付け (IS) 00153
定義:過去の信用経験を決定する使用者定義コード。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-24 Contract Code 契約コード (IS) 00154
定義:会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-25 Contract Effective Date 契約有効日付 (DT) 00155
定義:契約が始まる日付。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-26 Contract Amount 契約金額 (NM) 00156
定義:保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-27 Contract Period 契約期間 (NM) 00157
定義:使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-28 Interest Code 利息コード (IS) 00158
定義:任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-29 Transfer To Bad Debt Code 不良負債変換コード (IS) 00159
定義:会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-30 Transfer To Bad Debt Date 不良負債変換日付 (DT) 00160
定義:会計が不良負債状況に転換された日付。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-31 Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード (IS) 00161
定義:会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-32 Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額 (NM) 00162
定義:不良負債に転換された金額。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-33 Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額 (NM) 00163
定義:会計上の保証人から回収された金額。
【処方】通常、本フィールドは使用しない。

- PV1-34 Delete Account Indicator 会計削除標識 (IS) 00164**
 定義: 会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-35 Delete Account Date 会計削除日付 (DT) 00165**
 定義: 会計がファイルから削除された日付。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-36 Discharge Disposition 退院処置 (IS) 00166**
 定義: 退院(つまり、帰宅; 期限満了; など)の時の患者の処置。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-37 Discharged To Location 退院先 (IS) 00167**
 定義: 患者の退院先の施設を示す。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-38 Diet Type 給食タイプ (IS) 00168**
 定義: 患者用の特別の給食タイプを示す。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-39 Servicing Facility サービス施設 (IS) 00169**
 定義: 複数の施設環境の中でこの来院が関係している施設を示す。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-40 Bed Status ベッド状況 (IS) 00170**
 定義: 下位互換のためののみ使用。PLデータ型の第5成分状況を使用すること。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-41 Account Status 会計状況 (IS) 00171**
 定義: 会計状況
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-42 Pending Location 保留所在 (PL) 00172**
 定義: 患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設IDおよびベッド状況を示す。第5の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-43 Prior Temporary Location 以前の一時的な所在 (PL) 00173**
 定義: このフィールドは(手術部または放射線部門のような)患者の一時的な場所を示す時に使用される。入院患者の場合、最初の成分はナースステーションであるかもしれないし、非入院患者の場合はクリニック、診療部門、自宅のこともある。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-44 Admit Date/Time 入院日時 (TS) 00174**
 Components: <Time(DTM)> & <Degree of Precision(ID)>
 定義: 入院の日付/時刻。
- PV1-45 Discharge Date/Time 退院日時 (TS) 00175**
 Components: <Time(DTM)> & <Degree of Precision(ID)>
 定義: 退院の日付/時刻。
- PV1-46 Current Patient Balance 患者の差引不足額 (NM) 00176**
 定義: 来院患者の現在の差引不足額。
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-47 Total Charges 合計有償金額 (NM) 00177**
 定義: 来院有償金額の合計
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。
- PV1-48 Total Adjustments 合計調整金額 (NM) 00178**
 定義: 来院調整金額の合計
 【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-49 Total Payments 合計支払金額 (NM) 00179

定義: 来院の支払い金額の合計

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-50 Alternate Visit ID 代替来院 ID (CX) 00180

定義: 来院ID番号。このIDは入院時に患者を一意的に識別するために使用される。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-51 Visit Indicator 来院標識 (IS) 01226

定義: データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

PV1-52 Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者 (XCN) 01224

定義: 他のヘルスケア供給者を示す。(例えば看護婦, 付き添い, 補助医師)複数の関係者に送ることができる。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

7.8 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント

IN1セグメントは、正確な患者への保険適用と保険請求書作成を行うために必要な、保険適用範囲情報を示す。

IN1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		00426	Set ID - IN1 セットID	
2	250	CWE	R	R		00368	Insurance Plan ID 保険プランID	
3	250	CX	R	R	Y	00428	Insurance Company ID 保険会社 ID	
4	250	XON	O	O	Y	00429	Insurance Company Name 保険会社名	
5	250	XAD	O	N	Y	00430	Insurance Company Address 保険会社住所	
6	250	XPN	O	N	Y	00431	Insurance Co Contact Person 保険会社連絡者	
7	250	XTN	O	N	Y	00432	Insurance Co Phone Number 保険会社電話番号	
8	12	ST	O	N		00433	Group Number グループ番号	
9	250	XON	O	N	Y	00434	Group Name グループ名	
10	250	CX	O	O	Y	00435	Insured's Group Emp ID 被保険者グループ雇用者 ID	
11	250	XON	O	O	Y	00436	Insured's Group Emp Name 被保険者グループ雇用者名	
12	8	DT	O	O		00437	Plan Effective Date プラン有効日時	
13	8	DT	O	O		00438	Plan Expiration Date プラン失効日付	
14	239	AUI	O	N		00439	Authorization Information 認定情報	
15	3	IS	O	O		00440	Plan Type プラントタイプ	
16	250	XPN	O	N	Y	00441	Name Of Insured 被保険者名	
17	250	CWE	O	O		00442	Insured's Relationship To Patient 患者と保険者の関係	
18	26	TS	O	O		00443	Insured's Date Of Birth 保険者生年月日	
19	250	XAD	O	O	Y	00444	Insured's Address 保険者住所	
20	2	IS	O	N		00445	Assignment Of Benefits 給付金の配分	
21	2	IS	O	O		00446	Coordination Of Benefits 給付金の調整	
22	2	ST	O	N		00447	Coord Of Ben. Priority 給付金優先順位の調整	
23	1	ID	O	N		00448	Notice Of Admission Flag 入会フラッグの通知	
24	8	DT	O	N		00449	Notice Of Admission Date 入会日付の通知	
25	1	ID	O	N		00450	Report Of Eligibility Flag 有資格フラッグの報告	
26	8	DT	O	N		00451	Report Of Eligibility Date 有資格報告日付	
27	2	IS	O	N		00452	Release Information Code 情報コードの解放	
28	15	ST	O	N		00453	Pre-Admit Cert (PAC) 入会前認定書	
29	26	TS	O	O		00454	Verification Date/Time 確認日付/時刻	
30	250	XCN	O	N	Y	00455	Verification By 確認者	
31	2	IS	O	N		00456	Type Of Agreement Code 同意コードのタイプ	
32	2	IS	O	N		00457	Billing Status 請求状況	
33	4	NM	O	N		00458	Lifetime Reserve Days 予約残日数	
34	4	NM	O	N		00459	Delay Before L.R. Day 予約残日数前遅延	
35	8	IS	O	N		00460	Company Plan Code 会社プランコード	
36	15	ST	O	N		00461	Policy Number ポリシー番号	
37	12	CP	O	N		00462	Policy Deductible 免責ポリシー	
38	12	CP	B	N		00463	Policy Limit - Amount 限度額ポリシー	
39	4	NM	O	N		00464	Policy Limit - Days 限度日数のポリシー	
40	12	CP	B	N		00465	Room Rate - Semi-Private 部屋代 - 半個室	
41	12	CP	B	N		00466	Room Rate - Private 部屋代 - 個室	
42	250	CWE	O	N		00467	Insured's Employment Status 被保険者雇用状態	
43	1	IS	O	N		00468	Insured's Administrative Sex 被保険者の管理上の性別	
44	250	XAD	O	N	Y	00469	Insured's Employer Address 保険者の従業員の住所	
45	2	ST	O	N		00470	Verification Status 確認状態	
46	8	IS	O	N		00471	Prior Insurance Plan ID 前保険プラン	
47	3	IS	O	N		01227	Coverage Type 保険範囲タイプ	
48	2	IS	O	N		00753	Handicap ハンディキャップ	
49	250	CX	O	N	Y	01230	Insured's ID Number 被保険者ID番号	
50	1	IS	O	N		01854	Signature Code 署名コード	
51	8	DT	O	N		01855	Signature Code Date 署名コード日	
52	250	ST	O	N		01899	Insured's Birth Place 被保険者出生地	
53	2	IS	O	N		01852	VIP Indicator VIP識別	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)

X - not used with this trigger event
 B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
 Japan(JAHIS仕様での取り扱い)
 R - required
 O - optional
 C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
 X - not used with this trigger event
 B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
 N - not used usually. Use only on the site
 Repetition
 N - no repetition
 Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
 (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

IN1フィールド定義

IN1-1 Set ID – IN1 セットID (SI) 00426

定義:セットID(セット連番)。… セグメント内での通し番号。
 最初の本セグメントが発生したときに、シーケンス番号を1とする。
 続いて2という具合に番号付けを行う。

IN1-2 Insurance Plan ID 保険プランID(CWE)00427

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^
 <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID
 (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは保険プランの一意の識別子である。

【処方】本規約では、保険種別として利用する。第1成分にはJHSD表 0001- 保険種別にリストされている保険種別をセットする。MI, PE に関しては、法別番号(2桁の保険種別)がある場合、法別番号を使用する。

JHSD表 0001 Insurance Plan ID 保険種別

Value	Insurance Plan	Description
C0	MI	国民健康保険
注	MI	医保保険
D0	PE	地方公費
注	PE	公費保険
LI	LI	労災
TI	TI	自賠
PS	PS	公務員災害
PI	PI	公害医療
OE	OE	OE: 自費(保険なし)
OT	OT	その他
注記	医保保険のValue値は厚生労働省の定める社会保険制度の法別番号を設定する 公費保険のValue値は厚生労働省の定める公費負担医療制度の法別番号を設定する	

IN1-3 Insurance Company ID 保険会社 ID (CX) 00428

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority
 (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^
 <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department
 (CWE)>

定義:このフィールドは保険会社が一意になる識別子である。

【処方】本規約では、保険者の番号及び保険者の識別として利用する。保険分類により、保険者の番号及び保険者の識別を記述する。第1成分にセットする番号の詳細を以下の表に記述する。

表 IN1-3 保険者IDの詳細

Insurance Plan	保険分類	保険者の番号 及び 保険者の識別
MI	医保保険または国民健康保険	保険(者)番号
PE	公費保険	公費負担者番号
PE	地方公費	地方独自記載の公費負担者番号
LI	労災	府県+所轄+管轄番号 (労働保険番号に含まれる)
TI	自賠	推奨値なし
PS	公務員災害	推奨値なし
PI	公害医療	推奨値なし
OE	自費	推奨値なし
OT	その他	推奨値なし

国民健康保険等、検証番号は存在するが、全国協会健保等ないものもあるので、検証番号を含んだ形で、第1成分<ID Number (ST)>に、セットする。また、自賠や公務員災害、公害医療、自費、その他など、推奨値が存在しないため、第1成分に値をセットできないものもある。第1成分に値がセットできない場合は「」をセットする。第2成分以下は使用しない。

IN1-4 Insurance company name 保険会社名称 (XON) 00429

Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (ID)> ^ <ID Number (ID)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility ID (HD)>

定義:このフィールドは、保険会社の名前である。

【処方】本規約では、保険者の名称として利用する。第1成分にセットする番号の詳細を以下の表に記述する。

表IN1-4 保険者名称の詳細

Insurance Plan	保険分類	保険者の番号 及び 保険者の識別
MI	医保保険または国民健康保険	保険(者)名
PE	公費保険または地方公費	公費名称(都道府県名含む)
LI	労災	労働基準局 or 労働基準監督署 の名称
TI	自賠	自賠責保険会社 の名称
PS	公務員災害	公務員災害補償基金 の名称
PI	公害医療	公害を認定した市 又は 県 の名称
OE	自費	「自費」と記述する
OT	その他	保険に関する名称を記入する

IN1-5 Insurance company address 保険会社の住所 (XAD) 00430

定義:このフィールドは保険会社の住所である。同一の保険会社にたいする複数の住所はこのフィールドで送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-6 Insurance co contact person 保険会社連絡者 (XPN) 00431

定義:このフィールドは保険会社で連絡する人の名前である。同一連絡者の複数の名前はこのフィールドで送ることが出来る。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-7 Insurance co phone number 保険会社電話番号 (XTN) 00432

定義:このフィールドは保険会社の電話番号である。同一の保険会社に対する複数の電話番号はこのフィールドで送ることが出来る。主電話番号が第1反復フィールドにあると仮定している。主電話番号を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-8 Group number グループ番号 (ST) 00433

定義:このフィールドは被保険会社のグループ番号である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-9 Group name グループ名 (XON) 00434

定義:このフィールドは被保険者のグループ名である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-10 Insured's group emp. ID 被保険者グループ雇用者ID (CX) 00435

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義:このフィールドは被保険者にたいするグループ雇用者IDを保持している。

【処方】本規約では、保険分類により、被保険者の番号を記述する。第1成分にセットする番号の詳細を以下の表に記述する。

表IN1-10 被保険者番号の詳細

Insurance Plan	保険分類	被保険者の番号
MI	医保保険または国民健康保険	被保険者 番号
PE	公費保険または地方公費	公費受給者番号 or 地方独自記載の公費負担者番号
LI	労災	労働保険番号 府県+所轄+管轄番号+基幹番号(管轄単位の会社番号)+枝番
TI	自賠	自賠責保険証番号
PS	公務員災害	公務災害認定番号
PI	公害医療	公害認定証 番号
OE	自費	推奨値なし
OT	その他	推奨値なし

IN1-11 Insured's group emp name 被保険者グループ雇用者名 (XON) 00436

Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

定義:このフィールドは被雇用者保険を提供する雇用者の名前である。

【処方】本規約では、保険分類により、被保険者の記号を記述する。第1成分にセットする番号の詳細を以下の表に記述する。

表IN1-11 被保険者記号の詳細

Insurance Plan	保険分類	被保険者の記号
MI	医保保険または国民健康保険	被保険者 記号、39後期:不要
PE	公費保険または地方公費	推奨値なし
LI	労災	推奨値なし
TI	自賠	推奨値なし
PS	公務員災害	推奨値なし
PI	公害医療	公害認定証 記号
OE	自費	推奨値なし
OT	その他	推奨値なし

IN1-12 Plan effective date プラン有効日時 (DT) 00437

定義:このフィールドは保険が有効になる日時である。

【処方】本規約では、保険有効開始日として利用する。

IN1-13 Plan expiration date プラン失効日付 (DT) 00438

定義:このフィールドは保険がカバーできるあるいは責務がある最終日時である。

【処方】本規約では、保険有効終了日として利用する。

IN1-14 Authorization information 認定情報 (CM) 00439

定義:保険のタイプに基づいて、ある保険補償範囲は、全ての救急外入院前と救急入院の48時間以内に得られる認定番号かコードを必要とする。保険請求書はこの番号なしでは許されない。日付と認定元はこのフィールドのコンポーネントである。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-15 Plan type プランタイプ (IS) 00440

定義:このフィールドは、たとえばメディケア、メディケイド、ブルークロス、HMOなどの種々のプランタイプを識別するコーディング構造を含む。

【処方】本規約では、様々な保険のプランタイプを特定するコードとして利用する。

- ・保険種別により、使用できるコードは限定される。
- ・PE(公費)の場合、公費の意味が県単位で異なる場合があるので必須とする。
第1成分にセットする番号の詳細を、JHSD表 0002 に示す。

JHSD表 0002 保険のプランタイプ

保険種別	保険のプランタイプ
02(船員保険) 32(地方公務員共済:船員学校)	OJ:職務上 LS:下船後3ヶ月以内 CC:通勤災害
PE(公費保険または地方公費)	01 ~ 47 県番号 (JIS-X-401)
MI(医保保険または国民健康保険)	K1:継続 K2:任意継続 K3:特別療養

※ 継続の説明

- 継続 保険資格喪失時の疾病を健康保険の資格喪失後も継続して給付を受けられる制度
- 任意継続 保険資格喪失後20日以内の疾病任意継続申請者)
- 特別療養 健康保険の被保険者が資格喪失後に日雇特例被保険者
(日々雇い入れられる者や季節的業務に雇い入れられる者等の日雇労働者)又はその被扶養者になった場合に、資格喪失時に病気やけが等で病院にかかっていた時に、6ヶ月を限度に健康保険の資格喪失後も継続して給付を受けられる制度)

IN1-16 Name of insured 被保険者名 (XPN) 00441

定義:このフィールドは被保険者の名前である。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。被保険者として複数の名前をこのフィールドで送ることができる。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-17 Insured's relationship to patient 保険契約者名との関係(続柄) (CWE)00442

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは患者と被保険者との関係を示す。

被保険者:SEL:本人、EME:従業員(医師保険の従業員本人:給付率が異なるため区別)

被扶養者:EXF:家族、SPO:配偶者、CHD:子供 等の記述も可とする。HL7表0063の表に従う。

保険種別:MIで使用。その他は、被保険者本人なので、省略可能(公費・労災等: SEL)

HL7表 0063 被保険者との関係

続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味
SEL	本人	DEP	障害で扶養されている	EXF	拡大家族 (家族と記述)	ASC	仲間
SPO	配偶者	WRD	保護観察	SIB	兄弟姉妹	EMC	緊急連絡先
DOM	共同生活者	PAR	親	BRO	兄弟	OWN	所有者
CHD	子供	MTH	母親	SIS	姉妹	TRA	調教師

続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味	続柄	意味
GCH	孫	FTH	父親	FND	友人	MGR	管理者
NCH	本来の子供	CGV	介護者	OAD	その他の成人	NON	なし
SCH	継子	GRD	保護者	EME	従業員	UNK	不明
FCH	里子	GRP	祖父母	EMR	雇い主	OTH	その他

IN1-18 Insured's date of birth 保険者生年月日 (TS) 00443

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは被保険者の生年月日を示す

IN1-19 Insured's address 被保険者住所 (XAD) 00444

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

定義:このフィールドは被保険者個人の住所である。被保険者は保険ポリシーにより保証されている個人に医療サービスを提供する保険会社と同意した個人である。同一の個人に複数の住所をこのフィールドで送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

IN1-20 Assignment of benefits 給付金の配分 (IS) 00445

定義:このフィールドは医療提供者と保険金の割り当てを同意した被保険者かどうか示している。もしそうであるなら、保険は直接提供者に支払われる。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-21 Coordination of benefits 給付金の調整 (IS) 00446

定義:このフィールドは、他の保険ポリシーと連携した補償かどうか、また、独立した補償範囲と患者に対して有効である他の保険と関係がない給付金の支払いかどうかを示している。

【処方】本規約では、給付割合として利用する。日本の健康保険医療では、法別番号で、優先順と給付割合は決まっているので、ここに、保険の給付割合を割り当てる。現在、入院・外来で、給付率は同じなので区別をしない。給付割合は、%表現の 2桁とする。但し、100%給付は、MX とする。

JHSD表 0003 Applying allocation 給付割合

給付割合	意 味
0 ~ 99	%表現
MX	100%給付

IN1-22 Coord of ben priority 給付金優先順位の調整 (ST) 00447

定義:もし保険が他の保険プランと調整することがある場合、このフィールドは優先順位を指定する。1、2、3のような値である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-23 Notice of admission flag 入会フラッグの通知 (ID) 00448

定義:このフィールドは保険会社が医療提供者から、保険の使用確認通知を必要とするかどうかを示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-24 Notice of admission date 入会日付の通知 (DT) 00449

定義:通知が必要であるなら、このフィールドはそれが送られた日付を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-25 Report of eligibility flag 有資格フラッグの報告 (ID) 00450

定義:このフィールドは、当該保険保有者が、その患者が給付金の資格があることを示す記録を送るか、あるいはこれらの給付金かどうかを識別するかどうかを示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-26 Report of eligibility date 資格報告日付 (DT) 00451

定義:このフィールドは資格報告 (ROE: Report of eligibility) を受け取ったかどうか、と受け取った日付

とともに指定する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-27 Release information code 情報コードの解放 (IS) 00452

定義:このフィールドは医療提供者が患者の情報を公開できるか、どんな情報を公開できるかを示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-28 Pre-admit cert. 入会前認定書 (ST) 00453

定義:このフィールドは入会前認定コードを示す。もし入会が入会前に認定されなければ、これは入会に関するコードである。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-29 Verification date/time 確認日付/時刻 (TS) 00454

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは医療提供者が患者に指示された給付があることを確認した日時を示す。

【処方】本規約では、保険の最終更新(確認)日とする。

IN1-30 Verification by 確認者 (XCN) 00455

定義:給付を確認した個人を示す。同じ被保険者に対して複数の名前を送ることが出来る。法的名称が第1反復フィールドにあると仮定している。法的名称を送らないときは、反復セパレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-31 Type of agreement code – Policy limit – amount 同意コードのタイプ (IS) 00456

定義:このフィールドは保険プランをさらに定義するために使用する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-32 Billing status 請求状況 (IS) 00457

定義:このフィールドは特定の保険が請求されたかどうか、もしそうであるなら請求書のタイプを示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-33 Lifetime reserve days 予約残日数 (NM) 00458

定義:このフィールドは保険ポリシーに基づいて提供あるいはカバーされているサービスに対する残りの日数である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-34 Delay before L.R. day 予約残日数前遅延 (NM) 00459

定義:このフィールドは全予約日数以前の遅延を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-35 Company plan code 会社プランコード (IS) 00460

定義:このフィールドはIN1-3 – Insurance Company IDのデータをより定義するためのオプション情報である。推奨値としてUser-defined Table 0042 – Company Plan Codeを参照のこと。この表は保険会社を一意に識別するために使用するコードである。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-36 Policy number ポリシー番号 (ST) 00461

定義:このフィールドは当該患者のプランを一意に識別するための被保険者の個々のポリシー番号である。保険の特定のタイプとして、Medicaid、Medicare、Champus(例、IN2-6 – Medicare Health Ins Card Number, IN2-8 – Medicaid Case Number, IN2-10 – Military ID Number)のためのIN2セグメントの特殊なフィールドも存在する。しかし、本フィールド(IN1-36 – Policy Number)はたとえその患者の保険番号がこれらの他のフィールドの一つに送られたときにも記入されることを推奨する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-37 Policy deductible 免責ポリシー (CP) 00462

定義:このフィールドは保証人(例 控除額、超過額など)の責任である保険プランによって特化されている総額を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-38 Policy limit – amount 限度額ポリシー(CP) 00463

定義:このフィールドは支払われる保険ポリシーの最大総額である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-39 Policy limit – days 限度日数ポリシー(NM) 00464

定義:このフィールドは保険ポリシーがカバーする最大日数を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-40 Room rate – semi-private 部屋代 – 半個室 (CP) 00465

定義:このフィールドはV2.3のような旧版との互換性を確保するためのみである。このフィールドの代わりにIN2-28 – Room Coverage Type/Amountを使用すること。旧版との互換性を取るときは、IN1-40 – Room Rate Semi-Privateはポリシーがカバーする平均部屋代である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-41 Room rate – private 部屋代 – 個室 (CP) 00466

定義:このフィールドはV2.3のような旧版との互換性を確保するためのみである。このフィールドの代わりにIN2-28 – Room Coverage Type/Amountを使用すること。旧版との互換性を取るときは、IN1-41 – Room Rate – Privateはポリシーでカバーする最大個室費用である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-42 Insured's employment status 被保険者雇用状態 (CWE) 00467

定義:このフィールドは被保険者の雇用状態を維持する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-43 Insured's sex 被保険者の管理上の性別 (IS) 00468

定義:このフィールドは被保険者の性別を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-44 Insured's employer's address 保険者の従業員の住所 (XAD) 00469

定義:このフィールドは被保険者の従業員の雇用者住所である。同一の雇用者に複数の住所を送ることが出来る。郵便住所が第1反復フィールドにあると仮定している。郵便住所を送らないときは、反復セレータを第1反復フィールドとして最初に送らなければならない。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-45 Verification status 確認状態 (ST) 00470

定義:このフィールドは保険保有者と当該患者との関係状態を示す

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-46 Prior insurance plan ID 前保険プラン (IS) 00471

定義:このフィールドは保険がカバーしているタイプの識別の符号化構造か請求システムの目的でカバーされているサービスのタイプの種類を示す。たとえば、医師請求システムは医師/専門家チャージをカバーするプランにたいする保険情報のみを受け取りたいという場合である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-47 Coverage type 保険範囲タイプ (IS) 01227

定義:このフィールドは保険がカバーしているタイプの識別の符号化構造か請求システムの目的でカバーされているサービスのタイプの種類を示す。たとえば、医師請求システムは医師/専門家チャージをカバーするプランにたいする保険情報のみを受け取りたいという場合である。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-48 Handicap code ハンディキャップ (IS) 00753

定義:このフィールドは被保険者の障害を記述するためのコードである。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-49 Insured's ID number 被保険者ID番号 (CX) 01230

定義:このデータエレメントは被保険者に対する医療機関識別子である。割り当て機関とIDタイプコードは全てのCXデータタイプとして強く推奨される。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-50 Signature Code 署名コード (IS) 01854

定義:本フィールドは患者/引受人の承認署名がいかに関与したか、そしていかにプロバイザによって維持されたかを示すためのコードを示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-51 Signature Code Date 署名コード日 (DT) 01855

定義:患者引受人の承認署名が得られた日付

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-52 Insured's Birth Place 被保険者出生地 (ST) 01899

定義:被保険者の出生地の記述を示す。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

IN1-53 VIP Indicator VIP識別 (IS) 01852

定義:本フィールドは保険者のためのVIPのタイプを識別する。

【処方】通常、本フィールドは使用しない。

7.9 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報

AL1セグメントは、多様なタイプの患者アレルギー情報を含んでいる。ほとんどのこの情報は使用者定義表による。各AL1セグメントは単一の患者アレルギーについて記述する。

AL1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RPI/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	R	R		00203	Set ID – AL1 セットID－AL1	
2	250	CWE	O	O		00204	Allergy Typeアレルギータイプ	
3	250	CWE	R	R		00205	Allergy Code/Mnemonic/Descriptionコード/記憶法/記述	
4	250	CWE	O	O		00206	Allergy Severityアレルギー重症度	
5	15	ST	O	O		00207	Allergy Reactionアレルギー反応	
6	8	DT	B	B		00208	Identification Date認識日付	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

AL1 フィールド定義

AL1-1 Set ID – AL1 セット ID－AL1 (SI) 00203

定義: 患者の記録中のアレルギー記述の追加・変更・削除のために個々のトランザクションを一意的に識別する数字である。セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。

反復を識別するための一意識別子。初期値1、増分1。

AL1-2 Allergy Type アレルギータイプ (CWE) 00204

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 一般的なアレルギーカテゴリー(薬、食物、花粉など)を示す。推奨値は使用者定義表0127アレルギータイプを参照のこと。

使用者定義表 0127 - Allergy Type アレルギータイプ

Value	Description
DA	Drug Allergy 薬剤アレルギー
FA	Food Allergy 食事アレルギー
MA	Miscellaneous Allergy 様々なアレルギー
MC	Miscellaneous Contraindication 様々な禁忌
EA	Environmental Allergy 環境アレルギー
AA	Animal Allergy 動物アレルギー
PA	Plant Allergy 植物アレルギー
LA	Pollen Allergy 花粉アレルギー

AL1-3 Allergy Code/Mnemonic/Description アレルギーコード/記憶法/記述 (CWE) 00205

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:一意的に、特別のアレルギーを識別する。この要素は、ある外部から標準のコード化するシステム(それは識別されねばならない)に一致させる、あるいは、局所的な記述、主に文章の記述あるいは記憶法の記述によっても良い。

【処方】本規約では、アレルギーコードとして、下記例のように薬剤アレルギーの場合は HOT、それ以外の場合は JLAC10 を使用することを推奨する。

AL1|1|FA^食物アレルギー^HL70127|5A1002411023006^ソバ^JC10|...

AL1|2|LA^花粉アレルギー^HL70127|5A1002216023023^スギ^JC10|...

AL1|3|EA^環境アレルギー^HL70127|5A1102700023023^ハウスダスト^JC10|...

AL1|4|DA^薬剤アレルギー^HL70127|106824501^アリナミン^HOT|...

AL1-4 Allergy Severity アレルギー重症度 (CWE) 00206

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:アレルギー(重度、中程度、軽度など)の一般的な重症度を示す。推奨値は使用者定義表0128アレルギー重症度を参照のこと。

使用者定義表 0128 - Allergy Severity アレルギー重症度

Value	Description
SV	Severe 重度
MO	Moderate 中程度
MI	Mild 軽度
U	Unknown 不明

AL1-5 Allergy Reaction アレルギー反応 (ST) 00207

定義:特定のアレルギー反応(震え、くしゃみ、発疹など)を短く文章で記述したもの。

AL1-6 Identification Date 認識日付(DT) 00208

定義:このフィールドはHL7 V2.4以降、旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。アレルギーが識別された日付

7.10 ORC - Order Common Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、すべてのオーダーに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORCは文字列ORC|OK|<依頼者オーダー番号>|<実施者オーダー番号>|<CR>のように単純になる。

詳細内容がオーダーのために必要ないならば、オーダー詳細セグメントは省略してよい。たとえば、オーダーを保留するためには、ORCで次のフィールドを付けて伝達する(HDの値付きのORC-1ーオーダー制御、ORC-2ー依頼者オーダー番号、およびORC-3実施者オーダー番号)。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。原則として、ORCとOBRに重複する情報は、OBRセグメントのものを優先する。

ORC使用注記

a)依頼者オーダーグループ

本規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダーは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b)重複フィールド

ORCは、すべてのオーダー(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一樣に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント(たとえばOBR、RXO)では重複する。たとえば、ORC-2依頼者オーダー番号は、OBR-2依頼者オーダー番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現われない値はオーダー詳細セグメントに現われねばならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c)親/子 - キャンセル、保留、中断

親オーダーのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。たとえば

- 1)EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダーを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
- 2)EKGアプリケーションは3つの子オーダーを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
- 3)元の親オーダーを取消す要求が受取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
- 4)残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

ORC属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		00215	Order Control オーダー制御	
2	22	EI	C	R		00216	Placer Order Number 依頼者オーダー番号	
3	22	EI	C	C		00217	Filler Order Number 実施者オーダー番号	
4	22	EI	O	R		00218	Placer Group Number 依頼者グループ番号	
5	2	ID	O	O		00219	Order Status オーダー状態	
6	1	ID	O	O		00220	Response Flag 応答フラグ	
7	200	TQ	B	B	Y	00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	
8	200	EIP	O	O		00222	Parent 親	
9	26	TS	O	O		00223	Date/Time of Transaction トランザクション日時	
10	250	XCN	O	O	Y	00224	Entered By 入力者	
11	250	XCN	O	O	Y	00225	Verified By 検証者	
12	250	XCN	O	O	Y	00226	Ordering Provider 依頼者	
13	80	PL	O	O		00227	Enterer's Location 入力場所	
14	250	XTN	O	O	Y/2	00228	Call Back Phone Numberコールバック用電話番号	
15	26	TS	O	O		00229	Order Effective Date/Time オーダー有効日時	
16	250	CWE	O	O		00230	Order Control Code Reason オーダー制御コード	

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
17	250	CWE	O	O		00231	ドの理由 Entering Organization 入力組織	
18	250	CWE	O	O		00232	Entering Device 入力装置	
19	250	XCN	O	O	Y	00233	Action By 発動者	
20	250	CWE	O	O		01310	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者注意コード	
21	250	XON	O	O	Y	01311	Ordering Facility Name オーダ施設名	
22	250	XAD	O	O	Y	01312	Ordering Facility Address オーダ施設住所	
23	250	XTN	O	O	Y	01313	Ordering Facility Phone Number オーダ施設 電話番号	
24	250	XAD	O	O	Y	01314	Ordering Provider Address オーダ実施者住 所	
25	250	CWE	O	O		01473	Order Status Modifier オーダ状態変更	
26	60	CWE	C	C		01641	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 拡張利用用注意上書き理由	
27	26	TS	O	O		01642	Filler's Expected Availability Date/Time 実施 者可能日時	
28	250	CWE	O	O		00615	Confidentiality Code 信頼性モード	
29	250	CWE	O	O		01643	Order Type オーダタイプ	
30	250	CNE	O	O		01644	Enterer Authorization Mode 入力者許可モー ド	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

ORCフィールド定義

ORC-1 Order Control オーダ制御 (ID) 00215

定義: オーダセグメントの機能を決定する。取りうる値はHL7表0119 -オーダ制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリーに入る。

a) 事象要求

事象を発動するために、『NW』(新規オーダ)とか『CA』(オーダ要求のキャンセル)のようなコードが使用される。

b) 事象応答承認

事象要求に返答するために、『OK』(オーダが受け入れられた)とか『CR』(要求されたようにオーダが取り消された)のようなコードが使用される。

c) 事象通知

事象が発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』(オーダが取り消された)とか『OD』(オーダが中断された)のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

事象要求コードは、事象を発動することを意図する。事象応答コードは、事象を要求したアプリケーションに応答することを意図する。事象通知コードは、他のアプリケーションに例えば、次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションを取りそれを他のアプリケーション、例えば、依頼者が知る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、事象要求、事象応答、および事象通知型トリガーイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダ制御コード(例 CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダ制御コード(例 CA)は依頼者のみが生成することができる。

HL7表 0119 -Order Control Code オーダ制御コード

Value	Description	Comment
AF	Order/service refill request approval 補充オーダ要求承認	Placer Applications. AFは依頼者が補充または補充の量を許可するRFへの応答である。
CA	Cancel order/service request オーダキャンセル要求	Placer Applications. オーダキャンセルは、以前にオーダしたサービスを実施者に行わせないようにする依頼者からの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によって行われる、例えば、CRのORC-1オーダ制御値)を持つメッセージである。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダキャンセル完了、UC-オーダキャンセル不能。
CH	Child order/service 子オーダ	Placer or Filler Applications. PAとあわせて使用-親オーダコントロールコード。詳細はPAオーダコントロールコードを参照。
CN	Combined result 統合検査結果	Filler Applications. 統合検査結果コードは、複数のオーダに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態は、放射線科医が通常複数のオーダで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときの放射線科レポートに見られる。例えば、放射線科医はリウマチ性の関節炎患者のひざと手のフィルムに対してひとつのレポートを生成することがある。 その結果報告のときに、最後のORCを除くREはすべてCNコードに置換される、結果は最後のORCとそのOBRに続く。以下3つのORCに対する単一のレポート例は下記の通りである。 MSH ...<cr> PID ...<cr> ORC CN ...<cr> OBR 1 A4461XA^HIS 81641^RAD 73666^Bilateral Feet ...<cr> ORC CN ...<cr> OBR 2 A4461XB^HIS 81642^RAD 73642^Bilateral Hand PA ...<cr> ORC RE ...<cr> OBR 3 A4461XC^HIS 81643^RAD 73916^Bilateral Knees ...<cr> OBX 1 CE 73916&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 2 CE 73642&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 3 FT 73642&GDT 1 Description ...<cr>
CR	Canceled as requested 要求通りオーダキャンセル完了	Filler Applications. キャンセル(依頼者アプリケーションからのCA)の要求が成功したことを示す実施者アプリケーションからの応答
DC	Discontinue order/service request オーダ中断要求	Placer Applications. 実施者アプリケーションに前もって要求したサービスを中断するための依頼者アプリケーションからの要求。中断とキャンセルの違いとして、中断はオーダ/サービスおよび今後起こるすべての動作に影響、キャンセルは現在のアクションだけに影響する。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダキャンセル完了、UC-オーダキャンセル不能
DE	Data errors データエラー	Placer or Filler Applications.
DF	Order/service refill request denied 補充オーダ要求拒否	Placer Applications. 補充許可(RF)に対する実施者アプリケーションの応答、DFは依頼者がオーダの補充を許可しないことを意味する。ORC-16オーダ制御コードの理由は要求拒否の理由を意味する。提案された値は以下を含む: AA Patient unknown to the provider 患者は依頼者、提供者、医療機関(provider)に知られていない。 AB Patient never under provider care 依頼者の看護下の患者ではない

Value	Description	Comment
		AC Patient no longer under provider care 依頼者の長期看護下の患者ではない AD Patient has requested refill too soon 患者はすぐに補充を要請した AE Medication never prescribed for the patient 患者の薬剤は一度も処方されていない。 AF Patient should contact provider first 患者は最初に依頼者に連絡しなければならない AG Refill not appropriate 補充は適していない。 注:これらの値はNCPDP SCRIPT応答セグメントコードリストに由来する。 資料の複製は©National Council for Prescription Drug Programs, Inc. (米国規格協会認定の機関)1988, 1992, 2002 NCPDPの承諾を得てください。
DR	Discontinued as requested 要求通りオーダ中断	Filler Applications. 実施者は、中断(依頼者アプリケーションからのDC)の要求に応じて、オーダ/サービスを中断する。
FU	Order/service refilled, unsolicited 補充オーダ済、未承諾	Filler Applications. FUは依頼者に実施者が患者要求のオーダに対して補充を発行したことを通知する。
HD	Hold order request オーダ保留要求	Placer Applications. 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダキャンセル完了、UC-オーダキャンセル不能。
HR	On hold as requested 要求通りオーダ保留	Filler Applications.
LI	Link order/service to patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールへのリンクオーダ	Placer or Filler Applications. 本規約では取り扱わない。 詳細はHL7 Ver.2.5 第12章:患者看護を参照。
NA	Number assigned 割り当て番号	Placer Applications. オーダ番号の要求に関与する3つの状態がある(ORC-2-依頼者オーダ番号またはORC-3-実施者オーダ番号)。 (1) 実施者アプリケーションが、例えば、HISのような中央型アプリケーションからORC-3-実施者オーダ番号を要求する必要があるとき。 SN-送信オーダ番号コードは、実施者が集中アプリケーション(下記の表で“other”と呼ばれている)例えば、中央HISからORC-3-実施者オーダ番号を要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1-オーダ制御値を含んでいるORMメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3-実施者オーダ番号とORC-2-依頼者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。 オーダ(SN型)メッセージは、以下2つの方法のいずれかで応答される: a) OKのORC-1-オーダ制御値を持つオーダアプリケーションACKメッセージ。未承諾オーダメッセージは、割り当てられた実際の数値を提供するためにNAのORC-1-オーダ制御値NAのORCを含み、後で送ることができる。 b) 以下に記載のNAのORC-1-オーダ制御値を含むオーダアプリケーションACKメッセージ NA-コードを割り当てられた番号は“other”アプリケーションが最近割り当てられた実施者オーダ番号を実施者アプリケーションに知らせることを許可する。NAのORC-1-オーダ制御値は、ORC-2-依頼者オーダ番号(SN値を持つORCから)および最近割り当てられた実施者オーダ番号を含む。

Value	Description	Comment															
		<table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>placer order number^filler applicat□on ID</td><td>Null</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer order number^filler application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table> Note: Both the placer order number and the filler order number have the filler's application ID 注: 依頼者オーダー番号と実施者オーダー番号は実施者のアプリケーションIDを持ちます。				Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	placer order number^filler applicat□on ID	Null	NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number														
SN	filler application	placer order number^filler applicat□on ID	Null														
NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID														
		(2) 実施者アプリケーションはその他のアプリケーション(例: オーダエントリー)からORC-2依頼者オーダー番号を要求する必要があるとき SN - 送信オーダー番号コードは、実施者アプリケーションがORC-2-依頼者オーダー番号をその他のアプリケーション(下記表で“other”と記載)から要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1-オーダー制御値を含みオーダーメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2-依頼者オーダー番号とORC-3-実施者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。 オーダー(SN型)メッセージは、2つの方法によって応答される。 a) OKのORC-1-オーダー制御値を含むオーダーアプリケーションACKメッセージ。修正オーダーメッセージは、割り当てられた実際の番号を提供するためNAのORC-1-オーダー制御値を含んでいて、後で送られる。 b) 以下で述べるNAのORC-1-オーダー制御値を含むオーダーACKメッセージ。 NA - コードを割り当てられた番号は、“other”アプリケーションが新しく割り当てられたORC-2-依頼者オーダー番号を実施者アプリケーションに知らせることを許す。ORCはNAのORC-1-オーダー制御値、新しく割り当てられたORC-2-依頼者オーダー番号、およびORC-3-実施者オーダー番号(SN値を持つORCから)を含む。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>Null</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer or filler number^placer application ID</td><td>filler order□ number^filler application ID</td></tr></table> Note: The new ORC-2-placer order number has the placer's application ID 注: 新しいORC-2依頼者のオーダー番号は依頼者のアプリケーションIDを持ちます。				Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	Null	filler order number^filler application ID	NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order□ number^filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number														
SN	filler application	Null	filler order number^filler application ID														
NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order□ number^filler application ID														
		3) アプリケーション(実施者アプリケーションではない)が、新規オーダーのORC-3実施者オーダー番号を割り当てたい場合。 NW - オーダを作成するアプリケーション(実施者アプリケーションではない)が、新規オーダーの実施者オーダー番号を割り当てたいとき。 または RO - (RPに続くRO)この場合、“other”のアプリケーションがORC3-実施者オーダー番号を完成する。このときには実施者オーダー番号の2番目の項目として、実施者アプリケーションIDを使用する。															

Value	Description	Comment																					
		<table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>NW o□ RO</td><td>Other application to filler application</td><td>placer order number^placer application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table>	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	NW o□ RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID													
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																				
NW o□ RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID																				
NW	New order/service 新規オーダー	Placer Applications. NAのコメントを参照－番号は割り当て																					
OC	Order/service canceled オーダーキャンセル完了	Filler Applications.																					
OD	Order/service discontinued オーダー中断	Filler Applications.																					
OE	Order/service released オーダー開放	Filler Applications.																					
OF	Order/service refilled as requested 要求通り補充オーダー済	Filler Applications. OFは依頼者システムからの補充要求に直接応答する。																					
OH	Order/service held オーダー保留	Filler Applications.																					
OK	Order/service accepted & OK オーダー受付&OK	Filler Applications. NAのコメントを参照－番号割り当て。																					
OP	Notification of order for outside dispense 外部調剤へのオーダー通知	Placer Applications. これらオーダー制御コードはオーダーが情報提供目的とされるシステム間でオーダーを通信するために使用される。例えば、通信システムの企業外部のベンダによってオーダーは実行される。通信システムでは、臨床継続性のためのオーダーに関連した情報の維持が必要であるが、オーダーされたサービスを実行するアクションを意図するものではない。 OPはNWの情報提供バージョンを表す。PYはROだけの情報提供バージョンといえる。NWとROの表注記はOPとPYそれぞれにも適用できる。																					
OR	Released as requested 要求通りオーダー開放	Filler Applications.																					
PA	Parent order/service 親オーダー	Filler Applications. 親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードは親(オリジナルオーダー)を変えることなく「親オーダー」から「子オーダー」を作成可能である。PAのORC-1－オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントはCHのORC-1－オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6－応答フラグの値によってOBRセグメントが存在しなければならないかどうか決定される。 例えば、細菌培養で2つの細菌を生成しそれに対応する感受性試験の結果がでたと仮定して、そのときセグメントの順序は、次の通りである <table><tr><th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr><tr><td>ORC</td><td>PA</td><td>1st parent ORC</td></tr><tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>1st child ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>1st child order</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>2nd child ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd child order</td></tr></table> 親－子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者あるいは依頼者が子オーダーを生成するかどうか、または、後者の場合は依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子オーダーを作成する場合、その通常の手続きに従い、依頼者番号を割り当て	Segment	Order Control	Comment	ORC	PA	1st parent ORC	ORC	CH	1st child ORC	OBR		1st child order				ORC	CH	2nd child ORC	OBR		2nd child order
Segment	Order Control	Comment																					
ORC	PA	1st parent ORC																					
ORC	CH	1st child ORC																					
OBR		1st child order																					
ORC	CH	2nd child ORC																					
OBR		2nd child order																					

Value	Description	Comment																																																			
		る。実施者が子オーダーを作成する場合、そこで2つの可能性がある:それぞれの子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者オーダー番号(placer order number.)を割り当てよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施者アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者オーダー番号を作成する。 ORCセグメントのORC-8ー親に子オーダーが送られるときは、親の実施者番号(実施者から開始するならば)および親の依頼者番号(実施者、あるいは依頼者から開始するならば)が割り振られる。 親子のメカニズムは、例えば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダーを発行するといったように、親オーダーを拡張するために使用される。																																																			
PR	Previous Results with new order/service 以前の結果	Placer Applications. PRIはORCのオーダーに組み込まれた過去の検査を含むORU構造の一部だと示す。 少なくとも2つの主要なユースケースは、過去の検査の完了結果をそのオーダーとともに転送されるために必要とする。 - 診断検査室が結果(HIV等)の確認あるいは検査(遺伝子検査等)を行う設備がない等で他の検査機関に検査を問い合わせる。 - 診断検査室が検査報告に含まれる診断コメントの自動生成のための知識ベースに結果を送る。																																																			
PY	Notification of replacement order for outside dispense 外部調剤へのオーダー修正通知	Placer Applications. OP(外部調剤へのオーダー通知)のコメントを参照。																																																			
RE	Observations/Performed Service to follow 検査付帯情報	Placer or Filler Applications. 検査付帯情報コードはオーダーとともに患者固有情報を送るのに使用される。オーダー詳細セグメント(例えば、OBR)の後には1個またはそれ以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。オーダーとともに結果が送られる際は、サポートするためオーダーの直後に結果が次にくる。 次の例は、3個の処方オーダーのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MSH</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>PI□</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>NW</td><td>First new order</td></tr> <tr> <td>RXO</td><td></td><td>First order segment</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>NW</td><td>2nd new order</td></tr> <tr> <td>RXO</td><td></td><td>2nd order segment</td></tr> <tr> <td>[ORC</td><td>RE</td><td>Patient-specific observation, optional□ in V 2.2</td></tr> <tr> <td>OBR]</td><td></td><td>Observation OBR, optional in V 2□2</td></tr> <tr> <td>OBX</td><td></td><td>An observation segment</td></tr> <tr> <td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr> <td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr> <td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>NW</td><td>3rd order</td></tr> <tr> <td>RXO</td><td></td><td>3rd order segment</td></tr> </tbody> </table> HL7のこのバージョンにおいて、結果は1個あるいはそれ以上のOBXセグメントとしてオーダーとともに送ることができる。ただしORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。	Segment	Order Control	Comment	MSH			PI□			ORC	NW	First new order	RXO		First order segment				ORC	NW	2nd new order	RXO		2nd order segment	[ORC	RE	Patient-specific observation, optional□ in V 2.2	OBR]		Observation OBR, optional in V 2□2	OBX		An observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment				ORC	NW	3rd order	RXO		3rd order segment
Segment	Order Control	Comment																																																			
MSH																																																					
PI□																																																					
ORC	NW	First new order																																																			
RXO		First order segment																																																			
ORC	NW	2nd new order																																																			
RXO		2nd order segment																																																			
[ORC	RE	Patient-specific observation, optional□ in V 2.2																																																			
OBR]		Observation OBR, optional in V 2□2																																																			
OBX		An observation segment																																																			
OBX		Another observation segment																																																			
OBX		Another observation segment																																																			
OBX		Another observation segment																																																			
ORC	NW	3rd order																																																			
RXO		3rd order segment																																																			

Value	Description	Comment																																													
		検査情報はORCを使用せずにORUメッセージを用いて伝えることができる。 ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORCがORUメッセージに含まれていることを推奨する。 オーダ制御値REはオーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示すためにORMメッセージにおいてのみ要求される。REコードはORUメッセージでは必要ではない。なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。																																													
RF	Refill order/service request 補充オーダ要求	Placer or Filler Applications. RFは実施者または依頼者のどちらかによる要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求することができる。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求することができる。 標準的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる。実施者要求に関してはAF—補充オーダ要求承認、DF—補充オーダ要求拒否；依頼者要求には、RE—検査付帯情報、UF—補充不能																																													
RL	Release previous hold 前回保留オーダ開放	Placer Applications.																																													
RO	Replacement order 修正後オーダ	Placer or Filler Applications. オーダ修正依頼は以前に依頼された1個以上のオーダの置き換えである。 修正されたオーダはあたかも取り消されたオーダのように扱われる。依頼されたサービスが取り換えられるかどうか、いつ修正されるかは、現場独自で決定する。 オリジナルのオーダが元の状態を保つことをサイトが要求するならば、親／子オーダ制御コードを使用する。以下の場合には、オーダ修正コードを使用しない。 修正される各オーダにはRP(実施者に対するオーダ修正依頼)のORC-1—オーダ制御値またはRU(実施者によって作成された未承認オーダ修正)を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場での取り決め(local agreement)によって、ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、そのオリジナルのオーダ詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント(RPまたはRUを含む)の後には、RO(修正後オーダを示す)のORC-1—オーダ制御値を持つ、ORCセグメントが続かなければならない。現場での取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダ詳細セグメントが後に続いてよい。 例えば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダを3つの異なったオーダで修正されていたと仮定して、セグメントの順序は、次の通りになる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Comment□</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td><td>RU</td><td>1st replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RU</td><td>2nd replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr> </tbody> </table> ORC-6—応答フラグの値によってOBRセグメントが存在しなければならないかどうか	Seg	Order Control	Comment□	ORC	RU	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment				ORC	RU	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment				ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment				ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment				ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
Seg	Order Control	Comment□																																													
ORC	RU	1st replaced ORC																																													
OBR		1st replaced order's detail segment																																													
ORC	RU	2nd replaced ORC																																													
OBR		2nd replaced order's detail segment																																													
ORC	RO	1st replacement ORC																																													
OBR		1st replacement order's detail segment																																													
ORC	RO	2nd replacement ORC																																													
OBR		2nd replacement order's detail segment																																													
ORC	RO	3rd replacement ORC																																													
OBR		3rd replacement order's detail segment																																													

Value	Description	Comment																																	
		が決定される。 この修正方法はすべての修正可能なケースを扱う: 1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRP付き要求を送り実施者から依頼者への応答があるとする、2つのRU(未承認のオーダ修正)は2つのRQ(要求どおりオーダ修正)となる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td><td>RQ</td><td>1st replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RQ</td><td>2nd replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr> </tbody> </table> 修正オーダコードは実施者のアプリケーションによってオーダされたサービスの正確な取り換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダ制御コードによって使用される。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は修正型(RPまたはRU)によって決定される。 RU型(すなわち実施者からの未承諾オーダ修正)のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値を含む最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求)のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用されるとき、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 オーダ制御値ROのORC。 任意のOBRセグメント(任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる)。 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 NTEセグメントは、OBR(あるいはいかなるオーダ詳細セグメント)後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。	Seg	Order Control	Comment	ORC	RQ	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment	ORC	RQ	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment	ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment	ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment	ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
Seg	Order Control	Comment																																	
ORC	RQ	1st replaced ORC																																	
OBR		1st replaced order's detail segment																																	
ORC	RQ	2nd replaced ORC																																	
OBR		2nd replaced order's detail segment																																	
ORC	RO	1st replacement ORC																																	
OBR		1st replacement order's detail segment																																	
ORC	RO	2nd replacement ORC																																	
OBR		2nd replacement order's detail segment																																	
ORC	RO	3rd replacement ORC																																	
OBR		3rd replacement order's detail segment																																	
RP	Order/service replace request オーダ修正要求	Placer Applications. オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためには、RO-修正後オーダのコメントを参照																																	

Value	Description	Comment
		オーダ修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダを1個あるいはそれ以上の新規オーダと取り換えることを許可する。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は修正型(RPまたはRU)によって決定される。 RU型(すなわち実施者からの未承諾オーダ修正)のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求)のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用されるとき、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント(任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる) c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR(あるいはいかなるオーダ詳細セグメント)後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
RQ	Replaced as requested 要求通りオーダ修正	Filler Applications. オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためには、RO-修正後オーダのコメントを参照。 オーダ修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダを1個あるいはそれ以上の新規オーダと修正することを許可する。 修正後オーダコードは実施者アプリケーションによってオーダされたサービスの正確な修正を指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダ制御コードによって使用される。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は修正型(RPまたはRU)によって決定される。 RU型(すなわち実施者からの未承諾オーダ修正)のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求)のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用されるとき、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント(任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる) c) オプションで、検査結果セグメント(OBX)が後に続く

Value	Description	Comment
		d) NTEセグメントは、OBR(あるいはいかなるオーダ詳細セグメント)後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
RR	Request received 要求受付	Placer or Filler Applications. 旧バージョンとの互換性のため。現在のバージョンにおいてはACK(確認応答)の受諾に等しい。要求受信コードはオーダメッセージが受信されて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダはより正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。
RU	Replaced unsolicited 未承諾オーダ修正	Filler Applications. オーダ修正依頼は以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためにはRO-修正後オーダのコメントを参照。 未承諾オーダ修正コードは依頼者アプリケーションから要求されることなしに実施者アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は取り換え型(RPまたはRU)によって決定される。 RU型(すなわち実施者からの未承諾オーダ修正)のときには、実施者オーダ番号は実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号はRUのオーダ制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求)のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 取り換えシーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用されるとき、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント(任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる) c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR(あるいはいかなるオーダ詳細セグメント)後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
SC	Status changed 状態変更	Placer or Filler Applications.
SN	Send order/service number 送信オーダ番号	Placer Applications. NAに関してはコメントを参照—番号割り当て
SR	Response to send order/service status request 送信オーダ状態要求応答	Filler Applications.
SS	Send order/service status request 送信オーダ状態要求	Placer Applications.
UA	Unable to accept order/service 受付オーダキャンセル	Filler Applications. オーダ受付不可コードが使用されるのは新しいオーダを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては患者がアレルギーを起こす薬剤の処方を要求したこと、またはそのオーダを実施するための機器が利用できないこと(例えば、オーダが記入できないなど)が考えられる。これはMSAセグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。
UC	Unable to cancel オーダキャンセル不能	Filler Applications. オーダキャンセル不能コードは依頼されたサービスが実施者によって取り消せない時点にあるとき、あるいは現場の取り決めて実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用はORC-6-応答フラグに従う。
UD	Unable to discontinue オーダ中断不能	Filler Applications.

Value	Description	Comment
UF	Unable to refill 補充不能	Filler Applications. UFは実施者システムがRF-許可補充要求/サービス要求に対して否定応答で、受信アプリケーションが補充要求を完了できないことを示す
UH	Unable to put on hold オーダー保留不能	Filler Applications.
UM	Unable to replace オーダー修正不能	Filler Applications.
UN	Unlink order/service from patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールからのリンクオーダー解除	Placer or Filler Applications. 詳細は、第12章：患者看護を参照。
UR	Unable to release オーダー開放不能	Filler Applications.
UX	Unable to change オーダー変更不能	Filler Applications.
XO	Change order/service request オーダー変更要求	Placer Applications.
XR	Changed as requested 要求通りオーダー変更	Filler Applications.
XX	Order/service changed unsolicited. オーダー変更(未承諾)	Filler Applications.
MC	Miscellaneous Charge – not associated with an order 雑費-オーダーとは関連なし	applies to DFT^P03^DFT_P03 and DFT^P11^DFT_P11 DFT^P03^DFT_P03 とDFT^P11^DFT_P11を適用。

注記:HL7 Ver.2.5の当該表は、オーダー制御コードに対応するメッセージの記述が不十分であるため、HL7 Ver.2.7の当該表を採用した。

【処方】本規約においては、オーダーのキャンセルおよび修正は、処方せん単位で行うものとし、薬剤単位でのキャンセルおよび修正は行わない。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: 依頼アプリケーションのオーダー番号

第1成分は、個々のオーダー(たとえば、(OBR))を識別する15文字までの文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダーの中から一意に一つのオーダーを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する6つの文字までの文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、共通の区切り文字によって分離される。

このように一意ではなく、真の依頼者がいくらかあいまいな3つの状態がある。

a) RU取替えに続く、ROのORC-1-オーダー制御値の場合；

b) CH(子オーダー)のORC-1-オーダー制御値の場合；

c) SN(番号を送ること)のORC-1-オーダー制御値の場合；

ORC-2-依頼者オーダー番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダー制御の下の表の注を参照すること。

ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り

当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて述べた)。

ORC-2-依頼者オーダ番号は、OBR-2-依頼者オーダ番号と同じある。依頼者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダ番号およびOBR-2-依頼者オーダ番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORUメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(たとえば、数量/タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

【処方】 すべてのオーダ(処方せん単位)を一意に識別できるオーダ番号。オーダの特定に必要な情報として必須とする。

ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: 実施アプリケーションに関連したオーダ番号。その第1成分は、オーダ詳述セグメントを識別する15文字の文字列である(例 OBR)。それは、オーダ実施(受け取る)アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例 臨床検査)の他のオーダから、そのオーダ(オーダ詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別せねばならない。一意性は長時間にわたって持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDは、6文字までの文字列であり、アプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダ番号の第2成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

実施者オーダ番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダとその関連した検査を一意に識別する。たとえば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダ番号と依頼者オーダ番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダの第三者アプリケーションが、オーダの状態を修正する(たとえば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にOMGメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダ制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む。いずれもそれ自身が割り当てることではない。

ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

Components: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。

第1成分は、15文字までの文字列であって、これがすべての他のオーダグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダ番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダ番号の第2成分と同じである。

【処方】本規約では、オーダ番号、すべてのRPをオーダ内で一意に識別するため、番号(RP番号)を、アンダースコアを区切り文字として連結したテキストを必ずセットする。オーダ番号はORC-2と同じ値とする。RP番号は2桁とすることを推奨する。RPの特定に必要な情報として必須とする。

例: オーダ番号が123456789012345、RP番号が02の場合

|123456789012345_02|

ORC-5 Order Status オーダ状態 (ID) 00219

定義: オーダの状態。取りうる値についてはHL7表0038-オーダ状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合に、オーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理する事ではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7表 0038に示すオーダ状態は、HL7表 0119-オーダ制御と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1-オーダ制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

HL7表 0038 -Order status オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 部分的完了
CA	Order was canceled オーダが取り消された
CM	Order is completed オーダが完了した
DC	Order was discontinued オーダが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold オーダが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダが取替えられた
SC	In process, scheduled 進行中、予定

ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義:これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。取りうる値についてはHL7表0121-応答フラグを参照のこと。

HL7表 0121 -Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSAセグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

Components: <Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time(TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text(TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <OccurrenceDuration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

Subcomponents for Quantity (CQ): <Quantity (NM)> & <Units (CWE)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

Subcomponents for Interval (RI): <Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval(ST)>

Subcomponents for Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision(ID)>

Subcomponents for Order Sequencing (OSD): <Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID(IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <MaximumNumber of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number:Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Occurrence Duration (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: (このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている)

ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

Components: <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

Subcomponents for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: 親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。第1成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。

第2成分は、親オーダの実施者オーダ番号を含んでいる。

依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。

ORC-9 Date/Time Of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このトランザクションがオーダアプリケーションに入る日時。新規オーダを作成するメッセージの場合は、これは、オーダが入れられた日付および時間である。

たとえば、キャンセルなどの他のメッセージの場合は、このトランザクションが送信アプリケーションに入る日時である。この日付と時間は、現在のトランザクションのためのもので、オリジナルのオーダへの訂正のための『取り換えた』時刻ではない。同様に、このセグメントのORC-10-入力者、ORC-11-検証者、およびORC-13-入力の場合も現在のトランザクションに関連づけられ、オリジナルのオーダに関連づけてはいない。

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の所属氏名。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。

要求をアプリケーションに実際に打鍵した操作者のID。

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN) 00226

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> &

<Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 要求を作成することに責任がある依頼する医師などの所属氏名。

要求を作成することに責任がある依頼する医師などID。

【処方】処方医のID・氏名(姓・名)を示す。姓・名の分離が難しい場合は<姓>フィールドを使用する。

ORC-13 Enterer's Location 入力者の場所 (PL) 00227

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

Subcomponents for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: 要求を入力した人の場所(たとえば、部門、階)。それは、部門のあるサブカテゴリーを含むためサイト固有のベースに基づいて使用されてもよい複合フィールドである。たとえば、ICU4は、4階のICUの場所の呼称とするなど。

ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228

Components: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義: 要求またはオーダに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。

ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS) 00229

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション(日時)が、ORC-15-オーダ [訳注:原文はORC-16-オーダとなっているが、明らかな間違いのため修正した]有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORCおよびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。

ORC-9-トランザクション 日時がORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORCおよびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になるよう計画される。

有効ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならばMSH-7-メッセージと等しいと仮定される。

ORC-15-オーダ有効日時(同じORCセグメントのオーダ制御コードイベントのために)が、ORC-7-数量/タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダ有効日時が優先する。一例としてORCイベントが実施者への連続オーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時がORC-7-数量/タイミング終了日時の前にあるならば、オーダ有効日時が優先する。ORCの中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある;プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある。子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CWE) 00230

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: オーダ制御コード(HL7表0119)によって述べたオーダイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(たとえば、RXO、ORO、OBR)の後のNTEは、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダ制御コード理由の目的には、そのオーダイベントの理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御がNWであるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、たとえば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。

良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(およびコード、必要とするならば)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CWE) 00231

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織

入力者の所属(CWE型)なので、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱う。

【処方】本規約では、依頼科のコードと名称をセットする。

ORC-18 Entering Device 入力装置識別 (CWE) 00232

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: オーダを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子

ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding

System (ID)> <Coding System Version ID (ST)> <Alternate Coding System Version ID (ST)> <Original Text (ST)>
 Subcomponents for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> <Text (ST)> <Name of Coding System (ID)> <Alternate Identifier (ST)> <Alternate Text (ST)> <Name of Alternate Coding System (ID)> <Coding System Version ID (ST)> <Alternate Coding System Version ID (ST)> <Original Text (ST)>
 Subcomponents for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> <Text (ST)> <Name of Coding System (ID)> <Alternate Identifier (ST)> <Alternate Text (ST)> <Name of Alternate Coding System (ID)> <Coding System Version ID (ST)> <Alternate Coding System Version ID (ST)> <Original Text (ST)>

定義: 対応するオーダ制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードがCA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

ORC-20 Advanced beneficiary notice code 受益者注意コード (CWE) 01310

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは患者もしくは患者の責任で保険外のサービスに対して費用の支払うことを保証していない状態を示す。この要素は、HCFAの条件を満たす為に導入された。

参照: 使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 事前保険金受給通知コード

使用者定義表 0339 -Advanced beneficiary notice code 事前保険金受給通知コード

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは医学の必要性がある サービスは医学の必要性がある
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者は支 払いの義務が告知され、支払に同意している
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者は 支払いを要求し、請求書が payer に送られるように依頼している
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 受益者注意はサインされていない

ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311

Components: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> <Universal ID (ST)> <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> <Universal ID (ST)> <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは、オーダの発行者施設を記述する

ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312

Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)>

Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> <Street Name (ST)> <Dwelling Number (ST)>

Subcomponents for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、オーダの発行者施設の住所を記述する

- ORC-23 Ordering facility phone number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313
Components: [NNN] [(999)]999-9999 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Phone Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)>

定義:このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する

- ORC-24 Ordering provider address オーダ提供者住所 (XAD) 01314
Components: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type. <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)>
Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>
Subcomponents for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
Note subcomponent contains sub-subcomponents
Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、オーダの医療提供者住所を記述する

- ORC-25 Order status modifier オーダ状態変更 (CWE) 01473
Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、ORC-5 オーダ状態の変更、または、再生を記述する。定義されたオーダ状態コードの追加のレベル特性、もしくは追加の情報を提供する為に使われる。このオーダ状態はHL7により定義されたものとは異なり、APにより状態コードを任意に設定できる。データタイプはCWEである。

使用規則:このフィールドはORC-5 状態が指定されていれば 使用される。

- ORC-26 Order status modifier 事前保険金受給通知上書き理由 (CWE) 01641
Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、患者が受益者注意コードにサインしない理由を含む。理由はコード化されるか或いは自由なテキスト形式で入力される。

条件:このフィールドはORC-20 受益者注意コードの値が、通知にサインされていない場合に要求される。
例えば、ORC-20 が使用者定義表 0339—受益者注意コードに3 或いは4 の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値は入力されている場合、追加の資格或いは説明のための情報が正しい値として認められる。

- ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642
Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義:このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方せんが受け取り可能或いは研究結果が可能となる場合に記述する。

- ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615
Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベル又或いは注意度に関する情報を含む。(例えば厳重注意、注意不要、注意など)。可能な値に関しては、HL7 表 0177 – 守秘コード を参照のこと。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場特殊な交渉に委ねる。

HL7表 0177 -Confidentiality Code 守秘コード

Value	Description
AID	AIDS patient 患者
EMP	Employee 従業員
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒 治療患者
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者
R	Restricted 限定
U	Usual control 通常管理
UWM	Unwed mother 未婚の母
V	Very restricted 非常に限定
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士

ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 01643

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、オーダが入院患者にセット、あるいは外来患者にセットされ実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、HL7 表 0482 – オーダタイプを参照のこと。

例:理学療法を続行するために発行されるオーダを取り消す前に、或いは地域薬局で処方せんをもらうオーダを取り消す前は、その患者は、PV1 によると入院患者だが、そのオーダ自体は外来患者に発行される場合。

HL7表 0482 -Order Type オーダタイプ

Value	Description
I	Inpatient Order 入院患者オーダ
O	Outpatient Order 外来患者オーダ

【処方】本規約では、オーダの入外区分をセットする。

ORC-30 Enterer Authorization Mode 承認モード入力 (CNE) 01644

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、オーダを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示している。推奨値に関しては、HL7 表 0483 承認モードを参照のこと。

HL7表 0483 -Authorization Mode 承認モード

Value	Description
EL	Electronic 電子的
EM	E-mail
FX	Fax
IP	In Person 本人自ら
MA	Mail
PA	Paper 紙
PH	Phone 電話
RE	Reflexive (Automated system) 再帰的 (自動化システム)
VC	Video-conference TV会議
VO	Voice 口頭

7.11 RXE - Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤／処置 コード化したオーダセグメント

RXE セグメントは、薬剤部門または治療部門アプリケーションのオーダのコード化について詳述する。このセグメントには、RXE-16-再調剤残数、RXE-17-調剤済薬品数または投与数、RXE-18-調剤済薬品数または投与数の最新日時、RXE-19-1日当たりの総投与量などの、投薬固有のオーダ状態フィールドも含まれる。

RXE属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	200	TQ	B	B		00221	Quantity/Timing 数量/タイミング	
2	250	CWE	R	R		00317	Give Code 与薬コード	
3	20	NM	R	R		00318	Give Amount – Minimum 与薬量-最小	
4	20	NM	O	O		00319	Give Amount – Maximum 与薬量-最大	
5	250	CWE	R	R		00320	Give Units 与薬単位	
6	250	CWE	O	O		00321	Give Dosage Form 与薬剤形	
7	250	CWE	O	O	Y	00298	Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示	
8	200	LA1	B	B		00299	Deliver-to Location 配布先	
9	1	ID	O	X		00322	Substitution Status 代替品状態	
10	20	NM	C	R		00323	Dispense Amount 調剤量	
11	250	CWE	C	R		00324	Dispense Units 調剤単位	
12	3	NM	O	O		00304	Number of Refills 同一薬発行数	
13	250	XCN	C	C	Y	00305	Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者のDEA番号	
14	250	XCN	O	O	Y	00306	Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療提供者の検証ID	
15	20	ST	C	C		00325	Prescription Number 処方せん番号	
16	20	NM	C	C		00326	Number of Refills Remaining 薬剤残数	
17	20	NM	C	C		00327	Number of Refills/Doses Dispensed 調剤済薬品数または投与数	
18	26	TS	C	C		00328	D/T of Most Recent Refill or Dose Dispensed 調剤済薬品数または投与数の最新日時	
19	10	CQ	C	C		00329	Total Daily Dose 1日あたりの総投与量	
20	1	ID	O	O		00307	Needs Human Review 人によるレビューの必要性	
21	250	CWE	O	O	Y	00330	Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	
22	20	ST	C	C		00331	Give Per (Time Unit) 時間あたりの与薬	
23	6	ST	O	O		00332	Give Rate Amount 与薬速度	
24	250	CWE	O	O		00333	Give Rate Units 与薬速度単位	
25	20	NM	O	O		01126	Give Strength 与薬力価	
26	250	CWE	O	O		01127	Give Strength Units 与薬力価単位	
27	250	CWE	O	O	Y	01128	Give Indication 与薬指示	
28	20	NM	O	O		01220	Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ	
29	250	CWE	O	O		01221	Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位	
30	2	ID	O	O		01222	Dispense Package Method 調剤パッケージ方法	
31	250	CWE	O	O	Y	01476	Supplementary Code 補足コード	
32	26	TS	O	O		01673	Original Order Date/Time 当初のオーダ日/時間	
33	5	NM	O	O		01674	Give Drug Strength Volume 与薬力価量	
34	250	CWE	O	O		01675	Give Drug Strength Volume Units 与薬力価量単位	
35	60	CWE	O	O		01676	Controlled Substance Schedule 薬物コントロールスケジュール	
36	1	ID	O	O		01677	Formulary Status 処方集ステータス	
37	60	CWE	O	O	Y	01678	Pharmaceutical Substance Alternative 薬物代替え	
38	250	CWE	O	O		01679	Pharmacy of Most Recent Fill 最新の与薬の薬剤部	
39	250	NM	O	O		01680	Initial Dispense Amount 最初の調剤量	
40	250	CWE	O	O		01681	Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部	
41	250	XAD	O	O		01682	Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部の住所	
42	80	PL	O	O		01683	Deliver-to Patient Location 患者への配達場所	
43	250	XAD	O	O		01684	Deliver-to Address 配達先住所	
44	1	ID	O	O		01685	Pharmacy Order Type 薬剤オーダタイプ	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
 - O - optional
 - C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
 - X - not used with this trigger event
 - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
 - N - not used usually. use only on the site
- Repetition
- N - no repetition
 - Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

RXEフィールド定義

RXE-1 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

Components: <Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

Subcomponents for Quantity (CQ): <Quantity (NM)> & <Units (CWE)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

Subcomponents for Interval (RI): <Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>

Subcomponents for Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

Subcomponents for Order Sequencing (OSD): <Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Occurrence Duration (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: “RXE—薬剤／処置コード化されたオーダセグメント”を参照して、このフィールド定義を適宜修正して、薬剤／処置オーダに必要なオーダ相互間の依存性をカバーすること。このフィールドは、薬剤または処置のタイミングの完全にコード化されたバージョンを表現するために、薬剤または非薬剤処置供給者によって使用される。それは、オリジナルのオーダで要求された数量/タイミングである。

RXE-2 Give Code 与薬コード (CWE) 00317

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは患者に与えることを依頼され、薬剤または処置提供者によってコード化された薬剤または処置を示す。RXE セグメントでは、この与薬コードは完全にコード化しなければならない。調剤フィールドは、患者に発行される単位、および量を定義する。(以下に示す RXE-10-調剤量および RXE-11-調剤単位を参照) これは、“与えられた”または投与された 1 回ごとの投与量と必ずしも相関関係があるわけではなく、オーダで指定できる場合と指定できない場合がある。例えば、オーダの“与薬”部分において、アンピシリンの 250mg 投与というフィールド情報を伝達する一方、オーダの調剤部分では、この外来患者処方せんの指定薬剤と同等の錠剤 30 錠を発行する、という要求を伝達することができる。

【処方】コード表としては、MEDIS-DCの医薬品HOTコードマスタを使用することを推奨する。この場合、コーディングシステム名には「HOT」を格納する。

RXE-3 Give Amount - Minimum 与薬量-最小 (NM) 00318

定義: このフィールドは薬剤または処置提供者によってコード化された依頼量を含んでいる。可変投与量オーダでは、これが最小依頼量である。固定投与量オーダでは、これがオーダの正確な量である。

注: このフィールドは数量/タイミングフィールドの第1成分の複製ではない。なぜなら、非薬剤部門/治療部門オーダでは、依頼量の倍数を指定するためにその成分を使用するからである。

言い換えれば、薬剤部門/治療部門オーダについては、数量/タイミングフィールドの数量成分が各サービス間隔で与えるべきものの数量を示す。したがって、RXオーダでは、その第1成分は常に1になる。したがって、オーダの実際の実行では、数量/タイミングフィールドの第1成分中の1の値は、常にこのフィールド(要求与薬量フィールド)で指定された量を1回の投薬することを意味する。

【処方】1回量が明確に表現されている場合は必ずセットする。外用用法時など明確に1回投与量が表現されていない場合は、「'''」をセットする。

例. 以下の場合、1回量をセットしない。

ジブラール軟膏 0.05%を1日4回左手に塗布

RXE-4 Give Amount - Maximum 与薬量-最大 (NM) 00319

定義: 可変投与量オーダでは、これが最大の依頼量である。固定投与量では、このフィールドは使用されない。

【処方】不均等投薬時、1回分投薬量の最大値を示す。

RXE-5 Give Units 与薬単位 (CWE) 00320

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、薬剤または処置(例えば呼吸治療)アプリケーションによってコード化される与薬量のための単位を含んでいる。

注: これらの単位は "複合量" でありうる。つまり、単位は、" 当たり " という単語を含む場合がある。例えば、キログラム当たりのマイクログラム(μ g/kg)は許容される値であり、それは体重1kg当たりのマイクログラムを意味する。

複合単位を含んでいる標準単位の表は必要である。そのような表が承認されるまで、それぞれの施設で使用者定義表が必要になる。

【処方】取りうる値は表7.11.1およびJHSP表0004に示すとおりとする。値がセットできない場合は「'''」をセットする。

表7.11.1 単位略号(MERIT-9 処方オーダ 表4)

Value	Description
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	管、アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本
KO	個
PCK	包
SHT	枚
VIL	バイアル

第3成分(name of coding system)には、'MR9P' を設定する。

例. TAB^錠^MR9P と表現

JHSP表0004 薬剤単位

Value	Description
PART	分
TIME	回
KIND	種
BOX	箱
ROLL	巻
PAIR	組
SET	セット
TEAR	裂
DIR	方向
TROC	トローチ
PILL	丸
BTLB	瓶(袋)
TUBE	管
SYRG	シリンジ
DOSE	回分
TEST	テスト分
GCYL	ガラス筒
RODT	桿錠
TTUN	万単位
FEET	フィート
DROP	滴
KG	Kg
CC	cc
MLV	mLV
CM	cm
CM2	cm2
M	m
MCCI	μ Ci
MCI	mCi
BKR	管(瓶)
PIPE	筒
GBQ	GBq
MGBQ	MBq
KBQ	KBq
KIT	キット
IUNT	国際単位
PAT	患者当り
ATM	気圧
CAN	缶
OPE	手術当り
VSL	容器
MLG	mL(g)
BLST	ブリスター
SHET	シート

第3成分 (name of coding system) には、'JHSP0004' を設定する。

RXE-6 Give Dosage Form 与薬剤形 (CWE) 00321

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 剤形は、投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。例えば、錠剤、カプセル、坐薬である。ある場合には、この情報が RXE-2-与薬コードの中の与薬コードによって意味される。与薬コードが剤形を指定しない場合、RXE-6-与薬剤形を使用する。

【処方】取りうる値は下表に示すとおりとする。

表7.11.2 剤形略号(MERIT-9 処方オーダー 表3)

Value	Description
TAB	錠剤
CAP	カプセル剤
PWD	散剤、ドライシロップ剤
SYR	シロップ剤
SUP	坐剤
LQD	液剤
OIT	軟膏、ゲル
CRM	クリーム
TPE	テープ、貼付剤
INJ	注射剤

第3成分(name of coding system)には、'MR9P' を設定する。

RXE-7 Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示 (CWE) 00298

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、患者あるいは投薬または治療の供給者へのオーダー発行者の指示を含んでいる。もしコード化されれば、ユーザに定義された表は使用されていなければならない。フリーテキストの場合(例えば、通常の点滴、混合、軟膏について記述する)、第2成分にテキストを置く。例えば、[this is a free text administration instruction]

RXE-8 Deliver-to Location 配布先 (CM) 00299

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Address (AD)>

Subcomponents for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Address (AD): <Street Address (ST)> & <Other Designation (ST)> & <City (ST)> & <State or Province (ST)> & <Zip or Postal Code (ST)> & <Country (ID)> & <Address Type (ID)> & <Other Geographic Designation (ST)>

定義:このフィールドは後ろ向きの互換性のためのみに維持されている。読者は RXE-40, RXE-41, RXE-42 及び RXE-43. を参照すること。第1成分は、薬剤または処置供給者が薬または治療装置(適用可能な場合に)を配布予定である、入院患者か外来患者のロケーションを含む。デフォルト値(NULL)は現在の患者登録場所である。施設固有の表。最初の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の最初の8つの成分と同じ形式を持っている。最終の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の第9成分を置換し、十分なアドレス仕様を表わす。

RXE-9 Substitution Status 代替品状態 (ID) 00322

定義:有効な値は HL7 表 0167 -代替品状態を参照のこと。代替品が作られており、オリジナルの要求と薬コード(RXO-1-要求と薬コード)の記録が必要な場合、オプションのRXOセグメントをRDEメッセージに含むことができる。

HL7表 0167 -Substitution Status 代替品状態

Value	Description	Comment
N	代替薬剤を調剤しなかった。これはデフォルト値(ヌル)と同等である。	
G	一般の代替薬剤を調剤した。	
T	治療用の代替薬剤を調剤した。	

Value	Description	Comment
0	製品選択は示されなかった。	
1	処方担当者が代替品を許可しない。	
2	許可された代替品－患者が要求した製品を調剤した。	
3	許可された代替品－薬剤師が選択した製品を調剤した。	
4	許可された代替品－在庫にない一般薬品。	
5	許可された代替品－一般として調剤された商標薬。	
7	許可されない代替品－法律によって命じられた商標薬。	
8	許可された代替品－市販されていない一般薬品。	

【処方】通常、このフィールドは使用しない。

RXE-10 Dispense Amount 調剤量 (NM) 00323

定義:このフィールドは、薬剤または処置供給者によってコード化された調剤量を含んでいる。

【処方】投薬量の総量を示す。このフィールドは、処方指示として必要なため必須とする。

RXE-11 Dispense Units 調剤単位 (CWE) 00324

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、薬剤または処置供給者によってコード化された、調剤量のための単位を含んでいる。単位が実際の調剤コードによって意味されない場合、このフィールドが要求される。これは、薬剤が調剤された実際の量を反映する、単純な単位でなければならない。それは複合単位を含んでいない。

【処方】取りうる値は表 7.11.1 単位略号および JHSP 表 0004 薬剤単位に示すとおりとする。このフィールドは、処方指示として必要なため必須とする。

RXE-12 Number of Refills 同一薬発行数 (NM) 00304

定義:このフィールドは、オリジナルの同一薬発行回数の合計を含んでいる。外来患者のみ。

RXE-13 Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者の DEA 番号 (XCN) 00305

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents
 Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
 Subcomponents for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、規制薬物(例えば麻薬)を要求した時に必要とされるので、条件付きのものとして定義される。

【処方】麻薬施用者の免許番号を示す。

RXE-14 Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療提供者の検証 ID (XCN) 00306

Components: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>
 Subcomponents for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>
 Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 Subcomponents for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
 Subcomponents for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents
 Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
 Subcomponents for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、薬剤師/治療供給者の検証 ID を含んでいる。もし薬剤または処置アプリケーション、あるいは施設の要求(またはオーダのサブグループ)によって要求があれば使用する。

RXE-15 Prescription Number 処方せん番号 (ST) 00325

定義:このフィールドは薬剤または処置アプリケーションによって割り当てられた処方せん番号を含んでいる。薬剤/処置実施者オーダ番号と一意性において同等である。いくつかの施設では、これが薬剤または処置システム(内部)の連続形式である。他の施設では、これが外部形式である。薬剤/処置メッセージの中で使用された時、これは RXE の中の要求されたフィールドである。

【処方】本規約では、処方せん番号をセットする。

RXE-16 Number of Refills Remaining 薬剤残数 (NM) 00326

定義:同一薬発行数の残数である。処方せんによって外来患者に調剤される場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者処置オーダには適切ではない。

RXE-17 Number of Refills/Doses Dispensed 調剤済薬品数または投与数 (NM) 00327

定義:同一薬発行数の残数である。処方せんによって外来患者に調剤される場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者治療部門オーダに適切ではない。

RXE-18 D/T of Most Recent Refill or Dose Dispensed 調剤済薬品数または投与数の最新日時 (TS) 00328

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:補充または調剤した、最近の日時。

RXE-19 Total Daily Dose 1日あたりの総投与量 (CQ) 00329

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、実際の調剤単位で表現されるような、個々の調合薬のための1日当たりの投与量合計を含んでいる。

【処方】調剤単位と1日量単位が異なる場合は、必ず第2成分をセットする。

RXE-20 Needs Human Review 人によるレビューの必要性 (ID) 00307

定義:このフィールドはHL7表0136(Yes/No指標)を使用する。値は、このフィールドにおいて次の意味を持っている:

Y Yes—警告が存在することを示す。コード化されたオーダを受け取るアプリケーションは、RXE-21-薬剤部門／処置部門による特別な調剤指示のテキストに注意を払うように、投薬または処置をする人に警告する必要がある。

N No—警告が存在しないことを示す。これはデフォルト値(NULL)と同等である。

【処方】通常、このフィールドは使用しない。

RXE-21 Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 (CWE) 00330

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、薬剤または処置提供者によって生成された、調剤／投薬オーダの供給者への特別指示を含む。

【処方】複数の指示がある場合、反復セパレータを使用して、複数記述することができる。取りうる値は、下表に示すとおりとする。

JHSP表 0001 依頼者の処方指示

Value	Description
1	緊急
2	保管
3	薬剤情報提供文書発行
4	健康手帳に記載し、かつ薬剤情報提供文書発行

第3成分(name of coding system)には、'JHSP0001'を設定する。

JHSP表 0002 調剤特別指示

Value	Description
A	別包指示
B	一包化指示
C	混合指示
D	粉碎指示

第3成分 (name of coding system) には、'JHSP0002'を設定する。

表7.11.3 処方区分(MERIT-9 処方オーダ 表7)

Value	Description
OHP	外来処方
OHI	院内処方
OHO	院外処方
IHP	入院処方
DCG	退院処方
ORD	定期処方
XTR	臨時処方

第3成分 (name of coding system) には、'MR9P'を設定する。

例. 外来院外処方の場合

OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P と表現

表7.11.4 依頼者の投薬指示(MERIT-9 処方オーダ)

ID	テキスト	内容
DVD	a-b-c-d	a,b,c,dは不均等投薬時の投与量をあらわす 投薬毎の投与量をセパレータで区切って指示する 規約上1日の投与回数は制限しない

第3成分 (name of coding system) には、'MR9P'を設定する。

例. 不均等投与 朝：1、昼：1、夜：1、就寝前：2 の場合

DVD^1-1-1-2 ^MR9P と表現

【処方】DVDを使用する場合、投与量をセットするa,b,c,dが各々どのタイミングを意味するのか特に規定が無い場合、通信を行うシステム間で規定すること。

RXE-22 Give Per (Time Unit) 時間あたりの与薬 (ST) 00331

定義:このフィールドは、製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する、時間単位を含んでいる。

フォーマット:

S<整数>	=	<整数> 秒
M<整数>	=	<整数> 分
H<整数>	=	<整数> 時間
D<整数>	=	<整数> 日
W<整数>	=	<整数> 週
L<整数>	=	<整数> 月
T<整数>	=	決められた時間間隔と量での「投薬量」<整数>の総合計。単位は「数量」フィールドと同じであると仮定する。
INDEF	=	無期限に行うーさらにデフォルト

これは、“X”の仕様を除いて、数量／タイミングフィールドの「継続時間」成分で指定したフォーマットと同じである。

このフィールドは、オーダされた薬剤が規定された速度(例えばある点滴)で連続的に投与されることになっている場合に必要とされるので、条件付きであると定義される。例えば、“与薬量／単位”が 300ml、そして与薬あたりの時間単位が H1(1 時間と等価)だった場合、速度は 300ml/時間である。

RXE-23 Give Rate Amount 与薬速度 (ST) 00332

定義:このフィールドは、薬剤が投与されるべき速度を含んでいる。

RXE-24 Give Rate Units 与薬速度単位 (CWE) 00333

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、RXE-23-与薬速度のための単位を含んでいる。 合成かもしれない。

RXE-23-与薬速度および RXE-24-与薬速度単位は、投与の実際の速度を定義する。したがって、RXE-23-与薬速度=100、およびRXE-24-与薬速度単位=ml/hr の場合、投与の要求速度は100ml/時間である。

与薬速度単位は ISO 単位(表 7.11.4 一般的な ISO 誘導単位および*ISO 拡張子)を参照する。ISO 単位を使用した場合のコーディングシステム名は、ISO+を用いる。

例:|mL/hr ^ミリリッター／時間^ISO+

表7.11.4 一般的なISO誘導単位および*ISO拡張子

コード／省略形	名前
/ (arb_u)	*1／任意の単位
/iu	*1／国際単位
/kg	*1／キログラム
/L	1／リットル
1/ml	*1／ミリリッター
10.L/min	*10 ×リットル／分
10.L/(min.m2)	*10 × (リットル／分) / meter2 =リットル／(分 × meter2)
10*3/mm3	*103／立方ミリメートル(例えば白血球カウント)
10*3/L	*103／リットル
10*3/mL	*103／ミリリッター
10*6/mm3	*106／millimeter3
10*6/L	*106／リットル
10*6/mL	*106／ミリリッター
10*9/mm3	*109／millimeter3
10*9/L	*109／リットル
10*9/mL	*109／ミリリッター
10*12/L	*1012／リットル
10*3(rbc)	*1000の赤血球+
a/m	メーター当たりアンペア
(arb_u)	*任意単位
Bar	バール(圧力; 1 bar = 100 kilopascals)
/min	毎分のビート
Bq	ベクレル
(bdsk_u)	*Bodansky単位
(bsa)	*体表面積
(cal)	*カロリー
1	*触媒の部分
/L	細胞／リットル
Cm	センチメートル
cm_h20	*水のセンチメートル=H20(圧力)
cm_h20.s/L	センチメートルH20(リットル／秒) = (センチメートルH2O × 秒)／リットル(例えば平均の肺の抵抗)
cm_h20/(s.m)	(センチメートルH20／秒)／メートル = センチメートルH20／(秒×メートル)(例えば肺の圧力時間積)。

コード／省略形	名前
(cfu)	*コロニー生成単位
m ³ /s	毎秒立方メートル
D	日
Db	デシベル
DbA	*デシベルアスケール
Cel	摂氏の温度
Deg	角度の度
(drop)	ドロップ
10.un.s/cm ⁵	ダイン×秒/centimeter ⁵ (1ダイン= 10 micronewton= 10 un)(例えば全身血管抵抗)
10.un.s/(cm ⁵ .m ²)	((ダイン×秒)/centimeter ⁵)/meter ² = (ダイン×秒)/(centimeter ⁵ × meter ²) (1ダイン=10 micronewton=10 un)電子ボルト(例えば全身血管抵抗/体表面積)
eV	電子ボルト(1電子ボルト=160.217 zeptojoules)
Eq	当量
F	ファラド(キャパシタンス)
Fg	フェムトグラム
fL	フェムトリットル
Fmol	フェムトモル
/mL	*ファイバー/ミリリッター
G	グラム
g/d	*グラム/日
g/dL	グラム/デシリットル
g/hr	グラム/時間
g/(8.hr)	*グラム/8時間シフト
g/kg	グラム/キログラム(例えば体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(kg.d)	(グラム/キログラム)/日=グラム/(キログラム×日)(例えば1日当たり体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(kg.hr)	(グラム/キログラム)/時間=グラム/(キログラム×時間)(例えば毎時の体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(8.kg.hr)	(グラム/キログラム)/8時間シフト=グラム/(キログラム× 8時間のシフト)(例えば8時間のシフト当たり体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
g/(kg.min)	(グラム/キログラム)/分=グラム/(キログラム×分)(例えば毎分の体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
g/L	グラム/リットル
g/m ²	グラム/Meter ² (例えば単位体表面積当たりの薬物投与質量)
g/min	グラム/分
g.m/(hb)	グラム×メートル/心拍数(例えば心室のストローク仕事量)
g.m/((hb)). m ²)	(グラム×メートル/心拍数)/meter ² =(グラム×メートル)/(心拍数× meter ²)(例えば心室のストローク仕事量/体表面積(心室のストローク仕事の指標))
g(creat)	*グラム、クレアチニン
g(hgb)	*グラム、ヘモグロビン
g.m	グラムメートル
g(tot__nit)	*グラム、窒素の合計
g(tot__prot)	*グラム、タンパク質の合計
g(wet__tis)	*グラム、湿重量組織
Gy	グレイ(吸収された放射線量)
hL	ヘクタリットル=102リットル
H	ヘンリー
In	インチ
in__hg	水銀の(=Hg)のインチ
Iu	*国際単位
Iu/d	*国際単位/日
Iu/hr	*国際単位/時間
Iu/kg	国際単位/キログラム
Iu/L	*国際単位/リットル
Iu/mL	*国際単位/ミリリッター
Iu/min	*国際単位/分□
J/L	ジュール/リットル(例えば呼吸仕事量)
Kat	*Katal
kat/kg	*Katal/キログラム
kat/L	*Katal/リットル
k/ワット	1ワット当たりケルビン
(kcal)	キロカロリー(1kcal=6.693キロジュール)
(kcal)/d	*キロカロリー/日
(kcal)/hr	*キロカロリー/時間

コード／省略形	名前
(kcal)／(8.hr)	*キロカロリー／8時間シフト
Kg	キログラム
kg (body__wt)	* キログラム体重
kg／m3	キログラム／立方メートル
kh／h	キログラム／時
kg／L	キログラム／リットル
kg／min	キログラム／分
kg／mol	キログラム／モル
kg／s	キログラム／秒
kg／(s.m2)	(キログラム／秒)／meter2=キログラム／(秒×meter2)
kg／ms	1平方メートル当たりキログラム
kg.m／s	キログラム・メートル毎秒
Kpa	キロパスカル(1 mmHg=0.1333 kilopascals)
Ks	キロ秒
(ka__u)	キング-アームストロング単位
(knk__u)	*クンケル単位
L	リットル
L／d	*リットル／日
L／hr	リットル／時間
L／(8.hr)	*リットル／8時間シフト
L／kg	リットル／キログラム
l／min	リットル／分
L／(min.m2)	(リットル／分)／meter2=リットル／(分× meter2) (例えば、心拍出量／体表面積 = 心臓の指標)
L／s	リットル／秒 (例えば、ピーク呼気流)
L.s	リットル／秒／second2=リットル×秒
Lm	ルーメン
lm／m2	ルーメン／Meter2
(mclg__u)	*マックレーガン単位
Ma	メガ秒
M	メートル
m2	Meter2 (例えば体表面積)
m／s	メートル／秒
m／s2	メートル／Second2
Ueq	*マイクロ当量
Ug	マイクログラム
ug／d	マイクログラム／日
ug／dL	マイクログラム／デシリットル
ug／g	マイクログラム／グラム
ug／hr	*マイクログラム／時間
ug (8hr)	マイクログラム／8時間シフト
ug／kg	マイクログラム／キログラム
mg／(kg.d)	(マイクログラム／キログラム)／日= マイクログラム／(キログラム×日) (例えば1日当たり患者体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
mg／(kg.hr)	(マイクログラム／キログラム)／時間=マイクログラム／(キログラム×時間) (例えば毎時の患者体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
mg／(8.hr.kg)	(マイクログラム／キログラム)／8時間のシフト=マイクログラム、／(キログラム×8時間のシフト) (例えば8時間のシフト当たりの患者体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
mg／(kg.min)	(マイクログラム／キログラム)／分=マイクログラム／(キログラム×分) (例えば毎分の患者体重1キログラム当たりの薬物投与質量)
ug／L	マイクログラム／リットル
ug／m2	マイクログラム／Meter2 (例えば患者体表面1平方メートル当たりの薬物投与質量)
ug／min	マイクログラム／分
uiu	*マイクロ国際単位
ukat	*Microkatel
um	マイクロメートル(ミクロン)
umol	マイクロモル
umol／d	マイクロモル／日
umol／L	マイクロモル／リットル
umol／min	マイクロモル／分
us	マイクロ秒
uv	マイクロボルト
mbar	ミリバール(1ミリバール=100パスカル)
mbar.s／L	ミリバール／(リットル／秒)=(ミリバール×秒)／リットル (例えば呼気性の抵抗)

コード／省略形	名前
meq	*ミリ当量
meq/d	*ミリ当量／日
meq/hr	*ミリ当量／時間
meq/(8.hr)	ミリ当量／8時間シフト
meq/kg	ミリ当量／キログラム(例えば患者体重1kg当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(kg.d)	(ミリ当量／キログラム)／日=ミリ当量／(キログラム×日)(例えば1日当たり患者体重1kg当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(kg.hr)	(ミリ当量／キログラム)／時間=ミリ当量、／(キログラム×時間)(例えば毎時の患者体重1kg当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(8.hr.kg)	(ミリ当量／キログラム)／8時間のシフト=ミリ当量、／(キログラム×8時間のシフト)(例えば8時間のシフトについての患者体重1kg当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/(kg.min)	(ミリ当量／キログラム)／分=ミリ当量／(キログラム×分)(例えば毎分の患者体重1kg当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/L	ミリ当量／リットル
meq/m2	ミリ当量／Meter2(例えば患者体表面積1平方メートル当たりのミリ当量での薬物投与量)
meq/min	ミリ当量／分
mg	ミリグラム
mg/m3	ミリグラム／Meter3
mg/d	ミリグラム／日
mg/dL	ミリグラム／デシリットル
mg/hr	ミリグラム／時間
mg/(8.hr)	ミリグラム／8時間シフト
mg/kg	ミリグラム／キログラム
mg/(kg.d)	(ミリグラム／キログラム)／日=ミリグラム、／(キログラム×日)(例えば1日当たり患者体重1kg当たりの薬物投与質量)
mg/(kg.hr)	(ミリグラム／キログラム)／時間=ミリグラム／(キログラム×時間)(例えば毎時の患者体重1kg当たりの薬物投与質量)
mg/(8.hr.kg)	(ミリグラム／キログラム)／8時間シフト=ミリグラム／(キログラム×8時間のシフト)(例えば8時間のシフトについての患者体重1kg当たりの薬物投与質量)
mg/(kg.min)	(ミリグラム／キログラム)／分=ミリグラム／(キログラム×分)(例えば毎時の患者体重1kg当たりの薬物投与質量)
mg/L	ミリグラム／リットル
mg/m2	ミリグラム／Meter2(例えば患者体表面積1平方メートル当たりの薬物投与質量)
mg/min	ミリグラム／分
mL	ミリリッター
mL/cm_h20	ミリリッター／水(H2O)のセンチメートル(例えば動的な肺コンプライアンス)
mL/d	*ミリリッター／日
mL/(hb)	ミリリッター／心拍(例えば心拍出量)
mL/((hb)m2)	(ミリリッター／心拍数)／Meter2=ミリリッター／(心拍数×Meter2)(例えば心室の拍出量の指標)
mL/hr	*ミリリッター／時間
mL/(8.hr)	*ミリリッター／8時間シフト
mL/kg	ミリリッター／キログラム(例えば患者体重1kg当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(kg.d)	(ミリリッター／キログラム)／日=ミリリッター／(キログラム×日)(例えば1日当たり患者体重1kg当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(kg.hr)	(ミリリッター／キログラム)／時間=ミリリッター／(キログラム×時間)(例えば毎時の患者体重1kg当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(8.hr.kg)	(ミリリッター／キログラム)／8時間のシフト=ミリリッター／(キログラム×8時間のシフト)(例えば8時間のシフトについての患者体重1kg当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/(kg.min)	(ミリリッター／キログラム)／分=ミリリッター／(キログラム×分)(例えば毎分の患者体重1kg当たりの薬物投与あるいは処理の体積)
mL/m2	ミリリッター／Meter2(例えば患者の体表面積当たりの薬物投与あるいは他の処理の体積)
mL/mbar	ミリリッター／ミリバール(例えば動的な肺コンプライアンス)
mL/min	ミリリッター／分
mL/(min.m2)	(ミリリッター／分)／Meter2=ミリリッター／(分×meter2)(例えば体表面積についての規定された注入のミリリッター(酸素消費指標))
mL/s	ミリリッター／秒
mm	ミリメートル
mm(hg)	*ミリメートル(HG)(1mm Hg=133.322 kilopascals)
mm/hr	ミリメートル／時間
mmol/kg	ミリモル／キログラム(例えば患者体重についての薬物治療のモル量)
mmol/(kg.d)	(ミリモル／キログラム)／日=ミリモル／(キログラム×日)(例えば1日当たり患者体重

コード／省略形	名前
mmol／(kg.hr)	についての薬物治療のモル線量) (ミリモル／キログラム)／時間=ミリモル／(キログラム×時間)(例えば毎時の患者体重についての薬物治療のモル量)
mmol／(8.hr.kg)	(ミリモル／キログラム)／8時間のシフト=ミリモル、／(キログラム×8時間のシフト)(例えば8時間のシフトについての患者体重についての薬物治療のモル量)
mmol／(kg.min)	(ミリモル／キログラム)／分=ミリモル／(キログラム×分)(例えば毎分の患者体重についての薬物治療のモル量)
mmol／L	ミリモル／リットル
mmol／hr	ミリモル／時間
mmol、／(8hr)	ミリモル／8時間シフト
mmol／min	ミリモル／分
mmol／m2	ミリモル／Meter2(例えば患者体表面積についての薬物治療のモル量)
mosm／L	*ミリオスモル／リットル
ms	ミリ秒
mv	ミリボルト
miu／mL	*ミリユニット／ミリリッター
mol／m3	モル／立方メートル
mol／kg	モル／キログラム
mol／(kg.s)	(モル／キログラム)／秒=モル／(キログラム×秒)
mol／L	モル／リットル
mol／s	モル／秒
ng	ナノグラム
ng／d	ナノグラム／日
ng／hr	*ナノグラム／時間
ng／(8.hr)	ナノグラム／8時間シフト
ng／L	ナノグラム／リットル
ng／kg	ナノグラム／キログラム(例えば患者体重についての薬物治療の質量)
ng／(kg.d)	(ナノグラム／キログラム)／日=ナノグラム／(キログラム×日)(例えば1日当たり患者体重についての薬物治療の質量)
ng／(kg.hr)	(ナノグラム／キログラム)／時間=ナノグラム／(キログラム×時間)(例えば毎時の患者体重についての薬物治療の質量)
ng／(8.hr.kg)	(ナノグラム／キログラム)／8時間のシフト=ナノグラム／(キログラム×8時間のシフト)(例えば8時間のシフトについての患者体重についての薬物治療の質量)
ng／(kg.min)	(ナノグラム／キログラム)／分=ナノグラム／(キログラム×分)(例えば毎分の患者体重についての薬物治療の質量線量)
ng／m2	ナノグラム／Meter2(例えば患者体表面積についての薬物治療の質量)
ng／mL	ナノグラム／ミリリッター
ng／min	*ナノグラム／分
ng／s	*ナノグラム／秒
nkat	*Nanokatel
nm	ナノメートル
nmol／s	ナノモル／秒
ns	ナノ秒
n	ニュートン(力)
n.s	ニュートン秒
(od)	*O.D.(光学濃度)
ohm	オーム(電氣的な抵抗)
ohm.m	オーム・メートル
osmole	オスモル
osmole／kg	オスモル／キログラム
osmole／L	オスモル／リットル
／m3	*粒子／Meter3
／L	*粒子／リットル
／(tot)	*粒子／総カウント
(ppb)	*10億についていくつ
(ppm)	*100万についていくつ
(ppth)	1000についていくつ
(ppt)	1兆(10 ¹²)についていくつ
pal	パスカル(圧力)
／(hpf)	*高出力項目について
(ph)	*pH
pa	ピコアンペア
pg	ピコグラム
pg／L	ピコグラム／リットル
pg／mL	ピコグラム／ミリリッター

コード／省略形	名前
pkat	*Picokatel
pm	ピコメーター
pmol	*ピコモル
ps	ピコ秒
pt	ピコテスラ
(pu)	*P.U.
%	パーセント
dm2／s2	Rem(ヒト線量等量)=10 ⁻² meter2／second2=decimeter2／second2 1ラドのX線 またはガンマ線と等価な電離放射線の線量[Dorland医学辞典から]
sec	角度の秒
sie	ジーメンス(電気的なコンダクタンス)
sv	シーベルト
m2／s	平方メートル／秒
cm2／s	平方センチメートル／秒
T	テスラ(磁束密度)
(td_u)	トッド・単位
V	ボルト(電位差)
l	ボリウム部分
Wb	ウェーバー(磁束)
*: 星印のついている項目は純粋のISOではないが矛盾しない。 +: 単位へのこのアプローチをIUPACは推奨していない。我々は単に下位互換性のためここに残した。	

RXE-25 Give Strength 与薬力価 (NM) 01126

定義:RXE-2-与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これはRXE-26-与薬力価単位と結合して使用される力価の数値部分である。

力価および力価単位フィールドが、さまざまなRX__セグメントに含まれた数量および数量単位フィールドに加えて必要になる。その理由を説明する。内科医は、2つの方法でアンピシリンのような薬の処方を書くことができる。1つの方法は次のとおりである。「アンピシリン250mgの錠剤、2粒を1日4回。」この場合投与量は2、投与単位は錠剤、力価は250、力価単位はミリグラムである。しかしながら、依頼者は「アンピシリン500mg、1日4回」と処方せんを書くことがある。この場合投与量は500で、投与単位はミリグラムである。力価はRXEセグメント中で報告されない。なぜならそれが指定されないからである。薬は、250mg 2カプセルまたは500mg 1カプセル投与することがある。しかし、薬剤師は特定の錠剤サイズを決めて、処方した錠剤サイズを250または500としてRXEセグメントに力価を記録する。

力価、単位、投薬経路、および製造会社を単一コードで指定するコード化方式もある。NDCコードは通常、医薬品だけでなく力価、単位、剤型も意味する。例えば0047-0402-30 Ampicillin 250 MG TABS NDC。したがって、この情報はすべてRXE-1—要求投薬コードの中で、そして他の薬剤／治療セグメントの中の類似のCWEフィールドの中で完全に指定され得る。この場合、この情報を指定するために力価および力価単位フィールドを使用する必要はない。

【処方】製剤単位あたりの力価を示す。

RXE-26 Give Strength Units 与薬力価単位 (CWE) 01127

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:RXE-2-与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これは力価の単位で、RXE-25-与薬力価と結合して使用される。

注: これらのユニットは " 合成数量 " でありうる。つまり、単位は、時間の1単位当たり数量を表現する。例えば、マイクログラム毎時(ug/h)は受理可能な値である。これらの合成単位はISO+テーブルに含まれている。

RXE-27 Give Indication 与薬指示 (CWE) 01128

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、薬治療が処方された条件か問題を示す。複合指示が適切であれば、繰り返してもよい。

【処方】内服、外用、頓用という用法種別をセットする。取りうる値は、下表に示すとおりとする。
記載例： | 21^内服薬^JHSP0003 |

JHSP表 0003 用法種別

Value	Description
21	内服薬
22	頓用薬
23	外用薬

第3成分 (name of coding system) には、'JHSP0003'を設定する。

RXE-28 Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ (NM) 01220

定義:このフィールドは、調剤されるパッケージのサイズを含んでいる。単位は RXE-29-調剤パッケージサイズ単位で送信される。

RXE-29 Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位 (CWE) 01221

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、RXE-28-調剤パッケージサイズが称される単位を含んでいる。

RXE-30 Dispense Package Method 調剤パッケージ方法 (ID) 01222

定義:このフィールドは、治療を行う方法を含んでいる。有効な値は、HL7 表 0321 - 調剤方法 を参照。

HL7表 0321 -Dispense Method 調剤方法

Value	Description	Comment
TR	Traditional 従来	•
UD	Unit Dose ユニットドーズ	•
F	Floor Stock フロアストック	•
AD	Automatic Dispensing 自動調剤	

RXE-31 Supplementary Code 補足コード (CWE) 01476

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、薬剤に関係しているすべてのコードの識別を提供する。共通のコードは次のものを含んでいる: Generic Product Identifier(GPI)、Generic Code Number_Sequence Number(GCN_SEQNO)、National Drug Code(NDC)。

RXE-32 Original Order Date/Time 当初のオーダー日／時間 (TS) 01673

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドには補充(refill)認可が要請された時の、オリジナルオーダー(ORC-9)の日時が含まれている。これはオリジナルオーダー処理の ORC-9 の中に提示されている。

RXE-33 Give Drug Strength Volume 与薬力価量 (NM) 01674

定義:この数量フィールドは量の測定を定義するもので、その中には薬力価濃度が含まれている。例えば、アセタミノフェンの 120MG/5ML エリクシルの意味は、この薬の 120MG は 5ML の薬量の溶液に入っており、RXE-25, RXE-26, RXE-33 及び RXE-34 にコードで次のように表される。

RXE||||||||||||||||120|mg^^ISO||||||5|ml^^ISO ...<cr>

RXE-34 Give Drug Strength Volume Units 与薬力価量単位 (CWE) 01675

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは RXE-33 与薬力価量に関連した量単位を提示する。RXE-33 の中の例を参照すること。

RXE-35 Controlled Substance Schedule 薬物コントロールスケジュール (CWE) 01676

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは法律で使用量が規制されている薬物もしくは他の物質の分類を特定するものである。米国においては、このような法律としては連邦薬物規制法 the federal Controlled Substance Act (CSA) もしくは州の法律である State Uniform Controlled Substance がある。米国での合法の使用量については、使用者が定義する表 0477-薬物コントロールの日程を参照のこと。他の各国も独自にこの表のような日程を作るべきである。

行政管轄体によっては、特定の分類の薬物のコントロールリストを追加する場合もあり、日程も追加されるので、使用者定義表 0477 薬物コントロールの日程は使用者が定義するものである。

使用者定義表 0477 – Controlled Substance Schedule* 薬物コントロールの日程

Value	Description	Comment
I	スケジュール I	濫用となる危険性が高い薬物、および米国では現在医薬品として受け入れられていないもの、また医療監督の下においても使用の安全性が認められていない薬物を含む。
II	スケジュール II	米国で現在医薬品として使用が認められているが、濫用の危険性が高く、心理的、身体的に依存性が極めて高い薬物(薬品)を含む。
III	スケジュール III	スケジュール I と II にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS III の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
IV	スケジュール IV	スケジュール III にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS IV の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
V	スケジュール V	濫用の危険性が低く、リスト IV のものと比較して心理的、身体的

Value	Description	Comment
		な依存性が低い。米国で医薬品として使用が認められている。
VI	スケジュール VI	州により規定される。

*Pharmacy Law Digest July 1988

RXE-36 Formulary Status 処方集ステータス (ID) 01677

定義:このフィールドは薬剤がその地域の処方規定に準拠しているかどうかを特定するものである。有効な値は HL7 表 0478-規定のステータスを参照のこと。

HL7表 0478 –Formulary Status 規定のステータス

Value	Description	Comment
Y	薬剤が処方集の中に入っている。	
N	薬剤が処方集の中に入っていない。	
R	薬剤は処方集の中に入っているが、規制が適用される。	
G	薬剤は処方集の中に入っているが、ガイドラインが適用される。	

RXE-37 Pharmaceutical Substance Alternative 薬物代替え (CWE) 01678

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、処方された薬品の代替えとして処方集に載っている薬品を特定するものである。特定の医薬品が処方集の中に含まれていない場合、このフィールドは処方集に載っている治療的代替薬品を提示する。

RXE-38 Pharmacy of Most Recent Fill 最新の与薬の薬剤部 (CWE) 01679

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは最も新しく薬剤を処方した薬剤部を特定するものである。

RXE-39 Initial Dispense Amount 最初の調剤量 (NM) 01680

定義:このフィールドは、最初の処方による調剤の量が補充薬(Refill)に用いられた処方の量と異なる時に、最初の調剤量を特定するものである。処方者が新しい医薬品を処方した際、患者がその投与量に耐えられるかどうかを見極めたいと思うようなケースがその例である。処方者が当初の処方量を 30 錠とし、もし患者が耐えられるなら補充の際には 100 錠にすると明示するような場合である。このような場合 RXE-39 には 30 と記され、RXE-10 には 100 という数値が提示される。

もしこのフィールドに何も記されていない場合は、当初の調剤量は RXE-10 と同じになる。

単位は RXE-11 に記されている通りである。

RXE-40 Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部 (CWE) 01681

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは処方せんを調剤する薬剤部を特定するものである。

RXE-41 Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部の住所 (XAD) 01682

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>
 Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>
 Subcomponents for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
 Note subcomponent contains sub-subcomponents
 Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは調剤薬剤部の住所を特定するものである。

RXE-42 Deliver-to Patient Location 患者への配達場所 (PL) 01683

Components: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>
 Subcomponents for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 Subcomponents for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 Subcomponents for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義:このフィールドでは薬剤が患者に引き渡される場所が特定される。

RXE-43 Deliver-to Address 配達先住所 (XAD) 01684

Components: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>
 Subcomponents for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>
 Subcomponents for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
 Note subcomponent contains sub-subcomponents
 Subcomponents for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 Subcomponents for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所を特定するものである。

RXE-44 Pharmacy Order Type 薬剤オーダータイプ (ID) 01685

定義:薬剤オーダータイプは、オーダーが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダーの一般的カテゴリーを定義するものである。有効な値については HL7 表 0480 -薬剤オーダータイプを参照のこと。

このフィールドは関連するオーダーの処理そしてしくは記録のために、グループ化する目的にも用いられて差し支えないものである。例えば、医療管理記録 Medication Administration Records (MARS) はしばしば大量の液剤、医薬品を、現場の手順に応じて少量の液剤とは異なる区分をする。

使用のルール:このフィールドはすべての薬剤処置が選択するものである。何も入っていない場合には、デフォルトの「M」が用いられる。

HL7表 0480 – Pharmacy Order Types 薬剤オーダータイプ

Value	Description	Comment
M	投薬	デフォルト値。錠剤、カプセル、粉末、その他の注射以外の／注入以外の製品を含むがこれらには限られない

Value	Description	Comment
S	IV 大量溶液	TPN, 混合薬剤、溶液、ドリップなどを含むがこれらに限られない。
O	医療のオーダーに応じて他の溶液	ピギーバック及び注射(入)器を含むがこれらに限られない。

7.12 TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング/数量セグメント

TQ1セグメントは、イベントとアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。(例えば、オーダ管理やスケジューリングシステム)。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、及びタイミングを決定する。このセグメントの繰返しを許すことで、あるサービス要求(時間にこだわらず)での量、頻度、優先度の値に幅を持たせることが可能になる。

以下にTQ1が繰り返されるユースケースを示す。

- a) 心筋酵素 (直ちに)、後は毎4時間
- b) ストレプトキナーゼ検査、1回目(直ちに) 結論を出し、実施(直ちに)、その後毎4時間結論を出し、実施(直ちに)。
- c) ゲンタマイシン 100mg (すぐ)、80mg 毎12時間2回分(最初1回分80mg) 1回分100mgの後きっかり12時間後(2回のサービス要求かも)。
- d) アクティバース 15mg ボーラス(直ちに)、次に30分間50mg、次に60分間35mg(2回のサービス要求かも)。
- e) 初めにイモディウム 4mg (2カプセル) 経口、次に2mg (1カプセル) 各未形成の検便後、1日あたり最大16mg。
- f) 初日 Zithromax 500mg (2錠剤 tabs) 経口、次に250mg (1カプセル) 経口で1日1回を5日間(2回のサービス要求かも)。
- g) 禁煙の処方薬 Zyban (ブプロピオン Bupropion) 150mg 経口から開始、毎午前を3日間、次に150mg 経口、1日2回を7週から12週間。
- h) コルヒチン 1mg(2カプセル)経口(すぐ)、次に1カプセル毎1から2時間、痛みが緩和するか、或いは好ましくない副作用(下痢、胃腸障害)が出るまで。(2回のサービス要求かも)
- i) 初日 doxycycline 100mg 経口、1日2回、次に100mg 経口、1日1回。
- j) スコブラミン、xxxmg,外科手術前1時間。相対時間=-1^hour、プライオリティ=P(術前)、或いは代替の繰返パターン=s= P1H^Preop, 1 Hour before Surgery^99LocalCode, 相対時間は空かプライオリティがP(術前)。

TQ1属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		01627	Set ID – TQ1 TQ1をIDにセット	
2	20	CQ	O	O		01628	Quantity 数量	
3	540	RPT	O	O	Y	01629	Repeat Pattern 繰返しパターン	
4	20	TM	O	O	Y	01630	Explicit Time 明示的な時間	
5	20	CQ	O	O	Y	01631	Relative Time and Units 関連時間/単位	
6	20	CQ	O	O		01632	Service Duration サービス期間	
7	26	TS	O	O		01633	Start date/time 開始日時	
8	26	TS	O	O		01634	End date/time 終了日時	
9	250	CWE	O	O	Y	01635	Priority 優先度	
10	250	TX	O	O		01636	Condition text 条件テキスト	
11	250	TX	O	O		01637	Text instruction テキスト指令	
12	10	ID	C	C		01638	Conjunction 連結	
13	20	CQ	O	O		01639	Occurrence duration 発生期間	
14	10	NM	O	O		01640	Total occurrence's 総発生	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required

- O - optional
 - C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
 - X - not used with this trigger event
 - B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
 - N - not used useally. use only on the site
- Repetition
- N - no repetition
 - Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

TQ1フィールド定義

TQ1-1 Set ID - TQ1 (SI) 01627

定義:最初の伝送時、シーケンス番号は1、2回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同順。

TQ1-2 Quantity 数量 (CQ) 01628

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>
 Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき量を数量的に指定する。例えば、2つの血液カルチャを4時間毎に入手する場合、その量は2である。或いは、3ユニットの血液がタイプされ、クロスマッチされ、量は3となる。このフィールドの暗黙値は1である。

もし、複数のサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自固有な発行者/実行者番号が与えられることを強く推奨する。

TQ1-3 Repeat Pattern 繰返しパターン (RPT) 01629

Components: <Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>
 Subcomponents for Repeat Pattern Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:繰返しの頻度は、その治療が管理されるべき頻度である。オーダエントリシステムで使用された頻度と SIG コード表と同様である。

このフィールドは、もっと複雑な繰返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎日就寝時は、"IQD-HS|"として繰り返される。

数量タイミング仕様がある期間の後異なる繰返しパターンに変化しなければならない時、新しい TQ1 セグメントが新しい繰返しを示すために使用されなければならない。現状の TQ1 の終了日は現状タイミング仕様の終了を示し、次の TQ1 の開始日は新しいタイミング仕様を開始する時を示す。TQ1-12 の結合フィールドが次の TQ1 セグメントが連続して或いは平行して実行されるかを決定する。

【処方】本規約では、コード表として JAMI 標準用法マスタを使用することを推奨する。繰返しパターンを JAMI 標準用法マスタで表現できない場合は、使用者定義表 0335 -Repeat pattern 繰返しパターンを併用する。

例: 1日1回 朝食後(隔日) 7日分(14日間)

TQ1|||1011000400000000&内服・経口・1日1回朝食後&JAMISDP01~Q2D&隔日&HL70335|||14^D&日&ISO+|20120825<CR>

「1日5回、毎食後、15時30分、就寝時」(内服、経口)のように“時刻”に“分”が含まれている場合等は、JAMI標準用法マスタで表現できないため、表 7.12.6 追加用法(食事関連)を使用して用法を表現する。

最新の JAMI 標準用法マスタは、日本医療情報学会(JAMI)が公表している処方オーダーリングシステム用標準用法マスタを参照のこと。

表7.12.1 16桁コード仕様表（JAMI標準用法マスタ 標準用法コード添付表1）

		第1桁	第2桁	第3桁	第4桁	第5桁	第6桁	第7桁	第8桁	第9桁	第10桁	第11桁	第12桁	第13桁	第14桁	第15桁	第16桁	用法記述の一例
内服用法	食事等タイミング基本	基本 用法 区分 1:内服 2:外用	用法 詳細 区分	タイミン グ 指定 区分	1日服用 (外用)回 数	就寝前の 服用指定	夕食時の 服用指定	昼食時の 服用指定	朝食時の 服用指定	起床時の 服用指定	時刻指定 の服用*	—	—	—	—	—	—	1日3回朝昼夕食後
	1日回数と時間間隔明示					1日での 服用開始 時刻*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回 8時間毎
	1日回数と服用時刻を明示 (時刻指定型 I)					第1服用 時刻	第2服用 時刻*	第3服用 時刻*	第4服用 時刻*	第5服用 時刻*	第6服用 時刻*	第7服用 時刻*	第8服用 時刻*	—	—	—	—	1日4回 6時、12 時、18時、23時
	1日回数とイベントを明示 (時刻指定型 II)					イベント 区分	イベント 詳細区分	イベント 附帯条件 区分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回 哺乳時
外用用法	生活リズム基本				時間間隔	就寝前の 使用指定	夕の使用 指定	昼の使用 指定	朝の使用 指定	起床時の 使用指定	時刻指定 の使用*	—	—	—	—	—	—	1日1回就寝時塗布
	1日回数だけを明示					外用回数 の補足情 報*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回程度吸入
	時間間隔で明示					時間間隔 の補足情 報*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2～3時間毎吸入
内服・外用 共通	頓用				1日服用 (外用)回 数	イベント 区分	イベント 詳細区分	イベント 附帯条件 区分*	最低時間 間隔*	1日最大 用法回数 *	—	—	—	—	—	—	—	喘息発作時、3時間 以上あけて1日最大 3回まで

—の欄は未使用の桁で0を設定する。*の欄はその情報が必要な場合にのみ設定し、不要な場合には0を設定する。

表7.12.2 用法コード一覧(内服)(JAMI標準用法マスタ 標準用法コード添付表2)

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
食事等タイミングを基本とする内服用法	1101	1日1回起床時	1*11	0000	9000	0000	
	1102	1日1回朝食前	1*11	0001	0000	0000	
	1103	1日1回朝食直前	1*11	0002	0000	0000	
	1104	1日1回朝食後	1*11	0004	0000	0000	
	1105	1日1回朝食2時間後	1*11	0005	0000	0000	
	1106	1日1回昼食前	1*11	0010	0000	0000	
	1107	1日1回昼食直前	1*11	0020	0000	0000	
	1108	1日1回昼食後	1*11	0040	0000	0000	
	1109	1日1回昼食2時間後	1*11	0050	0000	0000	
	1110	1日1回夕食前	1*11	0100	0000	0000	
	1111	1日1回夕食後	1*11	0400	0000	0000	
	1112	1日1回夕食2時間後	1*11	0500	0000	0000	
	1113	1日1回就寝前	1*11	1000	0000	0000	外用用法の整理番号2105の注を参照
	1114	1日1回空腹時	1*41	4800	0000	0000	注2
	1115	1日2回朝食前と就寝前	1*12	1001	0000	0000	
	1116	1日2回朝食後と就寝前	1*12	1004	0000	0000	
	1117	1日2回朝食前	1*12	0011	0000	0000	
	1118	1日2回朝食後	1*12	0044	0000	0000	
	1119	1日2回朝食前	1*12	0101	0000	0000	
	1120	1日2回朝食後	1*12	0404	0000	0000	
	1121	1日2回朝食2時間後	1*12	0505	0000	0000	
	1122	1日2回夕食前	1*12	0110	0000	0000	
	1123	1日2回昼食前と就寝前	1*12	1010	0000	0000	
	1124	1日2回夕食後	1*12	0440	0000	0000	
	1125	1日2回昼食後と就寝前	1*12	1040	0000	0000	
	1126	1日2回夕食前と就寝前	1*12	1100	0000	0000	
	1127	1日2回夕食後と就寝前	1*12	1400	0000	0000	
	1128	1日3回朝食夕食前	1*13	0111	0000	0000	
	1129	1日3回朝食夕食直前	1*13	0222	0000	0000	
	1130	1日3回朝食夕食後	1*13	0444	0000	0000	
	1131	1日3回朝食夕食後2時間	1*13	0555	0000	0000	
	1132	1日3回朝食前と就寝前	1*13	1011	0000	0000	
	1133	1日3回朝食後と就寝前	1*13	1044	0000	0000	
	1134	1日3回朝食前と就寝前	1*13	1101	0000	0000	
	1135	1日3回朝食後と就寝前	1*13	1404	0000	0000	
	1136	1日3回夕食前と就寝前	1*13	1110	0000	0000	
	1137	1日3回夕食後と就寝前	1*13	1440	0000	0000	
	1138	1日4回朝食夕食前と就寝前	1*14	1111	0000	0000	
	1139	1日4回朝食夕食後と就寝前	1*14	1444	0000	0000	
	1140	1日5回朝食夕食後、15時、就寝前	1*15	1444	0P00	0000	

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
1 日回数と時間間隔を明示した内服用法	1201	1 日2回12時間毎	1*22	0000	0000	0000	
	1202	1 日3回8時間毎	1*23	0000	0000	0000	
	1203	1 日4回6時間毎	1*24	0000	0000	0000	
	1204	1 日6回4時間毎	1*26	0000	0000	0000	
	1205	1 日8回3時間毎	1*28	0000	0000	0000	
1 日回数と服用時刻を明示した内服用法(時刻指定型Ⅰ)	1301	1 日1回N1時	1*31	N000	0000	0000	注3
	1302	1 日2回N1時、N2時	1*32	NN00	0000	0000	注3
	1303	1 日3回N1時、N2時、N3時	1*33	NNN0	0000	0000	注3
	1304	1 日4回N1時、N2時、N3時、N4時	1*34	NNNN	0000	0000	注3
	1305	1 日5回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時	1*35	NNNN	N000	0000	注3
	1306	1 日6回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時	1*36	NNNN	NN00	0000	注3
	1307	1 日8回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時、N7時、N8時	1*38	NNNN	NNNN	0000	注3
1 日回数とイベントを明示した内服用法(時刻指定型Ⅱ)	1401	1 日 1 回哺乳時	1*41	B700	0000	0000	
	1402	1 日 2 回哺乳時	1*42	B700	0000	0000	
	1403	1 日 3 回哺乳時	1*43	B700	0000	0000	
	1404	1 日 4 回哺乳時	1*44	B700	0000	0000	
	1405	1 日 5 回哺乳時	1*45	B700	0000	0000	
	1406	1 日 6 回哺乳時	1*46	B700	0000	0000	
	1407	1 日 8 回哺乳時	1*48	B700	0000	0000	
	1408	1 日 10 回哺乳時	1*4A	B700	0000	0000	
	1409	1 日 12 回哺乳時	1*4C	B700	0000	0000	
	1114	1 日1回空腹時	1*41	4800	0000	0000	注2
頓用型の内服用法	1601	疼痛時	1*50	1100	0000	0000	
	1602	頭痛時	1*50	1200	0000	0000	
	1603	歯痛時	1*50	1300	0000	0000	
	1604	胸痛時	1*50	1400	0000	0000	
	1605	腹痛時	1*50	1500	0000	0000	
	1606	腰痛時	1*50	1600	0000	0000	
	1607	関節痛時	1*50	1700	0000	0000	
	1608	喘鳴時	1*50	2100	0000	0000	
	1609	喘息発作時	1*50	2200	0000	0000	
	1610	喉がゴロゴロする時	1*50	2300	0000	0000	
	1611	しゃっくり時	1*50	2400	0000	0000	
	1612	咳込時	1*50	2500	0000	0000	
	1613	血圧上昇時〇〇mmHg 以上	1*50	3170	0000	0000	注4
	1614	血糖値〇〇mg/dL 以上	1*50	3270	0000	0000	注4
	1615	便秘時	1*50	4100	0000	0000	
	1616	お腹がゴロゴロする時	1*50	4200	0000	0000	
	1617	下痢時	1*50	4300	0000	0000	
	1618	嘔吐時	1*50	4500	0000	0000	
	1619	吐き気時	1*50	4700	0000	0000	

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
	1620	空腹時	1*50	4800	0000	0000	
	1621	出血時	1*50	4900	0000	0000	
	1622	乏尿時〇〇mL/時間未満	1*50	5150	0000	0000	注4
	1623	多尿時	1*50	5200	0000	0000	
	1624	むくみ時	1*50	5300	0000	0000	
	1625	不眠時	1*50	6100	0000	0000	
	1626	不安時	1*50	6200	0000	0000	
	1627	不穏時	1*50	6300	0000	0000	
	1628	いらいら時	1*50	6400	0000	0000	
	1629	けいれん時	1*50	6500	0000	0000	
	1630	めまい時	1*50	6600	0000	0000	
	1631	疲労時	1*50	6700	0000	0000	
	1632	発熱時(〇〇度以上)	1*50	7170	0000	0000	注4
	1633	悪寒時	1*50	7200	0000	0000	
	1634	かゆい時	1*50	8100	0000	0000	
	1635	発疹時	1*50	8200	0000	0000	
	1636	発作時	1*50	9100	0000	0000	
	1637	症状ある時	1*50	9200	0000	0000	
	1638	検査前	1*50	A120	0000	0000	必須指示 注5
	1639	検査時	1*50	A220	0000	0000	必須指示 注5
	1640	検査後	1*50	A320	0000	0000	必須指示 注5
	1642	手術前	1*50	A420	0000	0000	必須指示 注5
	なし	手術中	1*50	A520	0000	0000	必須指示 注5
	1642	手術後	1*50	A620	0000	0000	必須指示 注5
	1643	処置前	1*50	A720	0000	0000	必須指示 注5
	1644	処置時	1*50	A820	0000	0000	必須指示 注5
	1645	処置後	1*50	A920	0000	0000	必須指示 注5
	1646	起床時	1*50	B100	0000	0000	
	1647	入浴前	1*50	B200	0000	0000	
	1648	食事前	1*50	B300	0000	0000	
	1649	食事後	1*50	B400	0000	0000	
	1650	就寝前	1*50	B500	0000	0000	
	1651	外出時	1*50	B600	0000	0000	
	1652	哺乳時	1*50	B700	0000	0000	
	1653	必要時	1*50	W100	0000	0000	
	1654	適宜	1*50	W200	0000	0000	

注記:

- 2桁目の*は、用法詳細区分コードで、内服用法の違いにより以下のいずれかのコードを使用する。詳細は表7.12.4 用法詳細区分表(標準用法マスタ)を参照のこと。

- 2 コード体系上は「1日回数と服用時刻を明示した内服用法(時刻指定型Ⅰ)」であるが、標準用法上食事等をタイミングとするカテゴリに入れられているので、同一のものを両方に記載した。
- 3 表中のN1...N8はそれぞれ、24時制で特定の時刻を表す英字1文字を表す。時刻と英字との対応は以下のとおり。
「時刻0～23に対してそれぞれ文字A～Xを対応づける。」
例:1日3回8時、15時、21時の場合、8時は英字I、15時は英字P、21時は英字Vに対応するので、16桁用法コードは1033IPV0000000000となる(内服経口で2桁目が0の場合)。
- 4 数値による付帯条件を記述するため、「未満」は7桁目を5、「以上」は7桁目を7で記述する。条件数値そのものは単位とともに別に記述するものとし、用法タイミングコードでは表現しない。「未満」「以上」以外の条件を必要とする場合のコードの使い方については表7.12.5 イベント付帯条件区分(標準用法マスタ)を参照のこと。
- 5 イベント時に必須使用の指示の場合を想定。任意使用の指示の場合には7桁目を2ではなく0とする。詳細は表7.12.5 イベント付帯条件区分(標準用法マスタ)を参照のこと。

表7.12.3 用法コード一覧(外用)(JAMI標準用法マスタ 標準用法コード添付表3)

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
生活リズムを基本とする外用用法	2101	1日1回起床時	2*61	0000	9000	0000	
	2102	1日1回朝	2*61	0009	0000	0000	
	2103	1日1回昼	2*61	0090	0000	0000	
	2104	1日1回夕	2*61	0900	0000	0000	
	2105	1日1回就寝時	2*61	1000	0000	0000	注2
	2106	1日2回朝夕	2*62	0909	0000	0000	
	2107	1日2回朝と就寝前	2*62	1009	0000	0000	
	2108	1日2回午前と午後	2*62	0A0A	0000	0000	
	2109	1日3回朝昼夕	2*63	0999	0000	0000	
	2110	1日4回朝昼夕と就寝前	2*64	1999	0000	0000	
1日回数だけを明示した外用用法	2201	1日1回	2*71	0000	0000	0000	
	2202	1日2回	2*72	0000	0000	0000	
	2203	1日3回	2*73	0000	0000	0000	
	2204	1日4回	2*74	0000	0000	0000	
	2205	1日6回	2*76	0000	0000	0000	
	2206	1日3回程度	2*73	A000	0000	0000	
	2207	1日4回程度	2*74	A000	0000	0000	
	2208	1日6回程度	2*76	A000	0000	0000	
	2209	1日1～2回	2*71	2000	0000	0000	
	2210	1日1～数回	2*71	N000	0000	0000	
	2211	1日2～3回	2*72	3000	0000	0000	
	2212	1日3～4回	2*73	4000	0000	0000	
	2213	1日4～5回	2*74	5000	0000	0000	
時間間隔で明示した外用用法(時刻指定型Ⅰ)	2301	2～3時間毎	2*82	3000	0000	0000	
	2302	4～6時間毎	2*84	6000	0000	0000	
頓用型の外用用法	2401	疼痛時	2*50	1100	0000	0000	
	2402	頭痛時	2*50	1200	0000	0000	
	2403	歯痛時	2*50	1300	0000	0000	
	2404	胸痛時	2*50	1400	0000	0000	
	2405	腹痛時	2*50	1500	0000	0000	
	2406	腰痛時	2*50	1600	0000	0000	

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
	2407	関節痛時	2*50	1700	0000	0000	
	2408	喘鳴時	2*50	2100	0000	0000	
	2409	喘息発作時	2*50	2200	0000	0000	
	2410	喉がゴロゴロする時	2*50	2300	0000	0000	
	2411	しゃっくり時	2*50	2400	0000	0000	
	2412	咳込時	2*50	2500	0000	0000	
	2413	血圧上昇時〇〇mHg 以上	2*50	3170	0000	0000	注3
	2414	血糖値〇〇mg/dL 以上	2*50	3270	0000	0000	注3
	2415	便秘時	2*50	4100	0000	0000	
	2416	お腹がゴロゴロする時	2*50	4200	0000	0000	
	2417	下痢時	2*50	4300	0000	0000	
	2418	排便時	2*50	4400	0000	0000	注4
	2419	嘔吐時	2*50	4500	0000	0000	
	2420	口腔乾燥時	2*50	4600	0000	0000	注4
	2421	吐き気時	2*50	4700	0000	0000	
	2422	空腹時	2*50	4800	0000	0000	
	2423	出血時	2*50	4900	0000	0000	
	2424	乏尿時〇〇mL/時間未満	2*50	5150	0000	0000	注3
	2425	多尿時	2*50	5200	0000	0000	
	2426	むくみ時	2*50	5300	0000	0000	
	2427	不眠時	2*50	6100	0000	0000	
	2428	不安時	2*50	6200	0000	0000	
	2429	不穏時	2*50	6300	0000	0000	
	2430	いらいら時	2*50	6400	0000	0000	
	2431	けいれん時	2*50	6500	0000	0000	
	2432	めまい時	2*50	6600	0000	0000	
	2433	疲労時	2*50	6700	0000	0000	
	2434	発熱時(〇〇度以上)	2*50	7170	0000	0000	注3
	2435	悪寒時	2*50	7200	0000	0000	
	2436	かゆい時	2*50	8100	0000	0000	
	2437	発疹時	2*50	8200	0000	0000	
	2438	発作時	2*50	9100	0000	0000	
	2439	症状ある時	2*50	9200	0000	0000	
	2440	検査前	2*50	A120	0000	0000	必須指示 注5
	2441	検査時	2*50	A220	0000	0000	必須指示 注5
	2442	検査後	2*50	A320	0000	0000	必須指示 注5
	2443	手術前	2*50	A420	0000	0000	必須指示 注5
	なし	手術中	2*50	A520	0000	0000	必須指示 注5

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
	2444	手術後	2*50	A620	0000	0000	必須指示 注5
	2445	処置前	2*50	A720	0000	0000	必須指示 注5
	2446	処置時	2*50	A820	0000	0000	必須指示 注5
	2447	処置後	2*50	A920	0000	0000	必須指示 注5
	2448	起床時	2*50	B100	0000	0000	
	2449	入浴前	2*50	B200	0000	0000	
	2450	食事前	2*50	B300	0000	0000	
	2451	食事後	2*50	B400	0000	0000	
	2452	就寝前	2*50	B500	0000	0000	
	2453	外出時	2*50	B600	0000	0000	
	2454	哺乳時	2*50	B700	0000	0000	
	2455	必要時	2*50	W100	0000	0000	
	2456	適宜	2*50	W200	0000	0000	

注記:

- 2桁目の*は、用法詳細区分コードで、外用用法の違いによりいずれかのコードを使用する。詳細は表7.12.4 用法詳細区分表(標準用法マスタ)を参照のこと。
- 内服用法では「1日1回就寝前」となっており記述が異なる。これは日本病院薬剤師会と日本薬剤師会の「標準用法用語集(第1版)」に合わせたものである。
- 数値による付帯条件を記述するため、「以下」は7桁目を5、「以上」は7桁目を7で記述する。条件数値そのものは単位とともに別に記述するものとし、用法タイミングコードでは表現しない。「以下」「以上」以外の条件を必要とする場合のコードの使い方については表7.12.5 イベント付帯条件区分(標準用法マスタ)を参照のこと。
- 頓用内服用法には存在しないので注意。
- イベント時に必須使用の指示の場合を想定。任意使用の指示の場合には7桁目を2ではなく0とする。詳細は表7.12.5 イベント付帯条件区分(標準用法マスタ)を参照のこと。

表7.12.4 用法詳細区分表(JAMI標準用法マスタ 表2)

内服／外用区分	用法詳細区分コード		付帯部位情報
内服	経口	0	不要
内服	舌下	1	不要
内服	バツカル	2	不要
内服	口腔内塗布	3	不要
外用	貼付	A	必須
外用	塗布	B	必須
外用	湿布	C	必須
外用	撒布	D	必須
外用	噴霧	E	必須
外用	消毒	F	任意
外用	点耳	G	左・右・両
外用	点眼	H	左・右・両
外用	点鼻	J	左・右・両
外用	うがい	K	不要

内服／外用区分	用法詳細区分コード		附帯部位情報
外用	吸入	L	不要
外用	トローチ	M	不要
外用	膀胱洗浄	N	不要
外用	鼻腔内洗浄	P	不要
外用	浣腸	Q	不要
外用	肛門挿入	R	不要
外用	肛門注入	S	不要
外用	腔内挿入	T	不要
外用	膀胱注入	U	不要

表7.12.5 イベント附帯条件区分(JAMI標準用法マスタ 表7)

イベント附帯条件区分	イベント附帯条件区分コード
イベント時頓用(任意使用)	0
イベント時に使用必須	1
イベント後に使用必須	2
ある数値と等しい時、使用必須	3
ある数値未満の時、使用必須	4
ある数値以下の時、使用必須	5
ある数値以上の時、使用必須	6
ある数値超の時、使用必須	7
ある数値超の時、使用必須	8
上記以外の型式の附帯条件を満たす時、使用必須	9

使用者定義表 0335 -Repeat pattern 繰り返しパターン

Value	Description	Comment
Q<整数>S	<整数>秒ごと	
Q<整数>>M	<整数>分ごと	
Q<整数>H	<整数>時間ごと	
Q<整数>D	<整数>日ごと	
Q<整数>W	<整数>週ごと	
Q<整数>L	<整数>月(月周期)ごと	
Q<整数>J<日番号> >	週の特定の曜日に繰り返す	フランス語の <i>Jour</i> (日)より。<整数>がないとき繰り返し頻度は1と見なされる。<日番号>は1=月曜日から7=日曜日までである。したがって、Q2J2 は2週に1度の火曜日ごととなり; Q1J6 は毎日曜日となる。

Value	Description	Comment
BID	日に2回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM)
TID	日に3回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM-9PM)
QID	日に4回、施設で定められた時刻	(例、9AM-11AM-4PM-9PM)
xID	日にX回、施設で定められた時刻で、Xは数字の5より大きい	(例、5ID=日に5回; 8ID=日に8回)
QAM	朝の施設で決められた時間に	
QSHIFT	8時間の3回のシフトを1回ずつ施設で決められた時間に	
QOD	1日おきに	(Q2Dと同じ)
QHS	毎日就寝時間の前に	
QPM	夕の施設で決められて時間に	
C	サービスは開始時刻から終了時刻まで連続的に提供される	
U <spec> U <指定>	将来の使用のため、<指定>は UNIX の cron 仕様で定義された繰り返しの指定	
PRN	必要に応じて	
PRNxxx	xxxはある繰り返しコード	(例、PRNQ6H)頻度の間隔で必要に応じて
Once	1回のみ	これもこの成分が NULL の時のデフォルト
食事に関連したタイミング	<タイミング>C ("cum")<食事>	
A	Ante(前)	
P	Post(後)	
I	Inter(間)	(例、前後の食事の間、夕食と終身の間)
M	Cibus Matutinus (朝食)	
D	Cibus Diurnus (昼食)	
V	Cibus Vespertinus (夕食)	

表7.12.6 追加用法(食事関連)

Value	Description
Nnmm	nn時mm分

例. 疼痛時(内服、経口)の場合

TQ1||1050110000000000&内服・経口・疼痛時&JAMISDP01

例. 「1日5回、毎食後、15時30分、就寝時」(内服、経口)の場合

TQ1|||5ID&1日5回&HL70335~PC&毎食後&HL70335~1530&15時30分&HL70335~HS&就寝時
&HL70335

TQ1-4 Explicit Time 明示的時間 (TM) 01630

定義:このフィールドは TQ1-3 のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。D このフィールドは、実際の管理時間が施設内でまちまちであるケースで TQ1-3 を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が1日よりもっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ管理時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求(TQ1-7 によって与えられる)の実際の開始時間が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後、最初の明示的時間に最初の管理が行われる。患者が明示的時間の異なる組み合わせを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量/タイミングによって更新される。

使用上の注意:このフィールドは、繰返しパターンが存在しない場合には無効。

TQ1-5 Relative Time and Units 相対的時間と単位 (CQ) 01631

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> &
<Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> &
<Original Text (ST)>

定義:このフィールドはサービス要求或いはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、明示的時間間隔フィールドの値を上書きする。CQ データ型の単位コンポーネントは、時間単位に制約される。

例:

TQ1|1|1|Q1H||60^min&&ISO+ - Q1H is defined with an interval between services of 60 minutes
TQ1|1|1|Q6H||6^hr&&ISO+ - Q6H is defined with an interval between services of 6 hours
TQ1|1|1|QD||1^d&&ISO+ - QD is defined with an interval between services of 1 day

TQ1-6 Service Duration サービス期間 (CQ) 01632

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> &
<Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> &
<Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、サービスが要求される期間を含む。

このフィールドの数量成分は、ポジティブで、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位ポーションは、時間の単位に制約される。

例:ワイヤープールを3日間に1日 20 分。3日ともサービス期間。

TQ1|1||TID|||3^d&&ISO+|||20^min&&ISO+|9<cr>

【処方】本規約では、薬剤の与薬日数をセットする。

TQ1-7 Start date/time 開始日/時間 (TS) 01633

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは、サービスが開始されるべき最早日/時間を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日/時間は暗示されるかサービス要求記録(例えば緊急-STAT)の他のフィールドによって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。

サービス実施では、しばしばサービス要求を受け取った後、このフィールドに値が記録される。しかしながら、終了時間は、サービス実施の内部使用のため、開始日/時間をベースとして計算している。

【処方】本規約では、投薬開始日時をセットする。

TQ1-8 End date/time 終了日/時間 (TS) 01634

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: サービス要求者によって実施される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最遅日/時間を含む。仮に指定された時間によってサービスが実行されなかった場合、そのサービスはまったく実行されるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するものではなく、サービス実施が終了日/時間を記入するかも知れない。それを受け取る施設と実際開始時間をベースとして。

終了日/時間の値に関わらず、サービスは期間或いは終了日/時間によって指定された最早日/時間で停止されるべき。

TQ1-9 Priority 優先度 (CWE) 01635

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、要求の優先度を記述する。仮にこのフィールドがブランクならデフォルトは R である。推奨値に関しては、使用者定義表 0485—拡張優先度コード を参照のこと。

使用者定義表 0485 - Extended Priority Codes 拡張優先度コード

Value	Description	Comment
S	Stat	最も高い優先度(緊急)
A	ASAP	S オーダの後で記入(できるだけ早く)
R	Routine	デフォルト(ルーチン)
P	Preop	(術前)
C	Callback	
T	Timing critical	要求はできるだけ要求時間に近づけることが重要。例えば抗菌レベル。
TS<integer>		タイミングは<整数値>秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値>分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値>時間以内であることが重要
TD<integer>		タイミングは<整数値>日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値>週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値>月以内であることが重要
PRN	As needed	

TQ1-10 Condition text 条件テキスト (TX) 01636

定義: これは薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。例えば、PRN pain、或いは血圧を110以下に保つこと

このフィールドの存在は、この薬がどのように、かつ或いはいつ与えられるべきかを決定するために人間のレビューが必要であるということを意味するためと捉えるべき。

TQ1-11 Text instruction テキスト指令 (TX) 01637

定義:このフィールドは、指示のフルテキスト版である。(オプション)

【処方】本規約では、頓用指示の場合のみ使用し、用法に関するコメント(用法コメント)など、Rp などのコメントを格納する。

TQ1-12 Conjunction 連結 (ID) 01638

定義:このフィールドは、2番目の TQ1 セグメントを従える。可能な値に関しては、HL7 表 04 72 – TQ 連結 ID を参照のこと。

HL7表 0472 -TQ Conjunction ID TQ 連結ID

Value	Description	Comment
S	同期(Synchronous)	同期。今回の指定の後に次の指定を行う(TQ1-7 –開始日時 およびTQ1-8 –終了日時により制限を受けなければ)。“S”指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に2番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の1時間はQ15分ごとに血圧を測定し、次の日には2時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期(Asynchronous)	今回の指定と並行して次の指定を行う(TQ1-7 –開始日時 およびTQ1-8 –終了日時により制限を受けなければ)。連結“A”により、投薬時などに散見される、2つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン1錠、火曜、木曜、土曜、日曜には1/2錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき(採血など)時間・優先度から、サービスを終了すべき(結果報告など)時間・優先度が区別できるようになる。

連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、**TQ1-8 終了日時**及び**TQ1-6 継続時間**の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この2つの成分のうち1つだけが存在する。

条件ルール:TQ1 セグメントがメッセージ内で繰返される場合、TQ1 セグメントに続く連続を意味する適切な継続時間コードで入力されるべきである。

TQ1-13 Occurrence duration 発生期間 (CQ) 01639

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:このフィールドはサービスの単独能力についての期間を含んでいる。このフィールドの数量成分は、入力時ポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位に制約される。

例えばワールプールを3日間、1日で20分を3回。TQオプションで繰り返し無し。

TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+|||||20^min&&ISO+|9<cr>

TQ1-14 Total occurrence's 発生総数 (NM) 01640

定義:このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの発生総数を含む。仮に終了日/時間(TQ1-8)と発生総数の両方が値を持ち、その発生数が終了日/時間を越えて延びる場合は、終了日/時間を優先する。その他の場合は発生数を優先する。

例:ワールプールを3日間、1日で20分を3回。総発生数が9回。

TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+|||||20^min&&ISO+|9<cr>

【処方】本規約では、頓用指示の場合、回数をセットする。

7.13 RXR - Pharmacy/Treatment Route Segment 投薬経路セグメント

薬剤／治療経路セグメントには、処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法の任意な組み合わせが含まれる。どの経路を選ぶかは、薬剤／治療スタッフ及び看護スタッフのいずれか、またはその両方に任されるが、その判断基準は、各スタッフの専門的判断か、医師の投薬指示に基づく。

RXR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		00309	Route 経路	
2	250	CWE	O	O		00310	Administration Site 投薬部位	
3	250	CWE	O	O		00311	Administration Device 投薬装置	
4	250	CWE	O	O		00312	Administration Method 投薬方法	
5	250	CWE	O	O		01315	Routing Instruction 経路指示	
6	250	CWE	O	O		01670	Administration Site Modifier 投薬部位モディファイア	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

RXR フィールド定義

RXR-1 Route 経路 (CWE) 00309

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは投薬の経路である。

NDCから派生したコードのように、最新の“経路コード”は、部位を既に含んでいる。そのような場合、全コードは、CWEデータタイプの“ローカル定義コード”として、このフィールドに含むことができる。有効な値は、使用者定義表0162－投薬経路を参照のこと。

【処方】本規約では、投与経路をセットする。

使用者定義表 0162 -Route of Administration 投薬経路

Value	Description	Value	Description
AP	Apply Externally 外用	MM	Mucous Membrane 粘膜
B	Buccal 頬	NS	Nasal 鼻側
DT	Dental 歯	NG	Nasogastric 経口経内腔
EP	Epidural 硬膜外	NP	Nasal Prongs* 鼻のブロング*
ET	Endotracheal Tube* 気管内チューブ*	NT	Nasotracheal Tube 鼻気管内チューブ
GTT	Gastrostomy Tube 消化器官	OP	Ophthalmic 眼
GU	GU Irrigant GU洗浄	OT	Otic 耳
IMR	Immerse (Soak) Body Part 浸透	OTH	Other/Miscellaneous その他/さまざま
IA	Intra-arterial 動脈内	PF	Perfusion 灌流
IB	Intrabursal 滑液包内	PO	Oral 口

Value	Description	Value	Description
IC	Intracardiac 心臓内	PR	Rectal 直腸
ICV	Intracervical (uterus) 子宮	RM	Rebreather Mask* リブリーザーマスク*
ID	Intradermal 皮膚内	SD	Soaked Dressing 湿性包帯
IH	Inhalation 吸入	SC	Subcutaneous 皮下
IHA	Intrahepatic Artery 肝内動脈	SL	Sublingual 舌下
IM	Intramuscular 筋肉内	TP	Topical 局所
IN	Intranasal 鼻腔内	TRA	Tracheostomy* 気管切開*
IO	Intraocular 眼内	TD	Transdermal 経皮的
IP	Intraperitoneal 腹腔内	TL	Translingual 経舌
IS	Intrasynovial 滑液包内	UR	Urethral 尿道
IT	Intrathecal 鞘内	VG	Vaginal 膣
IU	Intrauterine 子宮内	VM	Ventimask 換気マスク
IV	Intravenous 静脈内	WND	Wound 創傷
MTH	Mouth/Throat 口／喉		

*主として呼吸器治療および麻酔に使用される。

RXR-2 Administrative Site 投薬部位 (CWE) 00310

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、投薬経路の部位を含んでいる。このフィールドでコーディネートした後のコード表を使う場合は、このフィールドの意味を修正するためにRXR-6投薬サイト(RXR-6 Administration Site)が用いられることがある。

有効な値についてはHL7 表 0550—身体部位を参照のこと。後ろ向きの互換性については、HL7 表 0163—身体部位も利用できる。その他の適切な外用のコードセットも利用できる。(例, SNOMED)

【処方】本規約では、コード表として、JAMI 標準用法マスタを使用することを推奨する。

7.13.1 外用部位コード表(JAMI標準用法マスタ 表13)

部位名称	左右指定なし	左	右	両(左右)
全身	010	01L	01R	01B
頭皮	120	12L	12R	12B
頭部	130	13L	13R	13B
頭頂部	140	14L	14R	14B
後頭部	150	15L	15R	15B
ひたい	210	21L	21R	21B
顔	220	22L	22R	22B
まゆ	230	23L	23R	23B
まゆのまわり	240	24L	24R	24B
まぶた	250	25L	25R	25B
眼	260	26L	26R	26B
目のまわり	270	27L	27R	27B
頬	310	31L	31R	31B
鼻	320	32L	32R	32B
鼻のまわり	330	33L	33R	33B
鼻の下	340	34L	34R	34B
鼻腔内	350	35L	35R	35B
耳	420	42L	42R	42B
耳たぶ	430	43L	43R	43B
耳のうしろ	440	44L	44R	44B
耳のまわり	450	45L	45R	45B
耳の中	460	46L	46R	46B
口	520	52L	52R	52B
口のまわり	530	53L	53R	53B
口唇	540	54L	54R	54B
口腔内	550	55L	55R	55B
口腔内ほほの内側	560	56L	56R	56B
口腔内上あご部	570	57L	57R	57B
上歯茎部	580	58L	58R	58B

部位名称	左右指定なし	左	右	両(左右)
下歯茎部	590	59L	59R	59B
舌	5A0	5AL	5AR	5AB
舌の裏側	5B0	5BL	5BR	5BB
喉の奥	610	61L	61R	61B
扁桃腺部	620	62L	62R	62B
下あご	630	63L	63R	63B
首	640	64L	64R	64B
うなじ	650	65L	65R	65B
肩	710	71L	71R	71B
上肢	720	72L	72R	72B
腕	730	73L	73R	73B
上腕	740	74L	74R	74B
前腕	750	75L	75R	75B
ひじ	760	76L	76R	76B
手	770	77L	77R	77B
手の甲	780	78L	78R	78B
手のひら	790	79L	79R	79B
手の指	7A0	7AL	7AR	7AB
手の指の間	7B0	7BL	7BR	7BB
手の爪	7C0	7CL	7CR	7CB
手足	7D0	7DL	7DR	7DB
体幹部	810	81L	81R	81B
背中	820	82L	82R	82B
上背部	830	83L	83R	83B
脇の下	840	84L	84R	84B
全胸部	850	85L	85R	85B
乳房	860	86L	86R	86B
乳房まわり	870	87L	87R	87B
乳首	880	88L	88R	88B
上腹部	890	89L	89R	89B
下腹部	8A0	8AL	8AR	8AB
へそ	8B0	8BL	8BR	8BB
へそのまわり	8C0	8CL	8CR	8CB
臀部	8D0	8DL	8DR	8DB
陰のう	8E0	8EL	8ER	8EB
陰部	8F0	8FL	8FR	8FB
股間部	8G0	8GL	8GR	8GB
肛門部	8H0	8HL	8HR	8HB
肛門周囲	8J0	8JL	8JR	8JB
下肢	910	91L	91R	91B
ふともも	920	92L	92R	92B
ふともも後ろ	930	93L	93R	93B
ふとももとすね	940	94L	94R	94B
膝	950	95L	95R	95B
膝のうら	960	96L	96R	96B
すね	970	97L	97R	97B
ふくらはぎ	980	98L	98R	98B
くるぶし	990	99L	99R	99B
かかと	9A0	9AL	9AR	9AB
足	9B0	9BL	9BR	9BB
足の裏	9C0	9CL	9CR	9CB
足の甲	9D0	9DL	9DR	9DB
足のゆび	9E0	9EL	9ER	9EB
足のゆびの間	9F0	9FL	9FR	9FB
足の爪	9G0	9GL	9GR	9GB
かゆい所	A10	A1L	A1R	A1B
カサカサした所	A20	A2L	A2R	A2B
じくじくした所	A30	A3L	A3R	A3B
ひどい所	A40	A4L	A4R	A4B
褥瘡部	A50	A5L	A5R	A5B
発赤部	A60	A6L	A6R	A6B
発疹部	A70	A7L	A7R	A7B
ストマ部	A80	A8L	A8R	A8B
カテ挿入部	A90	A9L	A9R	A9B
患部	AA0	AAL	AAR	AAB

RXR-3 Administrative Device 投薬装置 (CWE) 00311

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは投薬または他の治療の一助に使用される機械装置を含んでいる。よくある例としては、各種点滴セットがある。有効な値については、使用者定義表0164－投薬装置を参照。

使用者定義表 0164 -Administration Device 投薬装置

Value	Description	Value	Description
AP	Applicator アプリケーター	IVS	IV Soluset 点滴溶剤セット
BT	Buretrol ビューレトロール	MI	Metered Inhaler メーター付吸入器
HL	Heparin Lock ヘパリン固定具	NEB	Nebulizer 噴霧器
IPPB	IPPB	PCA	PCA Pump PCAポンプ
IVP	IV Pump 点滴ポンプ		

RXR-4 Administrative Method 投薬方法 (CWE) 00312

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:投薬方法の指定により、患者への投薬や治療に必要な特定の方法を識別する。有効な値については、使用者定義表0165－投薬方法を参照。

使用者定義表 0165 -Administration Method 投薬方法

Value	Description	Value	Description
CH	Chew 咀嚼	NB	Nebulized 噴霧装置適用
DI	Dissolve 溶解	PT	Pain 痛み
DU	Dust 掃除	PF	Perfuse 灌流
IF	Infiltrate 浸透	SH	Shampoo 洗髪
IS	Insert 挿入	SO	Soak 浸透
IR	Irrigate 洗浄	WA	Wash 洗浄
IVPB	IV Piggyback IVピギーバック	WI	Wipe 拭き取り
IVP	IV Push IVプッシュ		

RXR-5 Routing Instruction 経路指示 (CWE) 01315

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、特に1つを越える投薬経路が可能な時に、投薬経路についての指示を提供する。典型的な場合は、1ラインを越えるIVラインが注入用の可能な経路の時、どのIVラインを使用しなければならないかを指定する。

RXR-6 Administration Site Modifier 投薬部位モディファイアー (CWE) 01315

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドには、RXR-2投薬部位の意味を修正するモディファイアーが含まれている。このフィールドに使われているコード表はRXR-2投薬部位に使われているコード表に依拠する。もしRXR-2 が HL7表0550－身体部位を用いる場合にはこのフィールドは、HL7表0495－身体部位モディファイアー (HL7 V2.5の4.23.4参照)からの値のみを入れることが出来る。もし、RXR-2 がHL7表0163－身体サイトを用いる場合は、RXR-6 には何も入れてはならない。その他のコードセットの場合 (例、RXR-2の中のSNOMED)、RXR-6にはモディファイアーがそのコードセットの中に定義されているか、もしくは関連がある場合にのみ入れられ得る。

条件原則:このフィールドは、RXR-2投薬部位にコードが入っている場合にのみ使われる事が出来る。このフィールドは、もしRXR-2にコードが入っているならば必要とされない。

7.14 RCP – Response Control Parameter Segment 応答コントロールパラメータセグメント

RCP セグメントは、照会に対する応答で返送されるべきデータの、量を制限するために使われる。

RCP属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RPI#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ID	O	O		00027	Query Priority 照会優先度	
2	10	CQ	O	O		00031	Quantity Limited Request 数量制限要求	
3	250	CWE	O	O		01440	Response Modality 応答様式	
4	26	TS	C	N		01441	Execution and Delivery Time 実行および配送時間	
5	1	ID	O	N		01443	Modify Indicator 変更表示子	
6	512	SRT	O	N	Y	01624	Sort-by Field ソートするフィールド	
7	256	ID		O	Y	01594	Segment group inclusion セグメント・グループ包含	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. Use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

RCP フィールド定義

RCP-1 Query Priority 照会 優先度 (ID) 00027

定義:このフィールドは応答が期待されるタイムフレームが含まれる。

提案される値については、HL7 表 0091—照会優先度を参照。表値とその後のフィールドは、応答のためのタイムフレームを指定する。

HL7表 0091 – Query Priority 照会優先度

Value	Description	Comment
D	Deferred 遅延	
I	Immediate 即時	

RCP-2 Quantity Limited Request 数量制限要求 (CQ) 00031

Components : <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、要求しているシステムにより受け入れられる応答の最大長が含まれる。有効な入力、第2のコンポーネントで指定されたユニットで与えられる数値(最初のコンポーネントに)である。デフォルトは LI (ライン)。

第2のコンポーネントの有効なエントリーは、HL7 表 0126 —数量制限要求を参照。セグメントパターン応答では、ラインは1つのセグメントとして定義される。

HL7 表 0126 – Quantity Limited Request 数量制限要求

Value	Description	Message Usage	Comment
CH	Characters 文字	RSP/RTB/RDY	Used where size of input buffer has limitations
LI	Lines 行	RTB/RDY	
PG	Pages ページ	RDY	
RD	Records レコード	RSP/RTB/RDY	In RSP record = hit
ZO	Locally defined ローカル定義		

RCP-3 Response Modality 応答様式 (CWE) 01440

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは、応答メッセージのタイミングとグルーピングを指定する。有効な値については、HL7 表 0394－応答様式を参照。

HL7 表 0394 – Response Modality 応答様式

Value	Description	Comment
R	Real Time リアルタイム	
T	Bolus (a series of responses sent at the same time without use of batch formatting)/ バッチ以外の事前処理	
B	Batch バッチ	

RCP-4 Execution and Delivery Time 実行及び配送時間 (TS) 01441

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

返送される応答の時間を指定する。このフィールドは、RCP-1 照会優先度が D (遅延)の値の時に限り、評価される(値が入れられる)

RCP-5 Modify Indicator 変更表示子 (ID) 01443

定義:このフィールドは、申し込みが新しいものか、あるいは変更がされつつあるのかを指定する。有効な値については、HL7 表 0395－変更指示子を参照。

HL7表 0395 – Modify Indicator 変更指示子

Value	Description	Comment
N	New Subscription 新規	
M	Modified Subscription 変更	

RCP-6 Sort-by Field ソートするフィールド (SRT) 01624

Components: <Sort-by Field (ST)> ^ <Sequencing (ID)>

定義: 表になっている返答を求める照会のために、このフィールドは、どちらのフィールドによって、応答がソートされるかということ、そして、区分けをする順序を指定する。QSC 別形が用いられていないときに、このフィールドの最初のコンポーネントのために指定された値は、アウトプット仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。セクション 5.3.3.1 を参照。QSC 別形が使われるときには、これらの値はインプット/アウトプット仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。例についてはセクション 5.9.4.1 を参照。

このフィールドのそれぞれの繰り返しは、1つのソート・フィールドを指定する。このように、このフィールドの最初の繰り返しは、第一次的なソート・フィールドを指定する; 第2の繰り返しは、第二次的なソート・フィールドを指定する; etc。

RCP-7 Segment Group Inclusion セグメント・グループ包含 (ID) 01594

定義: 応答に含まれるオプション・セグメント・グループを指定する。セグメント・グループの値については、HL7 テーブル 0391－セグメント・グループを参照。これは、複数のセグメント・グループを含めるための繰り返しフィールドである。このフィールドのデフォルト(表されていない)は、全ての関連するグループが含まれることを意味する。

注: セグメント・グループのためのコードは、HL7表0391から取り出されるが、セグメント・グループ(e.g. PIDG)の正確なセグメント・レベルの定義は、そのセグメント・グループが現れる、その照会のコンフォーマンス・ステートメントの中だけから与えられる。

例:

HL7 表 0391 – Segment Group セグメント・グループ

Value	Description	Comment
PIDG	PID group	
OB RG	OBR group	
ORCG	ORC group	
RXAG	RXA group	
RXDG	RXD group	
RXEG	RXE group	
RXOG	RXO group	
Etc		

注: HL7表 0391ーセグメント・グループは、現在、HL7によって定義されたいかなる値も含まない。値はHL7技術委員会によって投票により同意されたものがコンフォーマンス・ステートメント中にあるので、それらがこのテーブルに含まれるだろう。

付録—1. メッセージ使用例

この節では、実際の処方例に基づき、処方メッセージがどのように構築されるかを示すことで、規約の解釈の相違により、メッセージの使用法に相違が出ない様にするにある。

次の処方例について、メッセージの例を示す。また、図1に処方せんイメージと HL7 メッセージの対応関係を示す。

- (1) 内服薬
- (2) 外用薬
- (3) 座薬
- (4) 麻薬
- (5) 頓服薬
- (6) 漸増（漸減）投与
- (7) 隔日投与
- (8) 不均等投与
- (9) 交互投与

- (A-1) 患者情報照会メッセージ
- (A-2) 患者情報応答メッセージ
- (B-1) 処方依頼情報照会メッセージ
- (B-2) 処方依頼情報応答メッセージ

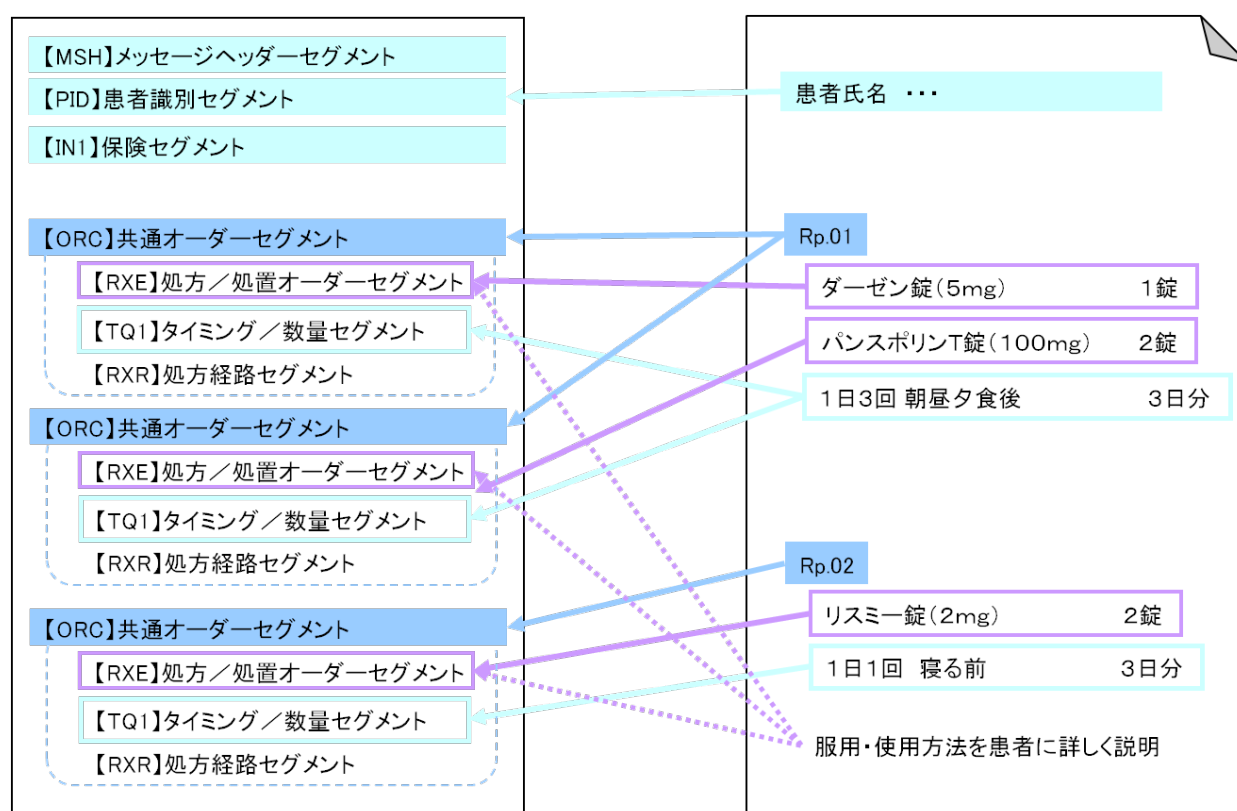


図1 処方せんイメージと HL7 メッセージとのマッピング図

(1) 内服薬

項目名	項目値	備考
オーダ番号	12345678	
依頼日	2012/08/25	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(0)	
処方区分	外来院内処方	
Rp1	Rp 番号	01 ^①
	薬剤-1	ダーゼン錠 (5mg) ^② (108665201)
	1日用量-1	3錠 ^③
	薬剤-2	パンスポリンT錠 (100mg) ^④ (110626901)
	1日用量-2	6錠 ^⑤
	用法	1日3回 毎食後 ^⑥
	開始日	2012/08/25
	投与期間	3日分 ^⑦
Rp2	Rp 番号	02 ^⑧
	薬剤-1	アレピアチン10倍散 ^⑨ (100607002)
	1日用量-1	100mg ^⑩
	薬剤-2	フェノバルビタール10倍散 ^⑪ (100565305)
	1日用量-2	100mg ^⑫
	用法	1日2回 朝夕食後 ^⑬
	開始日	2012/08/25
	投与期間	14日分 ^⑭

【処方せん表記の参考例】

Rp1 ダーゼン錠 5mg^② 1錠^⑮ (1日3錠)^③
 パンスポリンT錠 100mg^④ 2錠^⑯ (1日6錠)^⑤
 1日3回朝昼夕食後^⑥ 3日分^⑦
 Rp2 アレピアチン10倍散^⑨ 50mg^⑰ (1日100mg)^⑩
 フェノバルビタール10倍散^⑪ 50mg^⑱ (1日100mg)^⑫
 1日2回朝夕食後^⑬ 14日分^⑭

MSH|^~¥&|SEND|RECEIVE||20120821161523||RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994<CR>
 PID||1000000001^^^PI||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19601224|M<CR>
 IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|^^<CR>
 ORC|NW|12345678||12345678_01|||20120825|||123456^山田^太郎^^^^L^^^^I^ヤマダ^タロウ
 ^^^^^L^^^^P|||01^内科^99Z01|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
 RXE||108665201^ダーゼン錠(5mg)^HOT|1||TAB^錠^MR9P|||9|TAB^錠^MR9P|||3^TAB&錠
 &MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P|||21^内服薬^JHSP0003<CR>
 TQ1||^1013044400000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20120825<CR>
 ⑥ ⑦

RXR|P0^ロ^HL70162<CR>
 ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20120825||||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
 ^^^^^L^^^^P|||||01^内科^99Z01|||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
 RXE||110626901^バンスポリン(100mg)^HOT|2||TAB^錠^MR9P|||||18|TAB^錠^MR9P|||||||6^TAB&錠
 &MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003<CR>
 TQ1|||1013044400000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20120825<CR>
 RXR|P0^ロ^HL70162<CR>
 ORC|NW|12345678||12345678_02|||||20120825||||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
 ^^^^^L^^^^P|||||01^内科^99Z01|||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
 RXE||100607002^アレピアチン10倍散^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P||||1.4|G^グ
 ラム^MR9P|||||||100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P||||100|MG^ミリグ
 ラム^MR9P|21^内服薬^JHSP0003<CR>
 TQ1|||1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20120825<CR>
 RXR|P0^ロ^HL70162<CR>
 ORC|NW|12345678||12345678_02|||||20120825||||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
 ^^^^^L^^^^P|||||01^内科^99Z01|||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
 RXE||100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P||||1.4|G^グ
 ラム^MR9P|||||||100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P||||100|MG^ミリグ
 ラム^MR9P|21^内服薬^JHSP0003<CR>
 TQ1|||1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20120825<CR>
 RXR|P0^ロ^HL70162<CR>
 <EOM>

■ MSHセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^^¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20120821161523	
9	メッセージ型	RDE^011^RDE_011	
10	メッセージ制御ID	201208211615230143	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	1	
2	保険プランID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社ID	""	

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20120825	
12	オーダ発行者	123456山田太郎~~~~~L~~~~~I~~ヤマダタロウ ~~~~~L~~~~~p	
17	入力組織	01内科99Z01	
29	オーダタイプ	0外来患者オーダHL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	108665201ダーゼン錠(5mg)HOT	
3	与薬量-最小	1	
5	与薬単位	TAB錠MR9P	
10	調剤量	9	
11	調剤単位	TAB錠MR9P	
19	1日あたりの総投与量	3TAB&錠MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP外来処方MR9POHI院内処方MR9P	
27	与薬指示	21内服薬JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013044400000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食後 &JAMISDP01	
6	サービス期間	3D&日ISO+	
7	開始日時	20120825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	P0口HL70162	

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20120825	
12	オーダ発行者	123456山田太郎~~~~~L~~~~~I~~ヤマダタロウ ~~~~~L~~~~~p	
17	入力組織	01内科99Z01	
29	オーダタイプ	0外来患者オーダHL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	110626901^バンスポリン(100mg)^HOT	
3	与薬量-最小	2	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	18	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	1日あたりの総投与量	6^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服薬^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013044400000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食後 &JAMISDP01	
6	サービス期間	3^D&日&ISO+	
7	開始日時	20120825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	P0^口^HL70162	

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_02	
9	トランザクション日時	20120825	
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^p	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	0^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100607002^アレビアチン 10 倍散^HOT	
3	与薬量-最小	50	
5	与薬単位	MG^ミリグラム^MR9P	
6	与薬剤形	PWD^散剤^MR9P	
10	調剤量	1.4	
11	調剤単位	G^グラム^MR9P	
19	1日あたりの総投与量	100^MG&ミリグラム&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
25	与薬力価	100	
26	与薬力価単位	MG^ミリグラム^MR9P	

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
27	与薬指示	21^内服薬^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後 &JAMISDP01	
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	
7	開始日時	20120825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	P0^口^HL70162	

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_02	
9	トランザクション日時	20120825	
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	0^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT	
3	与薬量-最小	50	
5	与薬単位	MG^ミリグラム^MR9P	
6	与薬剤形	PWD^散剤^MR9P	
10	調剤量	1.4	
11	調剤単位	G^グラム^MR9P	
19	1日あたりの総投与量	100^ミリグラム&MG&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
25	与薬力価	100	
26	与薬力価単位	MG^ミリグラム^MR9P	
27	与薬指示	21^内服薬^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後 &JAMISDP01	
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	
7	開始日時	20120825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	P0^口^HL70162	

(2) 外用薬

項目名	項目値	備考
オーダー番号	12345678	
依頼日	2012/08/25	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(O)	
処方区分	外来院外処方	
Rp1	Rp 番号	01 ①
	薬剤	ジフラル軟膏 0.05%(106238001)
	全量	2本 ③
	用法	1日4回左手塗布 ④ ⑤ ⑥
	開始日	2012/08/25
	投与期間	指定なし

【処方せん表記の参考例】

Rp01 ① ジフラル軟膏 0.05% ② 2本 ③
 (塗布薬) ④ 1日4回 ⑤
 左手 ⑥

MSH|^~\&|SEND|RECEIVE|20120825161523|RDE^011^RDE_011|201208251615230143|P|2.5||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994<CR>
 PID|||1000000001^^^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19601224|M<CR>
 IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|^^<CR>
 ORC|NW|12345678||12345678_01|||20120825134500|123456^山田^太郎^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ
 ^^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^L^^^^P|||01^内科
 ^99Z01|||||10^外来患者オーダー^HL70482<CR>
 RXE||106238001^ジフラル軟膏 0.05%^HOT|^^|OIT^軟膏^MR9P|||2|HON^本^MR9P|||||OHP^
 外来処方^MR9P^OH0^院外処方^MR9P|||||23^外用薬^JHSP0003<CR>
 TQ1|||2B74000000000000&外用・塗布・1日4回&JAMISDP01|||20120825<CR>
 RXR|AP^外用^HL70162|77L^左手^JAMISDP01<CR> ④
 <EOM> ⑤

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^~\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20120825161523	
9	メッセージ型	RDE^011^RDE_011	
10	メッセージ制御 ID	201208251615230143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20120825134500	
10	入力者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^p	
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^p	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	0^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	106238001^ジフラー軟膏 0.05%^HOT	
3	与薬量-最小	""	
5	与薬単位	""	
6	与薬剤形	01T^軟膏^MR9P	
10	調剤量	2	
11	調剤単位	HON^本^MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P^OH0^院外処方^MR9P	
27	与薬指示	23^外用薬^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	2B74000000000000&外用・塗布・1日4回&JAMISDP01	
7	開始日時	20120825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	AP^外用^HL70162	
2	投薬部位	77L^左手^JAMISDP01	

(3) 坐薬

項目名	項目値	備考
オーダ番号	12345678	
依頼日	2012/08/21	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
入外区分	外来(0)	
処方区分	外来院外処方	
Rp1	Rp 番号	01 ^①
	薬剤	ボラギノールN坐薬(105625901) ^②
	1日用量	2個 ^③
	用法	1日2回朝夕 ^④
	開始日	2012/08/25
	投与期間	14日分

【処方せん表記の参考例】

Rp1 ボラギノールN坐薬^② 1個 (1日2個)^③
^①1日2回朝夕^④ 14日分^⑤

```
MSH|^~\&|SEND|RECEIVE|20120821161523|RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID||1000000001^^^PI||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678|12345678_01|||20120821||123456^山田^太郎^^^^L^^^^I^ヤマダ^タロウ
^^^^L^^^^P|||01^内科^99Z01|||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105625901^ボラギノールN坐薬^HOT|1||K0^個^MR9P|SUP^坐剤^MR9P|||28|K0^個
^MR9P|||||2^K0&個&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OH0^院外処方^MR9P|||23^外用薬^JHSP0003<CR>
TQ1||2R62090900000000&外用・肛門挿入・1日2回朝夕&JAMISDP01||14^D&日&ISO+|20120825<CR>
RXR|PR^直腸^HL70162|8H0^肛門部^JAMISDP01<CR>
<EOM>
```

■ MSHセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	符号化文字	^^\&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20120821161523	
9	メッセージ型	RDE^011^RDE_011	
10	メッセージ制御ID	201208211615230143	
11	処理ID	P	
12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PIDセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORCセグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20120821	
12	オーダ発行者	123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ ^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	0^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105625901^ボラギノールN坐薬^HOT	
3	与薬量-最小	1	
5	与薬単位	K0^個^MR9P	
6	与薬剤形	SUP^坐剤^MR9P	
10	調剤量	28	
11	調剤単位	K0^個^MR9P	
19	1日あたりの総投与量	2^K0 &個&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P	
27	与薬指示	23^外用薬^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	2R6209090000000&外用・肛門挿入・1日2回朝夕 &JAMISDP01	
6	サービス期間	14^D&日&IS0+	
7	開始日時	20120825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PR^直腸^HL70162	
2	投薬部位	8H0^肛門部^JAMISDP01	

(4) 麻薬

項目名	項目値	備考
オーダ番号	12345678	
依頼日	2012/08/21	
依頼医	山田太郎(123456)	
依頼科	内科(01)	
麻薬施用者番号	4-321	
入外区分	入院処方	
処方区分	入院定期処方	
Rp1	Rp 番号	01 ①
	薬剤	MSコンチン錠 10mg (112052301)
	1日用量	4錠 ②
	用法	1日2回 12時間毎 ③
	開始日	2012/08/25 ④
	投与期間	7日分 ⑤

【処方せん表記の参考例】

Rp01 ① MSコンチン錠 10mg ②
1日2回 (12時間毎) ④
4錠 ③
7日分 ⑤

MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20120821161523||RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5||||~ISO IR87|
|ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^~~~PI||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20120821120000|123456^山田^太郎^~~~~~L^~~~~~I^~ヤマダ^タロウ^~~~~
~~~~~L^~~~~~P||123456^山田^太郎^~~~~~L^~~~~~I^~ヤマダ^タロウ^~~~~~L^~~~~~P|||||01^内科^99Z01|||||  
|||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||112052301^MSコンチン錠 10mg^HOT|2||TAB^錠^MR9P|||||28|TAB^錠^MR9P||4-321^山田^太郎^~~~~  
~~~L^~~~~~I|||||4^TAB&錠&MR9P||IHP^入院処方^MR9P^XTR^定期処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003<CR>  
TQ1|||1022000000000000&内服・経口・1日2回12時間毎&JAMISDP01||||7^D&日&ISO+|20120825<CR>
RXR|P0^口^HL70162<CR> ④ ⑤
<EOM>

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----|
| 2 | 符号化文字 | ^~¥& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821161523 | |
| 9 | メッセージ型 | RDE^011^RDE_011 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 201208211615230143 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |

| | | | |
|----|------------|---------------|--|
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |
|----|------------|---------------|--|

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|------------------------------|----|
| 3 | 患者 ID リスト | 1000000001^^^^PI | |
| 5 | 患者氏名 | 患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P | |
| 7 | 生年月日 | 19601224 | |
| 8 | 性別 | M | |

■ IN1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------------|----|
| 1 | セット ID | 1 | |
| 2 | 保険プラン ID | 06^組合管掌健康保険^JHSD0001 | |
| 3 | 保険会社 ID | "" | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_01 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120821120000 | |
| 10 | 入力者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^^P | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^^P | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | I^入院患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 112052301^MSコンチン錠 10mg^H0T | |
| 3 | 与薬量-最小 | 2 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 28 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 13 | オーダ発行者の DEA 番号 | 4-321^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 4^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | IHP^入院処方^MR9P^XTR^定期処方^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1022000000000000&内服・経口・1日2回12時間毎
&JAMISDP01 | |
| 6 | サービス期間 | 7^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120825 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | |

(5) 頓服薬

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|--------------|---------------------------|
| オーダ番号 | 12345678 | |
| 依頼日 | 2012/08/21 | |
| 依頼医 | 山田太郎(123456) | |
| 依頼科 | 内科(01) | |
| 入外区分 | 外来(0) | |
| 処方区分 | 外来院内処方 | |
| Rp1 | Rp 番号 | 01 ① |
| | 薬剤 | ボルタレン錠(25g) (100795402) ② |
| | 1回用量(日) | 1錠 (2錠) ③ |
| | 用法 | 疼痛時 ④ |
| | 開始日 | 2012/08/25 |
| | 投与期間 | 5日分(10回分) ⑤ |

【処方せん表記の参考例】

Rp1 ボルタレン錠(25g) ② 1錠 ③
 ① 疼痛時 ④ 10回分 ⑤
 ⑥ 1日2回まで ⑥

```
MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20120821161523||RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^~PI||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20120821|||123456^山田^太郎^~~~~~L^~~~~I^ヤマダ^タロウ
~~~~~L^~~~~P|||||01^内科^99Z01|||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||100795402^ボルタレン錠 25mg^HOT|||TAB^錠^MR9P|||||10|TAB^錠^MR9P||||||2^TAB&錠
&MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P|||22^頓服薬^JHSP0003<CR>
TQ1|||1050110020000000&内服・経口・疼痛時&JAMISDP01||||20120825|||1日2回まで|||10<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----|
| 2 | 符号化文字 | ^^\& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821161523 | |
| 9 | メッセージ型 | RDE^011^RDE_011 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 201208211615230143 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|------------------------------|----|
| 3 | 患者 ID リスト | 1000000001^^^^PI | |
| 5 | 患者氏名 | 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P | |
| 7 | 生年月日 | 19601224 | |
| 8 | 性別 | M | |

■ IN1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------------|----|
| 1 | セット ID | 1 | |
| 2 | 保険プラン ID | 06^組合管掌健康保険^JHSD0001 | |
| 3 | 保険会社 ID | "" | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_01 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120821 | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I~^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^^P | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | 0^外来患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 100795402^ボルタレン錠 25mg^HOT | |
| 3 | 与薬量-最小 | 1 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 10 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 2^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 22^頓用薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------------------------|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1050110020000000&内服・経口・疼痛時&JAMISDP01 | |
| 7 | 開始日時 | 20120825 | |
| 11 | テキスト指令 | 1日2回まで | |
| 14 | 発生総数 | 10 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^ロ^HL70162 | |

(6) 漸増（漸減）投与

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|--------------|---|
| オーダ番号 | 12345678 | |
| 依頼日 | 2012/08/21 | |
| 依頼医 | 山田太郎(123456) | |
| 依頼科 | 内科(01) | |
| 入外区分 | 外来(O) | |
| 処方区分 | 外来院内処方 | |
| Rp1 | Rp 番号 | 01 ^① |
| | 薬剤 | ペルマックス錠 50 μ g (101230901) ^② |
| | 1 回用量(日) | 1 錠 (1 錠) ^③ |
| | 用法 | 1 日 1 回夕食直後 ^④ |
| | 開始日 | 2012/08/25 ^⑤ |
| | 投与期間 | 2 日分 ^⑥ |
| Rp2 | Rp 番号 | 02 ^⑦ |
| | 薬剤 | ペルマックス錠 50 μ g (101230901) ^⑧ |
| | 1 回用量(日) | 2 錠 (4 錠) ^⑨ |
| | 用法 | 1 日 2 回朝夕食直後 ^⑩ |
| | 開始日 | 2012/08/27 ^⑪ |
| | 投与期間 | 3 日分 ^⑫ |
| Rp3 | Rp 番号 | 03 ^⑬ |
| | 薬剤 | ペルマックス錠 50 μ g (101230901) ^⑭ |
| | 1 回用量(日) | 3 錠 (9 錠) ^⑮ |
| | 用法 | 1 日 3 回毎食直後 ^⑯ |
| | 開始日 | 2012/08/30 ^⑰ |
| | 投与期間 | 2 日分 ^⑱ |

【処方せん表記の参考例】

| | | |
|-------------------|---------------------------------|-------------------|
| Rp01 ^① | ペルマックス錠 50 μ g ^② | 1 錠 ^③ |
| | 1 日 1 回夕食直後 ^④ | 2 日分 ^⑥ |
| | 8月25日から | |
| Rp02 ^⑦ | ペルマックス錠 50 μ g ^⑧ | 4 錠 ^⑨ |
| | 1 日 2 回朝夕食直後 ^⑩ | 3 日分 ^⑫ |
| | 8月27日から | |
| Rp03 ^⑬ | ペルマックス錠 50 μ g ^⑭ | 9 錠 ^⑮ |
| | 1 日 3 回朝昼夕食直後 ^⑯ | 2 日分 ^⑱ |
| | 8月30日から | |

```

MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20120821161523||RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5||||~ISO IR87|
|ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^~~~~PI||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01||||20120821103242|123456^山田^太郎^~~~~L^~~~~I^ヤマダ^タロウ^~~~~
~~~~L^~~~~P||123456^山田^太郎^~~~~L^~~~~I^ヤマダ^タロウ^~~~~L^~~~~P||||01^内科^99Z01|||||

```

|||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||101230901^ペルマックス錠50μg^HOT|1||TAB^錠^MR9P|||||2|TAB^錠^MR9P|||||||1^TAB&錠^MR9P|
|OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1||101103000000000&内服・経口・1日1回夕食直後^JAMISDP01|||2^D&日&ISO+|20120825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_02|||||20120821103242|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^
^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^L^^^^P|||||01^内科^99Z01|||||
|||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||101230901^ペルマックス錠50μg^HOT|2||TAB^錠^MR9P|||||12|TAB^錠^MR9P|||||||4^TAB&錠^MR9P|
|OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1||1012030300000000&内服・経口・1日2回朝夕食直後^JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20120827<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_03|||||20120821103242|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^
^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^L^^^^P|||||01^内科^99Z01|||||
|||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||101230901^ペルマックス錠50μg^HOT|3||TAB^錠^MR9P|||||18|TAB^錠^MR9P|||||||9^TAB&錠^MR9P|
|OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1||1013033300000000&内服・経口・1日3回朝夕食直後^JAMISDP01|||2^D&日&ISO+|20120830<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----|
| 2 | 符号化文字 | ^~¥& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821161523 | |
| 9 | メッセージ型 | RDE^011^RDE_011 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 201208211615230143 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|------------------------------|----|
| 3 | 患者 ID リスト | 1000000001^^^^PI | |
| 5 | 患者氏名 | 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P | |
| 7 | 生年月日 | 19601224 | |
| 8 | 性別 | M | |

■ IN1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------------|----|
| 1 | セット ID | 1 | |
| 2 | 保険プラン ID | 06^組合管掌健康保険^JHSD0001 | |
| 3 | 保険会社 ID | "" | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_01 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120821103242 | |
| 10 | 入力者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^p | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^p | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | I^入院患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 101230901^ペルマックス錠50μg^HOT | |
| 3 | 与薬量-最小 | 1 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 2 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 1^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1011030000000000&内服・経口・1日1回夕食直後
&JAMISDP01 | |
| 6 | サービス期間 | 2^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120825 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_02 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120821103242 | |
| 10 | 入力者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^p | |

| | | | |
|----|--------|---|--|
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^p | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | I^入院患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 101230901^ペルマックス錠50μg^HOT | |
| 3 | 与薬量-最小 | 2 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 12 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 4^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1012030300000000&内服・経口・1日2回朝夕食直後
&JAMISDP01 | |
| 6 | サービス期間 | 3^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120827 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_03 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120821103242 | |
| 10 | 入力者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^p | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^p | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | I^入院患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 101230901^ペルマックス錠50μg^HOT | |
| 3 | 与薬量-最小 | 3 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 18 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 9^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | 0HP^外来処方^MR9P~0H1^院内処方^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1013033300000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食直後&JAMISDP01 | |
| 6 | サービス期間 | 2^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120830 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | |

(7) 隔日投与

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|--------------|-------------------------|
| オーダ番号 | 12345678 | |
| 依頼日 | 2012/08/21 | |
| 依頼医 | 山田太郎(123456) | |
| 依頼科 | 内科(01) | |
| 入外区分 | 外来(0) | |
| 処方区分 | 外来院内処方 | |
| Rp1 | Rp 番号 | 01 ① |
| | 薬剤 | プレドニン錠5mg (105271807) ② |
| | 1日用量 | 3錠 ③ |
| | 用法 | 1日1回朝食後(隔日) ④ |
| | 開始日 | 2012/08/25 ⑤ |
| | 投与期間 | 7日分(14日間) ⑥ |

【処方せん表記の参考例】

Rp01 ① プレドニン錠5mg ②
 1日1回朝食後 ④
 1日おきに服用 ⑤

3錠 ③
7日分

```

MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20120821161523||RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^PI||患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||20120825|||123456^山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ
^^^^L^P|||01^内科^99Z01|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠5mg^HOT|3||TAB^錠^MR9P|||21|TAB^錠^MR9P|||3^TAB&錠
&MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P|||21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1||1011000400000000&内服・経口・1日1回朝食後&JAMISDP01~Q2D&隔日&HL70335||14^D&日
&ISO+|20120825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
  
```

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----|
| 2 | 符号化文字 | ^^\& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821161523 | |
| 9 | メッセージ型 | RDE^011^RDE_011 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 201208211615230143 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|------------------------------|----|
| 3 | 患者 ID リスト | 1000000001^^^PI | |
| 5 | 患者氏名 | 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P | |
| 7 | 生年月日 | 19601224 | |
| 8 | 性別 | M | |

■ IN1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------------|----|
| 1 | セット ID | 1 | |
| 2 | 保険プラン ID | 06^組合管掌健康保険^JHSD0001 | |
| 3 | 保険会社ID | "" | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_01 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120825 | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^^p | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | 0^外来患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 105271807^プレドニン錠5mg^HOT | |
| 3 | 与薬量-最小 | 3 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 21 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 3^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1011000400000000&内服・経口・1日1回朝食後
&JAMISDP01~Q2D&隔日&HL70335 | |
| 6 | サービス期間 | 14^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120825 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | |

(8) 不均等投与

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|--------------|---------------------------|
| オーダ番号 | 12345678 | |
| 依頼日 | 2012/08/21 | |
| 依頼医 | 山田太郎(123456) | |
| 依頼科 | 内科(01) | |
| 入外区分 | 外来(O) | |
| 処方区分 | 外来院内処方 | |
| Rp1 | Rp 番号 | 01 ^① |
| | 薬剤 | プレドニン錠5mg(105271807) |
| | 1日用量 | 7錠(4錠-2錠-1錠) ^② |
| | 用法 | 1日3回毎食後(不均等) ^③ |
| | 開始日 | 2012/08/25 ^④ |
| | 投与期間 | 7日分 ^⑤ |

【処方せん表記の参考例】

Rp01^① プレドニン錠5mg^② 朝4錠、昼2錠、夕方1錠(1日7錠)^③
1日3回朝昼夕食後^④ 7日分^⑤

```
MSH|^~\&|SEND|RECEIVE|20120821161523|RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5||||~ISO IR87|
|ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^PI||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|^^^<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||20120821104529|123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^
^^^^L^^^^P||123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^I^^ヤマダ^タロウ^^^^^^L^^^^P||||01^内科^99Z01|||||
||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠5mg^HOT||1|4|TAB^錠^MR9P||||49|TAB^錠^MR9P|||||7^TAB&錠&MR9P||0
HP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P~DVD^4-2-1^MR9P||||21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食後&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20120825<CR>
RXR|P0^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----|
| 2 | 符号化文字 | ^~\& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821161523 | |
| 9 | メッセージ型 | RDE^011^RDE_011 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 201208211615230143 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|------------------------------|----|
| 3 | 患者 ID リスト | 1000000001^^^^PI | |
| 5 | 患者氏名 | 患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P | |
| 7 | 生年月日 | 19601224 | |
| 8 | 性別 | M | |

■ IN1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------------|----|
| 1 | セット ID | 1 | |
| 2 | 保険プラン ID | 06^組合管掌健康保険^JHSD0001 | |
| 3 | 保険会社 ID | "" | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_01 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120821104529 | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^^P | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | 0^外来患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|--|----|
| 2 | 与薬コード | 105271807^ブレドニン錠5mg^HOT | |
| 3 | 与薬量-最小 | 1 | |
| 4 | 与薬量-最大 | 4 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 49 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 7^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方
^MR9P~DVD^4-2-1^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1013044400000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食後
&JAMISDP01 | |
| 6 | サービス期間 | 7^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120825 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | |

(9) 交互投与

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|--------------|---------------------------------------|
| オーダ番号 | 12345678 | |
| 依頼日 | 2012/08/21 | |
| 依頼医 | 山田太郎(123456) | |
| 依頼科 | 内科(01) | |
| 入外区分 | 外来(0) | |
| 処方区分 | 外来院内処方 | |
| Rp1 | Rp 番号 | 01 ^① |
| | 薬剤 | プレドニン錠 5 m g (105271807) ^② |
| | 1日用量 | 3錠 ^③ |
| | 用法 | 1日1回朝食後(隔日) ^④ |
| | 開始日 | 2012/08/25 ^⑤ |
| | 投与期間 | 7日分(14日間) ^⑥ |
| Rp2 | Rp 番号 | 02 ^⑦ |
| | 薬剤 | プレドニン錠 5 m g (105271807) ^⑧ |
| | 1日用量 | 1錠 ^⑨ |
| | 用法 | 1日1回朝食後(隔日) ^⑩ |
| | 開始日 | 2012/08/26 ^⑪ |
| | 投与期間 | 7日分(14日間) ^⑫ |

【処方せん表記の参考例】

Rp01^① プレドニン錠 5 m g^② 3錠^③
 1日1回朝食後(隔日)^④ 7日分
 開始日: 2012/8/25^⑤

Rp02^⑦ プレドニン錠 5 m g^⑧ 1錠^⑨
 1日1回朝食後(隔日)^⑩ 7日分
 開始日: 2012/8/26^⑪

```
MSH|^~\&|SEND|RECEIVE|20120821161523|RDE^011^RDE_011|201208211615230143|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^~~~PI||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||20120825|||123456^山田^太郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^タロウ
~~~~~L^~~~~P|||01^内科^99Z01|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠 5 m g^HOT|3||TAB^錠^MR9P|||21|TAB^錠^MR9P|||3^TAB&錠
&MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P|||21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1||1011000400000000& 1日1回朝食後^JAMISDP01^Q2D& 隔日^HL70335||14^D&日
&ISO+|20120825|||7<CR>
RXR|P0^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_02|||20120825|||123456^山田^太郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^タロウ
~~~~~L^~~~~P|||01^内科^99Z01|||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠 5 m g^HOT|1||TAB^錠^MR9P|||7|TAB^錠^MR9P|||1^TAB&錠
```


&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003<CR>
 TQ1|||1011000400000000& 1 日 1 回 朝 食 後 &JAMISDP01~Q2D& 隔 日 &HL70335|||14^D& 日
 &ISO+|20120826|||7<CR>
 RXR|P0^ロ^HL70162<CR>
 <EOM>

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----|
| 2 | 符号化文字 | ^^¥& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821161523 | |
| 9 | メッセージ型 | RDE^011^RDE_011 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 201208211615230143 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|------------------------------|----|
| 3 | 患者 ID リスト | 1000000001^^^^PI | |
| 5 | 患者氏名 | 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P | |
| 7 | 生年月日 | 19601224 | |
| 8 | 性別 | M | |

■ IN1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------------|----|
| 1 | セット ID | 1 | |
| 2 | 保険プラン ID | 06^組合管掌健康保険^JHSD0001 | |
| 3 | 保険会社 ID | "" | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_01 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120825 | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^L^^^^I^~ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^P | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | 0^外来患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|-------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 105271807^プレドニン錠5mg^HOT | |

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 3 | 与薬量-最小 | 3 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 21 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 3^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P | |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1011000400000000& 1日1回朝食後&JAMISDP01~Q2D&隔日
&HL70335 | |
| 6 | サービス期間 | 14^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120825 | |
| 14 | 総発生 | 7 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|----|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | |

■ ORC セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 1 | オーダ制御 | NW | |
| 2 | 依頼者オーダ番号 | 12345678 | |
| 4 | 依頼者グループ番号 | 12345678_02 | |
| 9 | トランザクション日時 | 20120825 | |
| 12 | オーダ発行者 | 123456^山田^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ヤマダ^タロウ
^^^^^^L^^^^^p | |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | |
| 29 | オーダタイプ | 0^外来患者オーダ^HL70482 | |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----|
| 2 | 与薬コード | 105271807^プレドニン錠5mg^HOT | |
| 3 | 与薬量-最小 | 1 | |
| 5 | 与薬単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 10 | 調剤量 | 7 | |
| 11 | 調剤単位 | TAB^錠^MR9P | |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 1^TAB&錠&MR9P | |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|----|
| 3 | 繰返しパターン | 1011000400000000& 1 日 1 回朝食後&JAMISDP01~Q2D&隔日&HL70335 | |
| 6 | サービス期間 | 14^D&日&ISO+ | |
| 7 | 開始日時 | 20120826 | |
| 14 | 総発生 | 7 | |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|-----------|
| 1 | 経路 | P0^口^HL70162 | 指示された投与経路 |

(A-1) 患者情報の照会

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|----------------|-------------------|
| 照会条件 | 患者 ID: 2581159 | 受信レコード件数: 最大 99 件 |
| QPD-3 | 2581159 | 患者リスト |

MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20120821114323||QBP^Q11^QBP_Q11|20120821114323|P|2.5||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<CR>
QPD|Z01^Patient Query Sample^99ZPQ|Q001|2581159<CR>
RCP|I|99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|-----------------|----|
| 1 | フィールド区切り | | |
| 2 | 符号化文字 | ^~\& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821114323 | |
| 9 | メッセージ型 | QBP^Q11^QBP_Q11 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 20120821114323 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ QPD セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------------------|---------------|
| 1 | メッセージ 照会名 | Z01^Patient Query Sample^99ZPQ | 照会名 |
| 2 | 照会 タグ | Q001 | 応答と照会を突合する識別子 |
| 3 | 患者リスト | 2581159 | |

■ RCP セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----------------------|
| 1 | 照会優先度 | I | 応答が期待されるタイムフレーム |
| 2 | 数量制限要求 | 99^RD&レコード&HL70126 | 受け入れられる応答の最大長 |
| 3 | 応答様式 | R^リアルタイム^HL70394 | 応答メッセージのタイミングとグルーピング |

(A-2) 患者情報の応答

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|---------------------|----|
| 依頼日時 | 2012/08/21:11:43:23 | |
| 患者 ID | 2581159 | |
| 患者氏名 | 山田太郎 | |
| 性別 | 男 | |
| 生年月日 | 1970/01/01 | |

```

MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20120821114324||RSP^K11^RSP_K11|20120821114324|P|2.5||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<CR>
MSA|AA|20120821114323<CR>
QAK|Q001|OK|Z01^Patient Query Sample^99ZPQ|1<CR>
QPD|Z01^Patient Query Sample^99ZPQ|Q001|2581159<CR>
PID||||2581159^^^^PI||山田^太郎^^^^L^I^ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19700101|M<CR>
PV1|||I|E02^21^^^^N||||123456^山田^二郎^^^^^^L^^^^I^ヤマダ^ジロウ^^^^^^L^^^^P<CR>
<EOM>

```

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|-----------------|----|
| 1 | フィールド区切り | I | |
| 2 | 符号化文字 | ^~\& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120821114324 | |
| 9 | メッセージ型 | RSP^K11^RSP_K11 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 20120821114324 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ MSA セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------|------------|
| 1 | 肯定応答コード | AA | 肯定応答コード |
| 2 | メッセージ制御 ID | 20120825114323 | メッセージ制御 ID |

■ QAK セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------------------|--------------|
| 1 | 照会タグ | Q001 | 照会識別子 |
| 2 | 照会応答状態 | OK | 応答状態 |
| 3 | メッセージ照会名 | Z01^Patient Query Sample^99ZPQ | 照会名 |
| 4 | ヒットカウント合計 | 1 | ヒットしたレコードの合計 |

■ QPD セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------------------|-----|
| 1 | メッセージ 照会名 | Z01^Patient Query Sample^99ZPQ | 照会名 |
| 2 | 照会タグ | Q001 | |
| 3 | 患者 ID リスト | 2581159 | |

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 3 | 患者 ID リスト | 2581159^^^PI | 10 バイト以内 |
| 5 | 患者氏名 | 山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P | 第 7 成分(名前タイプコード)と第 8 成分(名前表示コード)は必須。 |
| 7 | 生年月日 | 19700101 | 年は西暦 |
| 8 | 性別 | M | 性別 |

■ PV1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--|--------------|
| 2 | 患者クラス | I | 入外区分 |
| 3 | 患者所在場所 | E02^21^^^^N | E02 病棟 21 病室 |
| 7 | 主治医 | 123456^山田^二郎^^^^^L^^^^I~ヤマダ^ジロウ^^^^^L^^^^P | |

(B-1) 処方依頼情報照会メッセージ

| 項目名 | 項目値 | 備考 |
|-------|------------------------------|------------------|
| 照会条件 | 照会期間:
2012/8/15~2012/8/25 | 受信レコード件数:最大 99 件 |
| QPD-8 | 2012/08/15 | 依頼日付.LL |
| QPD-9 | 2012/08/25 | 依頼日付.UL |

MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20121014171523||QBP^Q11^QBP_Q11|20121014171523|P|2.5||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<CR>
QPD|Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ|Q002||||20120815|20120825<CR>
RCP|I|99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|-----------------|----|
| 1 | フィールド区切り | | |
| 2 | 符号化文字 | ^~\& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20121014171523 | |
| 9 | メッセージ型 | QBP^Q11^QBP_Q11 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 20121014171523 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ QPD セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---------------------------------|---------------|
| 1 | メッセージ 照会名 | Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ | 照会名 |
| 2 | 照会 タグ | Q002 | 応答と照会を突合する識別子 |
| 8 | 依頼日付.LL | 20120815 | 依頼日時の最も早い値 |
| 9 | 依頼日付.UL | 20120825 | 依頼日時の最も遅い値 |

■ RCP セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------|----------------------|
| 1 | 照会優先度 | I | 応答が期待されるタイムフレーム |
| 2 | 数量制限要求 | 99^RD&レコード&HL70126 | 受け入れられる応答の最大長 |
| 3 | 応答様式 | R^リアルタイム^HL70394 | 応答メッセージのタイミングとグルーピング |

(B-2) 処方依頼情報応答メッセージ

| 項目名 | | 項目値 | 備考 |
|----------|-------|----------------------------|----|
| 患者 ID | | 2581159 | |
| 患者氏名 | | 山田太郎 | |
| 生年月日 | | 1970/01/01 | |
| 性別 | | 男 | |
| オーダ番号 | | 12345678 | |
| 依頼日時 | | 2012/08/21 11:43:23 | |
| 依頼医／入力者 | | 山田二郎(123456) | |
| 依頼科 | | 内科(01) | |
| 入外区分 | | 外来(O) | |
| 処方区分 | | 外来院内処方 | |
| 処方せん受付日時 | | 2012/08/21 10:30:25 | |
| Rp1 | Rp 番号 | 01 | |
| | 薬剤 | ダーゼン錠(5mg)(10866501) | |
| | 1日用量 | 3錠 | |
| | 用法 | 1日3回 毎食後 | |
| | 開始日 | 2012/08/21 | |
| | 投与期間 | 3日分 | |
| Rp2 | Rp 番号 | 02 | |
| | 薬剤 | パンスポリンT錠(100mg)(110626901) | |
| | 1日用量 | 6錠 | |
| | 用法 | 1日3回 毎食後 | |
| | 開始日 | 2012/08/21 | |
| | 投与期間 | 3日分 | |
| 患者 ID | | 3656328 | |
| 患者氏名 | | 患者太郎 | |
| 生年月日 | | 1985/12/29 | |
| 性別 | | 男 | |
| オーダ番号 | | 23456789 | |
| 依頼日時 | | 2012/08/25 11:43:23 | |
| 依頼医／入力者 | | 山田二郎(123456) | |
| 依頼科 | | 内科(01) | |
| 入外区分 | | 外来(O) | |
| 処方区分 | | 外来院内処方 | |
| 処方せん受付日時 | | 2012/08/25 10:30:25 | |
| Rp1 | Rp 番号 | 01 | |
| | 薬剤 | アレビアチン10倍散(100607002) | |
| | 1日用量 | 100mg | |
| | 用法 | 1日2回 朝夕食後 | |
| | 開始日 | 2012/08/25 | |
| | 投与期間 | 14日分 | |

| 項目名 | | 項目値 | 備考 |
|-----|-------|--------------------------|----|
| Rp2 | Rp 番号 | 02 | |
| | 薬剤 | フェノバルビタール10倍散(100565305) | |
| | 1日用量 | 100mg | |
| | 用法 | 1日2回 朝夕食後 | |
| | 開始日 | 2012/08/25 | |
| | 投与期間 | 14日分 | |

MSH|^~*&|SEND|RECEIVE|20120821114323|RSP^K11^RSP_K11|20120821114323|P|2.5|~~~~~|ISO IR87|ISO
2022-1994<CR>
MSA|AA|8332<CR>
QAK|Q002|OK|Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ|4<CR>
QPD|Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ|Q002|~~~~|20120815|20120825<CR>
PID|1||2581159^~~~~PI||山田^太郎^~~~~L^I^~ヤマダ^タロウ^~~~~L^P||19700101|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|RE|12345678||12345678_01|~~~~|20120821114323|123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ
~~~~~L^~~~~P||123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ  
~~~~~L^~~~~P||20120821103025||01^内科^99Z01|~~~~~|0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||10866501^ダーゼン錠(5mg)^HOT|1||TAB^錠^MR9P|~~~~|9|TAB^錠^MR9P|~~~~~|3^TAB&錠^MR9P||OHP^
外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|~~~~|21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1|1||1013044400000000&内服・経口・1日3回朝夕食後&JAMISDP01||3^D&日&ISO+|20120821<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|RE|12345678||12345678_02|~~~~|20120821114323|123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ
~~~~~L^~~~~P||123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ  
~~~~~L^~~~~P||20120821103020||01^内科^99Z01|~~~~~|0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||110626901^パンスポリンT錠(100mg)^HOT|2||TAB^錠^MR9P|~~~~|18|TAB^錠^MR9P|~~~~~|6^TAB&錠
&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|~~~~|21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1|1||1013044400000000&内服・経口・1日3回朝夕食後&JAMISDP01||3^D&日&ISO+|20120821<CR>
PID|2||3656328^~~~~PI||患者^太郎^~~~~L^I^~カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19851229|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|RE|23456789||23456789_01|~~~~|20120825114320|123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ
~~~~~L^~~~~P||123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ  
~~~~~L^~~~~P||20120825103025||01^内科^99Z01|~~~~~|0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||100607002^アレピアチン10倍散^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|~~~~|1400|MG^ミ
リグラム^MR9P|~~~~~|100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|~~~~|21^内服薬
^JHSP0003<CR>
TQ1|1||1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後&JAMISDP01||14^D&日&ISO+|20120825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|RE|23456789||23456789_02|~~~~|20120825114323|123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ
~~~~~L^~~~~P||123456^山田^二郎^~~~~L^~~~~I^~ヤマダ^ジロウ  
~~~~~L^~~~~P||20120825103020||01^内科^99Z01|~~~~~|0^外来患者オーダ^HL70482<CR>  
RXE||100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|~~~~|1400|MG^ミ
リグラム^MR9P|~~~~~|100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|~~~~|21^内服薬
^JHSP0003<CR>
TQ1|1||1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後&JAMISDP01||14^D&日&ISO+|20120825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|-----------------|----|
| 1 | フィールド区切り | | |
| 2 | 符号化文字 | ^~¥& | |
| 3 | 送信アプリケーション | SEND | |
| 5 | 受信アプリケーション | RECEIVE | |
| 7 | メッセージ日時 | 20120825114324 | |
| 9 | メッセージ型 | RSP^K11^RSP_K11 | |
| 10 | メッセージ制御 ID | 20120825114324 | |
| 11 | 処理 ID | P | |
| 12 | バージョン ID | 2.5 | |
| 18 | 文字セット | ~ISO IR87 | |
| 20 | 代替文字セット操作法 | ISO 2022-1994 | |

■ MSA セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------|------------|
| 1 | 肯定応答コード | AA | 肯定応答コード |
| 2 | メッセージ制御 ID | 20120825114323 | メッセージ制御 ID |

■ QAK セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---------------------------------|--------------|
| 1 | 照会タグ | Q002 | 照会識別子 |
| 2 | 照会応答状態 | OK | 応答状態 |
| 3 | メッセージ照会名 | Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ | 照会名 |
| 4 | ヒットカウント合計 | 4 | ヒットしたレコードの合計 |

■ QPD セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---------------------------------|------------|
| 1 | メッセージ照会名 | Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ | 照会名 |
| 2 | 照会タグ | Q002 | |
| 8 | 依頼日付.LL | 20120815 | 依頼日時の最も早い値 |
| 9 | 依頼日付.UL | 20120825 | 依頼日時の最も遅い値 |

■ PID セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | セット ID- PID | 1 | |
| 3 | 患者 ID リスト | 2581159^~~~~PI | 10 バイト以内 |
| 5 | 患者氏名 | 山田^太郎^~~~~L^~ヤマダ^タロウ^~~~~L^P | 第 7 成分(名前タイプコード)と第 8 成分(名前表示コード)は必須 |
| 7 | 生年月日 | 19700101 | 年は西暦 |
| 8 | 性別 | M | 性別 |

■ IN1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|----------------------|----|
| 1 | セット ID | 1 | |
| 2 | 保険プラン ID | 06^組合管掌健康保険^JHSD0001 | |

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|-------------------|----------|
| 15 | オーダ有効日時 | 20120825103025 | 処方せん受付日時 |
| 17 | 入力組織 | 01^内科^99Z01 | 依頼科 |
| 29 | オーダタイプ | O^外来患者オーダ^HL70482 | 入外区分 |

■ RXE セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|---------------------|-----------------------------|----------------------|
| 2 | 投与コード | 100565305^フェノバルビタール10倍散^HOT | 薬剤コードとその名称 |
| 3 | 投与量-最小 | 50 | 1回の投与量 |
| 4 | 投与量-最大 | | |
| 5 | 投与単位 | MG^ミリグラム^MR9P | RXE-3の単位コードと名称 |
| 6 | 投与剤形 | PWD^散剤^MR9P | 与薬剤剤形 |
| 10 | 調剤量 | 1400 | 指示した薬品の総量 |
| 11 | 調剤単位 | MG^ミリグラム^MR9P | RXE-10の単位コードと名称 |
| 19 | 1日あたりの総投与量 | 100^MG | 1日の投与量 |
| 21 | 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示 | OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P | 処方区分、薬品コメント、処方せんコメント |
| 27 | 与薬指示 | 21^内服薬^JHSP0003 | |

■ TQ1 セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|---|---------------|
| 3 | 繰返しパターン | 1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後
&JAMISDP01 | 用法を表すコードとその名称 |
| 6 | サービス期間 | 14^D&日&ISO+ | 薬剤の投与日数 |
| 7 | 開始日時 | 20120825 | 投与開始日時 |

■ RXR セグメント

| SEQ | ELEMENT NAME | 値 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|-----------|
| 1 | 経路 | PO^口^HL70162 | 指示された投与経路 |

付録—2. 処方区分、用法ごとのフィールドへのセット内容

| | | 内服薬 | | | | 外用薬 | |
|----------|------------|--------|---------------|--------------|---------|------------------|---------------|
| | | 不均等なし | | 不均等 | 頓用 | 頓用以外 | 頓用 |
| | | (1日量) | (1回量) | | | | |
| RXE-3(R) | 与薬量-最小 | 1日量／回数 | 1回量 | 1回量
(最小値) | 1回量 | "" or 1回量 | "" or 1回量 |
| RXE-4 | 与薬量-最大 | null | null | 1回量
(最大値) | null | null | null |
| RXE-10 | 調剂量 | 1日量×日数 | 1回量×回数
×日数 | 1日量×日数 | 1回量×総回数 | 全量 | 全量 or 1回量×総回数 |
| RXE-19 | 1日あたりの総投与量 | 1日量 | 1回量×回数 | 1日量 | null | null or 1日量 | null |
| RXE-21 | 特別な調剤指示 | null | null | 1回量内訳 | null | null | null |
| TQ1-3 | 繰返条件 | 1日回数 | 1日回数 | 1日回数 | 頓用条件 | 1日回数、時間
間隔など | 頓用条件 |
| TQ1-6 | 期間 | 日数 | 日数 | 日数 | null | null or 日数 | null |
| TQ1-14 | 総発生 | null | null | null | 総回数 | null or 総回数 | 総回数 |
| TQ1-11 | テキスト指令 | null | null | null | 頓用コメント | 1回量、1日当
たりの上限 | 頓用コメント |

付録—3. 薬剤単位コード比較表

| 算定単位名称 | 算定単位コード | MERIT9 | JHSP 表 0004 |
|--------|---------|--------|-------------|
| 分 | 1 | | PART |
| 回 | 2 | | TIME |
| 種 | 3 | | KIND |
| 箱 | 4 | | BOX |
| 巻 | 5 | | ROLL |
| 枚 | 6 | SHT | |
| 本 | 7 | HON | |
| 組 | 8 | | PAIR |
| セット | 9 | | SET |
| 個 | 10 | KO | |
| 裂 | 11 | | TEAR |
| 方向 | 12 | | DIR |
| トローチ | 13 | | TROC |
| アンプル | 14 | AMP | |
| カプセル | 15 | CAP | |
| 錠 | 16 | TAB | |
| 丸 | 17 | | PILL |
| 包 | 18 | PCK | |
| 瓶 | 19 | BTL | |
| 袋 | 20 | BAG | |
| 瓶(袋) | 21 | | BTLB |
| 管 | 22 | | TUBE |
| シリンジ | 23 | | SYRG |
| 回分 | 24 | | DOSE |
| テスト分 | 25 | | TEST |
| ガラス筒 | 26 | | GCYL |
| 桿錠 | 27 | | RODT |
| 単位 | 28 | UNT | |
| 万単位 | 29 | | TTUN |
| フィート | 30 | | FEET |
| 滴 | 31 | | DROP |
| mg | 32 | MG | |
| g | 33 | G | |
| Kg | 34 | | KG |
| cc | 35 | | CC |
| mL | 36 | ML | |
| L | 37 | L | |
| mLV | 38 | | MLV |
| バイアル | 39 | VIL | |
| cm | 40 | | CM |
| cm2 | 41 | | CM2 |

| 算定単位名称 | 算定単位コード | MERIT9 | JHSP 表 0004 |
|----------|---------|--------|-------------|
| m | 42 | | M |
| μ Ci | 43 | | MCCI |
| mCi | 44 | | MCI |
| μ g | 45 | MCG | |
| 管(瓶) | 46 | | BKR |
| 筒 | 47 | | PIPE |
| GBq | 48 | | GBQ |
| MBq | 49 | | MGBQ |
| KBq | 50 | | KBQ |
| キット | 51 | | KIT |
| 国際単位 | 52 | | IUNT |
| 患者当り | 53 | | PAT |
| 気圧 | 54 | | ATM |
| 缶 | 55 | | CAN |
| 手術当り | 56 | | OPE |
| 容器 | 57 | | VSL |
| mL(g) | 58 | | MLG |
| プリスター | 59 | | BLST |
| シート | 60 | | SHET |

付録—4. 作成者名簿

作成者(社名五十音順)

| | |
|-------|---------------|
| 日高 浩敦 | 三栄メディシス(株) |
| 岸本 寛 | (株)トーショー |
| 木村 雅彦 | 日本アイ・ビー・エム(株) |
| 高屋 晃司 | 日本電気(株) |
| 安田 典弘 | 日本電気(株) |
| 寺澤 徳亮 | (株)日立製作所 |
| 橋詰 明英 | (株)日立製作所 |
| 窪田 成重 | 富士通(株) |
| 下邨 雅一 | 富士通(株) |
| 山口 一人 | 富士通(株) |

| 改訂履歴 | | |
|---------|----------|---|
| 日付 | バージョン | 内容 |
| 2008/03 | Ver. 2.0 | Ver.2.0 策定 |
| 2013/01 | Ver. 2.1 | <p>主な改訂内容は以下の通り。</p> <p>(1) 処方オーダーリングシステム用標準用法「服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ」の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準用法マスタの記載を追加 ・セットする用法マスタに標準用法マスタを採用 ・部位コードに標準用法マスタの「外用部位コード」を採用 <p>(2) IN1 セグメントの説明を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険情報をセットするために使用 <p>(3) 各種 JAHIS データ交換規約との整合</p> <p>(4) メッセージ使用例の見直し</p> |

(JAHIS標準 13-004)

2013年5月発行

JAHIS処方データ交換規約Ver. 2.1

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)